平成28年度　文部科学省　成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業

外国人日本語学習者の介護分野への就業を促進する教育プログラムの開発事業

事 業 報 告 書

平成29年２月

学校法人 新井学園
赤門会日本語学校
Akamonkai Japanese Language School

はじめに

社会の少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、産業界の様々な分野で人材不足が深刻化しています。それは今日、特に介護業界では喫緊の課題です。

日本は近年、インドネシア等から外国人介護福祉士候補者（以下「候補者」）を受け入れ始め、その実績から、彼らの介護サービスの質向上や介護人材育成への寄与が期待されてもいます。しかし、そのような候補者に提供される日本語研修の水準は、その後に実施される介護分野専門教育の前提になっていないのが実情です。そこで、介護職への就業を志望する留学生に対し、彼らが日本語学校に在籍している段階から、介護分野の専門教育を受けるために必要な日本語運用力や素養、さらに職業意識等を養成する教育が求められています。

このような状況を踏まえ、本校は平成27年度、「日本語教育機関が実施する外国人介護福祉士候補者向け教育プログラムの開発と実証」を企画・受託し、日本語学校が介護分野の専門学校・業界団体等と連携して教育プログラムを開発するという先駆的な事業に取り組みました。そして、本年度（平成28年度)、その継続事業として「外国人日本語学習者の介護分野への就業を促進する教育プログラム開発事業」を受託しました。そこでは、候補者の日本語運用力向上に重点を置いた平成27年度事業の成果を改良・拡充した上で、新たに「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」を開発することになりました。

〈介護〉は、我国政府の成長戦略でも重点分野の一つに位置づけられています。したがって、介護分野では、その市場の拡大に伴い、ますます多くの専門人材が必要とされています。外国人介護人材の需要が増すのも必定です。

ただし、このように重要な職業分野である〈介護〉に従事し、その職務を全うすることは当然、容易ではありません。特に外国人の場合、そこで単に標準レベルの日本語を運用できれば足るものではありません。そこでは、「日本における〈介護〉はどのようなものか」「介護職に必要な能力や心構えはいかなるものか」「介護職としての自身のキャリアをどう形成するか」、延いては「そもそも外国人が日本で学び働くことにはどのような意味があるか」等の問題意識や、それらに対する自覚・理解が不可欠です。そして、そのような問題群の検討は、介護職への就業を志した段階で一度、専門教育を受ける前に経験しておく必要があります。

特に本事業で本年度開発した「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」は、日本で介護人材として就業したいと望む留学生を対象にし、上記のような問題群を検討する機会を与える〈職業キャリア教育〉を支援するものです。そして、その講義用教材であるテキストは、

「留学生と日本」「職業理解」「職業意識」「職業人コンピテンシー」「職業キャリア形成」という５つの観点で、外国人が日本の介護人材になるための要諦を解説しています。本教育プログラムが介護職を目指す留学生の理解を深め、意欲を高める一助になることを願います。

最後に、本事業の実施に際し、数々の貴重な意見・助言をくださった本事業プロジェクト推進委員会および関係者の各位、そして学習者のリアルな声として検討課題を与えてくれた留学生の皆さんに、心からお礼を申し上げます。

平成28年11月

学校法人新井学園 赤門会日本語学校

外国人日本語学習者の介護分野へ就業を促進する教育プログラム開発事業　プロジェクト推進委員会

目　次

はじめに

目　　次

調査報告

外国人日本語学習者に対する職業等に関する意識調査

A　調　査　票（日本語版・英語版・ベトナム語版）

B　回 答 結 果

C　所見・総括

開発報告

1　日本語教育機関等で活用する外国人介護就業志望者向け教育プログラム

A　介護職実務日本語 介護現場日本語ケーススタディ

B　介護職日本文化 要介護高齢者対応テーマ副読本「日本の年中行事」

2　外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム

A　シ ラ バ ス（学 習 計 画）

B　テ キ ス ト（講義用教材）

C　確認テスト（復習用教材）

実証報告

実証講座

A　全体構成（日程＆内容）

B　使用教材（教育プログラムとの対応関係）

C　実施場面

D　効果測定（問題＆結果）

調 査 報 告

本事業では、教育プログラムの開発のための基礎資料を作成する目的で、「外国人日本語学習者に対する職業等に関する意識調査」を実施した。その概要は次の通りである。

調査名	外国人日本語学習者に対する職業等に関する意識調査
時　期	平成28年11月～平成29年１月
対　象	東京都の日本語学校に在籍する外国人日本語学習者101名 （出身国：ベトナム・韓国・欧州・シンガポール・北米・台湾・他ASEAN国等）
手　法	質問票によるアンケート
内　容	0　回答者情報 所属／年齢・性別／出身国／渡日前職業／留学種別／渡日前日本語学習期間／日本語能力レベル 1　あなたの勤労観・職業観について 1.1 「働く」の定義 1.2　職業選択のポイント 1.3　企業・職場等への希望 1.4　母国の勤労観・職業観 2　あなたのキャリア志向について 2.1　志望する進路 2.2　志望する分野 2.3　キャリアアップの目標 2.4　自己研鑽の方法 2.5　就職活動時に希望する情報 2.6　企業研究時に希望する情報 2.7　アルバイト経験（有無／得たもの・得られなかったもの／苦労したこと）

	3　日本人の仕事の仕方について 3.1　仕事の仕方における日本人と母国人の比較認識 3.2　日本人の仕事の仕方への適合意向 3.3　日本人の仕事の仕方の長所と短所 3.4　日本人と協働する際のポイント 4　介護職への就業について 4.1　介護職への関心 4.2　介護職への認識 4.3　介護職の職業意識として大切なこと 4.4　介護職就業の不安・懸念 4.5　介護職に就業する際の希望事項

これに基づき、以下に、本年度の実証内容を次の展開で報告する。

A　調　査　票（日本語版・英語版・ベトナム語版）

B　回 答 結 果

C　所見・総括

A1　調査票（日本語版）

平成28年度　文部科学省委託事業

日本語学習者に対する職業等に関する意識調査

この調査は、文部科学省の委託を受けて「外国人介護就業志望者向け 職業キャリア教育プログラム」を開発するのに先立ち、職業・キャリア等に関する日本語学習者の意識実態を把握するために実施するものです。ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。

◆ 回答者情報（あなたについて）

所　　属	**学校：**　　**学科：**
年齢・性別	**年齢：**　　歳　　**性別：** 男性 ・ 女性
出 身 国	① インドネシア　② シンガポール　③ タイ　④ フィリピン ⑤ マレーシア　⑥ ブルネイ　⑦ ベトナム　⑧ ミャンマー ⑨ ラオス　⑩ カンボジア　⑪ その他（　　）
渡日前職業	① 高校生　② 大学生　③ 大学院生　④ 公務員・会社員 ⑤ 個人事業者　⑥ 他国留学生　⑦ 無職　⑧ その他（　　）
留 学 種 別	① 交換留学　② 私費留学　③ 官費留学　④ 公費留学 ⑤ 社内留学　⑥ 他国政府等奨学金留学　⑦ その他（　　）
渡日前 日本語学習期間	① なし　② 0.5年未満　③ 0.5年以上１年未満　④ １年以上２年未満 ⑤ ２年以上５年未満　⑥ ５年以上10年未満　⑦ 10年以上
日本語能力レベル （JLPT基準）	① N5未満　② N5以上N4未満　③ N4以上N3未満　④ N3以上N2未満 ⑤ N2以上N1未満　⑥ N1以上

1　あなたの勤労観・職業観について

1.1　あなたは「働く」ことをどのようなものと考えますか。〈上位３つまで〉

① 収入を得る手段　② 生き甲斐　③ 趣味の延長　④ 自己実現の手段　⑤ 社会貢献の方法
⑥ 社会参画のきっかけ　⑦ チャレンジ　⑧ 人としての義務　⑨ 人の価値を測るもの
⑩ できればやらずに済ませたいもの　⑪ その他（　　）

1.2　あなたが「職業」を選ぶ際に重視することは何ですか。〈上位３つまで〉

① 高収入の仕事であること　② 将来性・ブランド力等の高い企業であること
③ 社会貢献性が高い仕事であること　④ 関心・やり甲斐を持てる仕事であること
⑤ 自分の能力・個性等を活かせる仕事であること　⑥ 自分の実力・成果が正当に評価されること
⑦ 仕事を通して知識・技術等を習得できること　⑧ 専門性が高く誰もが出来る仕事でないこと

⑨ 個人の能力が重視される仕事であること　⑩ チームワークが重視される仕事であること
⑪ 周囲の人に承認・羨望・称讃される仕事であること　⑫ 日本に関連する仕事・企業であること
⑬ 多様性・福利厚生等の職場環境が整っていること　⑭ 通勤等の地理的条件がよい職場であること
⑮ 勤務時間が短く休日が多く多忙でないこと　⑯ 特にない　⑰ その他（　　）

1.3　あなたが日本で就職する場合、自分の勤める企業・職場に希望することは何ですか。〈上位３つまで〉

① 外国人優遇措置を講じてほしい　② 語学・専門知識等に関する社内研修を多く設定してほしい
③ 自分の文化的背景に配慮してほしい　④ 責任ある重要な仕事を多く担当させてほしい
⑤ 報酬・勤務時間・配属等に関する交渉の機会を確保してほしい　⑥ 副業を認めてほしい
⑦ 上司・同僚等との意思疎通の機会を多く持てるような職場環境を整えてほしい
⑧ 正社員として雇用してほしい　⑨ 自分の実力・成果を正当に評価してほしい
⑩ 自分の失敗・困難状況等を支援してくれる環境を整えてほしい
⑪ その他（　　）

1.4　次の１）～10）の記述は、あなたの母国における一般的な勤労観・職業観にどの程度該当しますか。

項　目	① 該当する　② やや該当する ③ あまり該当しない　④ 該当しない
1） 仕事は、単なる収入を得る手段として考えられている。	①　②　③　④
2） 仕事は、市民が社会に参画・貢献する方法の一つとして考えられている。	①　②　③　④
3） 仕事を選ぶ際に重視することは、報酬や待遇より、その仕事にやり甲斐や熱意を持てることである。	①　②　③　④
4） 仕事を進める際に大切なことは、個人の資質･能力より、周囲の人とのチームワークである。	①　②　③　④
5） 転職は、自由で容易である。	①　②　③　④
6） 一つの企業・職場で長く勤続するより、次々に転職して様々な企業・職場を経験する方がよい。	①　②　③　④
7） 正社員でも、アルバイト等の副業は許されている。	①　②　③　④
8） 自分の仕事の内容は常に上司に把握されている。また、自分も仕事の内容について上司によく確認・相談する。	①　②　③　④
9） 残業が多い（または、慣例的に普通に行われている）。 ※ 規定の終業時刻に退社することより、仕事を期限内に終らせたり勤務時間外でも取引先に対応したりすることが優先されるなど。	①　②　③　④
10） 就職が困難で就職活動が熾烈であるため、将来ビジョンより、まず企業に入ることが重視されている。	①　②　③　④

2　あなたのキャリア志向について

2.1　あなたは日本語学校修了後、どのような進路を希望しますか。〈上位２つまで〉

① 母国の高等教育機関に進学したい　② 母国で社会活動に従事したい　③ 母国で起業したい
④ 母国の企業に就職したい　⑤ 母国の日本関連企業に就職したい　⑥ 日本以外の国に留学したい
⑦ 日本以外の国で就職したい　⑧ 日本の高等教育機関に進学して日本で就職したい
⑨ 日本の高等教育機関に進学してから帰国して母国で就職・起業したい
⑩ 日本で就職して日本に移住したい　⑪ 日本で就職してから帰国して母国で再就職・起業したい
⑫ その他（　　）

2.2　あなたは日本語学校修了後、どのような分野への進学・就職を希望しますか。〈全体で上位３つまで〉

専門学校 進　学	1 保育・教育　2 医療・福祉　3 美容・理容・メイク・ネイル・エステ 4 健康・スポーツ　5 ファッション・和裁　6 栄養・調理・製菓 7 ゲーム・コンピュータ・Web　8 自動車・航空・宇宙　9 動物・植物 10 旅行・観光・ホテル・ブライダル　11 建築・土木・インテリア 12 デザイン・写真・芸術　13 音楽・イベント　14 自然・環境・バイオ 15 国際・語学　16 マスコミ・芸能　17 ビジネス・金融・不動産 18 公務員・法律・政治　19 機械・電気・電子・化学　20 マンガ・アニメ
大学・短期大学 進　学	21 文化・地理・歴史　22 法律・政治・経済　23 国際関係・外交 24 産業・経営　25 社会・マスコミ　26 語学　27 芸術・文学・哲学 28 人間・心理　29 教育　30 福祉　31 家政・生活　32 スポーツ・健康 33 医学　34 薬学　35 生物・化学　36 数学・物理　37 工学・技術 38 建築　39 地球・環境・エネルギー　40 情報・IT
就　職	**▼ 製造業** 41 機械　42 電気　43 運送機器（自動車等）　44 金属・鉄鋼 45 繊維・衣類　46 化学　47 食品　48 その他（　　） **▼ 非製造業** 49 運輸　50 商業・貿易　51 金融・保険　52 コンピュータ関連 53 土木・建設　54 不動産　55 ホテル・旅館　56 旅行・観光 57 教育　58 医療・福祉　59 飲食　60 その他（　　）

2.3　あなたは就職後、どのようなキャリアアップを目指したいと考えますか。〈上位２つまで〉

① 管理職に就く　② 再度の進学・留学によるキャリアアップ　③ 転職によるキャリアアップ
④ 上級資格取得によるキャリアアップ　⑤ 独立開業・起業によるキャリアアップ
⑥ 特に希望はなく程々の働き方でよい　⑦ 特に考えたことがない
⑧ その他（　　）

2.4　あなたは自分のキャリアアップのためにどのようなことに取り組む必要があると考えますか。〈上位３つまで〉

① 日本語能力の向上　② 日本の文化・商習慣等の理解の強化　③ ビジネスマナー等の習得
④ 志望業界情報の収集　⑤ 専門知識･スキルの習得　⑥ 必要な資格の取得　⑦ 人脈の構築・拡張
⑧ 転職活動・起業準備　⑨ 貯蓄　⑩ その他（　　）

2.5　日本での就職活動において、あなたが詳しく知りたい情報は何ですか。〈上位３つまで〉

① 面接試験対策の方法　② 筆記試験対策の方法　③ エントリーシートの書き方
④ 自己分析の仕方　⑤ 業界研究の仕方　⑥ 企業研究の仕方　⑦ 職種研究の仕方
⑧ OB訪問の仕方　⑨ 身嗜み・マナー等の留意事項　⑩ 就職活動全般の流れ等
⑪ 就職課（キャリアセンター等）の利用の仕方　⑫ その他（　　）

2.6　日本での就職活動において、企業研究の際にあなたが詳しく知りたい情報は何ですか。〈上位３つまで〉

① 留学生採用実績　② 採用予定人数　③ 採用方法・プロセス　④ 求められる人材像
⑤ 経営理念・ビジョン　⑥ 業界内での位置　⑦ 財務状況　⑧ その企業に対する客観的評価
⑨ 将来性・強みまたは弱点　⑩ 社風・社内雰囲気　⑪ 自分の実際の業務内容　⑫ 給与体系
⑬ 人事評価制度　⑭ 福利厚生・待遇　⑮ 教育・研修制度　⑯ 想定されるキャリアパス
⑰ 転勤・異動状況　⑱ 離職率　⑲ 忙しさ　⑳ その他（　　）

2.7　あなたの日本でのアルバイト経験について該当するものはどれですか。

① 現在している　② 以前していたが現在していない　③ 日本でのアルバイト経験はない

［①②と回答した人は次の１）～４）に答えてください。③と回答した人は答えなくて構いません］

１）経験したアルバイトの内容は何ですか。〈３つまで〉

（　　）（　　）（　　）

２）日本でのアルバイト経験から、よかったと感じることは何ですか。〈上位３つまで〉

① 日本語能力が向上した　② 学費・生活費を賄えた　③ 想定以上の収入を得られた
④ 留学生の知人が増えた　⑤ 日本人の知人が増えた　⑥ 日本に関する理解が深まった
⑦ 日本人の考え方や仕事の仕方が解った　⑧ 働くことの意義や面白さを感じられた
⑨ 実務的知識・スキルを習得できた　⑩ ビジネス作法を習得できた　⑪ 社会勉強になった
⑫ 日本で就職したくなった　⑬ 日本に移住したくなった　⑭ 日本が好きになった
⑮ 学習意欲が高まった　⑯ その他（　　）

３）日本でのアルバイト経験から、よくなかったと感じることは何ですか。〈上位３つまで〉

① 日本語能力はあまり向上しなかった　② 学費・生活費を賄えなかった
③ 想定より収入を得られなかった　④ 思ったほど交友関係が拡がらなかった
⑤ 日本についてますます解らなくなった　⑥ 日本人の考え方や仕事の仕方に賛同できなかった
⑦ 働くことの意義や面白さを感じられなかった　⑧ 肉体的に疲弊した　⑨ 精神的に疲弊した
⑨ 実務的知識・スキルやビジネス作法等を大して学べなかった　⑩ 社会の嫌な面を見せられた
⑫ 日本で就職したくなくなった　⑬ 日本が好きでなくなった　⑭ 学習意欲が削がれた
⑮ 学業に悪影響を及した　⑯ その他（　　）

４）日本でのアルバイト経験において、苦労したことは何ですか。〈上位３つまで〉

① 学業との両立　② 生活の維持　③ 必要な収入の確保　④ 健康の維持　⑤ 人間関係
⑥ スケジュールの管理　⑦ 思考・行動様式の差異の克服　⑧ 日本の商習慣の理解
⑨ 日本語を聴くこと　⑩ 日本語を読むこと　⑪ 日本語を話すこと　⑫ 日本語を書くこと
⑬ その他（　　）

3　日本人の仕事の仕方について

3.1　次の①～㉕について、以下の１）～４）に答えてください。

① きめ細かく丁寧　② 効率性が高い　③ 生産性が高い　④ 仕事と私事の区別が明確
⑤ 部下･後輩への支援が厚い　⑥ 上司･先輩の指示が明確　⑦ 勤勉・真面目　⑧ 公明正大
⑨ チームワークがよい　⑩ 個人の資質･能力が尊重される　⑪ 人材評価の基準が明確
⑫ 報酬･待遇がよい　⑬ 職場環境･雰囲気がよい　⑭ 清潔　⑮ コミュニケーションが活発
⑯ 組織帰属意識が高い　⑰ 顧客至上主義　⑱ 時間管理が厳密　⑲ 品質管理が厳密
⑳ 財務･経理が厳密　㉑ 業務プロセスが先進的(自動化・IT化等)　㉒ 業務進行が速い
㉓ 労働時間が長い　㉔ ミーティングが多い　㉕ 変化･多様性への対応が柔軟

１）①～㉕のうち、日本人の仕事の仕方を表す記述として最も近いと思うものを５つ選んでください。
（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

２）①～㉕のうち、日本人の仕事の仕方を表す記述として最も遠いと思うものを５つ選んでください。
（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

３）①～㉕のうち、あなたの母国の人々の仕事の仕方を表す記述として最も近いと思うものを５つ選んでください。　（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

４）①～㉕のうち、あなたの母国の人々の仕事の仕方を表す記述として最も遠いと思うものを５つ選んでください。　（　　）（　　）（　　）（　　）（　　）

3.2　あなたが日本で働くことを想定した上で、次の１）～６）の記述はどの程度該当しますか。

項　　目	① 該当する　② やや該当する ③ あまり該当しない　④ 該当しない
１） 日本人の仕事の仕方には学ぶべき点が多いと考える。	①　②　③　④
２） 日本人の仕事の仕方を母国での仕事にも取り入れたい。	①　②　③　④
３） 仕事における自分の考えや方法を、日本人のそれに変えてもよい。また、変えるべきと考える。	①　②　③　④
４） 日本人の仕事の仕方に合せるより、自分の仕事の仕方が通用する企業・職場を選びたい。	①　②　③　④
５） 日本人の仕事の仕方を理解･習得するのは、かなり困難と思われる。	①　②　③　④
６） 日本で働ければ、職場は都市でも郊外でも構わない。 （地理的条件・通勤手段等にあまりこだわらない）	①　②　③　④

3.3　あなたが考える、日本人の仕事の仕方のよい点・よくない点は何ですか。〈自由記述〉

〈よい点〉
〈よくない点〉

3.4　日本の企業・職場で日本人と共に働く場合、あなたは何が重要と考えますか。〈上位５つまで〉

① 日本の国･社会･文化･歴史等に関する理解　② 日本人の思考･行動習慣の理解　③ 健康の維持
④ 日本人の仕事の仕方の習得　⑤ 日本の商習慣への適合　⑥ 謙虚な姿勢　⑦ 明確な意思表示
⑧ 母国への誇り　⑨ 良好な人間関係の構築　⑩ 挨拶の徹底　⑪ 組織への帰属意識･忠誠心
⑫ 時間厳守　⑬ 法令遵守　⑭ 上司･先輩等への積極的な相談･報告　⑮ 清潔さの保持　⑯ 笑顔
⑰ 日本語能力の向上　⑱ 実務的知識･スキルの習得　⑲ 必要な資格の取得　⑳ 向上心・向学心
㉑ 意欲･熱意の表明　㉒ チームワーク　㉓ 洞察力・推測力・判断力　㉔ 変化への柔軟な対応
㉕ 交渉力　㉖ その他（　　）

4　介護職への就業について

4.1　あなたは介護職に関心がありますか。

① 関心が大いにあり、介護職に就きたい　② 関心はあるが、介護職に就きたいかは検討中
③ 関心はあまりないが、進路の選択肢の一つとして介護職も検討中
④ 関心はないが、少し知ってみてもよいと思う　⑤ 介護職に就く意思もなく、関心もない
⑥ その他（　　）

4.2　あなたは介護職をどのような職業と考えますか。〈上位２つまで〉

① 大きな使命感を必要とする仕事　② 大きな需要がある仕事　③ 社会貢献度が高い仕事
④ 人に誇れる仕事　⑤ 自己実現できる仕事　⑥ 心身が疲弊する仕事　⑦ 女性が多い職種
⑧ 外国人でも参入し易い職種　⑨ 誰もが出来るわけでない専門職　⑩ あまり自慢できない仕事
⑪ その他（　　）

4.3　あなたは介護職の職業意識として何が重要と考えますか。〈上位２つまで〉

① チーム意識　② 社会貢献意識　③ 要介護者個人への思い入れ　④ 要介護者の家族への配慮
⑤ 博愛精神　⑥ 医療従事者との連携　⑦ 最新介護･看護知識等の学習　⑧ 専門職としての誇り
⑨自身のキャリアアップ　⑩ 忍耐強さ　⑪ その他（　　）

4.4　あなたが日本で介護職に就く際、何に不安・懸念がありますか。〈上位２つまで〉

① 日本語能力　② 専門知識・スキルの習得　③ 心身の健康の維持　④ 就業意欲の持続
⑤ 要介護者との信頼関係の構築　⑥ 職場での人間関係の構築　⑦ 必要な収入の確保
⑧ 研修・OJT等の支援体制　⑨ 国家資格の取得　⑩ 将来設計・キャリア形成
⑪ その他（　　）

4.5　あなたが日本で介護職に就く場合、将来目標・キャリア形成・業務内容等に関する希望は何ですか。

〈自由記述〉

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

A2　調査票（英語版）

the 2016 Project Commissioned by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

Survey regarding to Occupation and Career Preferences of Foreign Japanese-Language Learners

This survey is commissioned by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in order to develop a career education program towards foreign candidates who wish to become a careworker in Japan. We wish to take a closer grasp of the occupation and career preference of those Japanese-language learners.

◆ General Information

School	**School：** Major：
Age / Sex	**Age：** Years old **Sex：** Male ・ Female
Home Country	① Indonesia ② Singapore ③ Thailand ④ Philippine ⑤ Malaysia ⑥ Brunei ⑦ Vietnam ⑧ Myanmar ⑨ Laos ⑩ Cambodia ⑪ Others（ ）
Occupation Before Coming to Japan	① High School Student ② College or University Student ③ Postgraduate Student ④ Public Servant / Company Employee ⑤ Solo Proprietor ⑥ International Student in Other Countries ⑦ Unemployed ⑧ Others（ ）
Types of Exchange Program	① Exchange Program ② Private Funded ③ Government Funded ④ Public Funded ⑤ Company Funded ⑥ Scholarship by Other Governments or Institutions ⑦ Others（ ）
Years of Japanese-Language Study Before Coming to Japan	① N/a ② Less than 6 months ③ 6 months to 1 year ④ 1 to 2 years ⑤ 2 to 5 years ⑥ 5 to 10 years ⑦ More than 10 years
JPLT Level	① N/a ② N5 ③ N4 ④ N3 ⑤ N2 ⑥ N1

1　The Perspective of Work and Occupation

1.1　What are your main purposes of “Working”?〈3 max〉

① Make money ② A motive for living ③ Continuation of personal interest
④ A way to achieve self-realisation ⑤ A way to contribute the society

⑥ Opportunity for social participation ⑦ Challenge yourself ⑧ An obligation
⑨ To form an estimate of your value ⑩ Wish not to work if not required
⑪ Others（ ）

1.2 What criteria do you take into your consideration when choosing your "Job"?〈3 max〉

① Pay ② The future prospect of the corporation ③ Job that can make contribution to the society
④ Whether it is valuable, worthwhile
⑤ Whether it can enable oneself to make best use of his ability and personality
⑥ Whether it can gauge personal ability and result ⑦ Acquisition of skills and knowledge
⑧ Highly specialised such that it is irreplaceable by anyone else ⑨ Personal ability focus
⑩ Teamwork focus ⑪ Whether it is socially recognisable and admirable
⑫ Job nature which is related to Japan ⑬ Diversity, welfare and working environment
⑭ Location ⑮ Working hours and holidays ⑯ Not specified
⑰ Others（ ）

1.3 What criteria do you wish to have regarding to the company you work for in Japan?〈3 max〉

① Preferential treatment for foreigners
② Sufficient amount of internal trainings regarding to language and technical knowledge
③ One's cultural background ④ Take responsibility of important task
⑤ The opportunities to negotiate about pay, working hour, posting, etc.
⑥ Allow part time job or subsidiary business outside
⑦ An environment that allow sufficient communication with colleagues and superiors
⑧ Hire as a permanent worker ⑨ Able to gauge one's strength and result
⑩ An environment that can provide support during difficulties and failures
⑪ Others（ ）

1.4 Please select the right level（①～④）that you think of in your home country

Items	① Relevant ② Somewhat relevant ③ Not really relevant ④ Irrelevant
1） Work is regarded as merely a way to obtain income	① ② ③ ④
2） Work is regarded as a way to contribute to the society	① ② ③ ④
3） It is more important to choose a job that you can have motivation and enthusiasm for than one that provide good reward and treatment.	① ② ③ ④
4） What is important when performing a task is more team work than personal abilities or skills.	① ② ③ ④
5） Easier for switching jobs in future career	① ② ③ ④
6） It is better to bring the experience to another company in later career than work for a company for a long period of them.	① ② ③ ④

7）	Even if you are employed as a permanent worker, you are also allowed to work as a part timer and have any sort of subsidiary business outside.	① ② ③ ④
8）	Always talk to your manager or superiors and make sure everything is in line with expectation	① ② ③ ④
9）	Lots of overtime work（very usual） ※ Even it is non-business hour, client always comes first.	① ② ③ ④
10）	It is more important to get into a company first than to focus on the future career development, because the job-hunting situation is too severe to get a job.	① ② ③ ④

2 Career Goals

2.1 What do you wish to do after graduation from Japanese-language school?〈2 max〉

① Go to college in home country ② Participate in social work in home country
③ Set up own business in home country ④ Work for a company in home country
⑤ Work for a Japanese / Japan-related company in home country
⑥ Study abroad in other countries except Japan ⑦ Work overseas except Japan
⑧ Go to college in Japan and work in Japan after graduation
⑨ Go to college in Japan and set up own business / work in home country after graduation
⑩ Work and live in Japan
⑪ Start off with working in Japan then work in home country / set up own business
⑫ Others（ ）

2.2 What kind of field do you want to study or work in after graduation from Japanese-language school?〈3 max from 1-60〉

Vocational School	1 Education 2 Medical / Welfare service 3 Beauty 4 Wellness / Sports 5 Fashion / Japanese clothing manufacture 6 Nutrition / Cooking 7 Game / Computer / Web development 8 Automobile / Aerospace 9 Animal / Plant 10 Bridal / Hotel management / Leisure 11 Architecture / Civil engineering / Interior design 12 Visual art 13 Music / Event 14 Environment studies / Biotechnology 15 International Relations / Linguistics 16 Media / Entertainment 17 Business / Finance / Real estate 18 Public servant / Low / Politics 19 Mechanics / Electronics / Chemistry 20 Manga / Animation

College / Junior College	21 Culture / History / Geography　22 Low / Politics / Economics 23 International relations　24 Industry / Business management 25 Sociology / Media　26 Linguistics　27 Art / Philosophy / Literature 28 Human science / Psychology　29 Education　30 Welfare 31 Home economics　32 Sports / Wellness　33 Medicine　34 Pharmacy 35 Biology / Chemistry　36 Mathematics / Physics 37 Engineering / Technology　38 Architecture 39 Earth / Environment / Energy　40 Information technology
Employment	**▼ Manufacture Sector** 41 Mechanics　42 Electronics　43 Transport machinery（*e.g.* automobile） 44 Metal / Iron / Steel　45 Textile / Clothing　46 Chemistry　47 Food 48 Others（　　） **▼Non-Manufacture Sector** 49 Transportation　50 Commerce / Trade　51 Finance / Insurance 52 Computer / IT　53 Construction / Civil engineering　54 Real Estate 55 Hotel　56 Travel / Leisure　57 Education　58 Medical / Welfare 59 Restaurant　60 Others（　　）

2.3　What kinds of career development are your aiming for after obtaining a job?〈2 max〉

① Management　② Career upgrade through going back to study or study abroad
③ Career upgrade through switching jobs
④ Career upgrade through obtaining required or extra certificates in related fields
⑤ Career upgrade through setting up own business
⑥ Don't have anything specified, just wish to follow the pace and develop
⑦ Haven't considered anything yet
⑧ Others（　　）

2.4　What are the important approach or efforts in terms of career development / upgrade?〈3 max〉

① Improve Japanese ability　② Strengthen understanding of Japanese culture / business custom
③ Obtain good business manner　④ Obtain sufficient information regarding to desired industry / field
⑤ Obtain knowledge and skills regarding to that particular industry / field　⑥ Obtain required certificates
⑦ Networking　⑧ Preparation of job switching / setting up own business　⑨ Savings
⑩ Others（　　）

2.5　What other extra information would you like to know while doing job-hunting in Japan?〈3 max〉

① Interviews' tips　② Aptitude test tips　③ Entry sheet writing tips
④ Ways to conduct self-analysis　⑤ Ways to conduct an industry analysis
⑥ Ways to conduct research of an institution　⑦ Ways to conduct job research
⑧ Ways of OB visit　⑨ Interview etiquette　⑩ The entire process / procedure of job-hunting
⑪ Ways to use the career centre　⑫ Others（　　）

2.6 What other extra information would you like to know while conducting company research during job-hunting in Japan?〈3 max〉

① Tendency to hire overseas student ② Number to be hired ③ Recruiting process and method
④ Desired characteristic ⑤ Company's vision ⑥ Status and position ⑦ Financial status
⑧ Objective assessment of the company ⑨ Strength and weakness / Future perspective
⑩ Atmosphere ⑪ Job description and responsibilities ⑫ Pay system
⑬ Personnel evaluation system ⑭ Welfare and benefits ⑮ On and off the job training
⑯ Perspective of career path ⑰ Internal rotation ratio ⑱ Turnover ratio ⑲ Amount of work
⑳ Others（ ）

2.7 Do you have any part-time job experience in Japan？

① Working as a part-timer at the moment ② Have been working as a part-timer before
③ No experience

［Please answer 1）～4）if your answer above is ① or ②. You are not required to answer any of these if your answer above is ③.］

1）What are / were your part-time jobs?〈3 max〉

（ ）（ ）（ ）

2）What makes you feel good of working as a part-timer in Japan?〈3 max〉

① Improvement of Japanese ability ② Able to cover tuition fee and living expenses
③ Earning more than expectation ④ Able to make more friends（oversea students）
⑤ Able to make more friends（Japanese locals） ⑥ Able to deepen understanding of Japan
⑦ Able to understand the Japanese way of thinking and working
⑧ Able to understand the meaning and values of working
⑨ Able to acquire practical knowledge and skills ⑩ Able to acquire business manners
⑪ Able to blend into the society, feel pleasant about the social aspect
⑫ Want to work in Japan in the future ⑬ Want to move to Japan
⑭ have begun to like Japan and its culture ⑮ Strengthened the willingness to learn
⑯ Others（ ）

3）What makes you feel unpleasant of working as a part-timer in Japan?〈3 max〉

① Little improvement of Japanese ability ② Not able to cover tuition fee and living expenses
③ Earning less than expectation ④ Not able to expand social network as thought
⑤ Increasingly unable to understand Japan and its culture
⑥ Not able to accept the way Japanese people think or work
⑦ Not able to feel the meaning and values of working ⑧ Physically worn out
⑨ Mentally worn out ⑩ Not able to acquire practical knowledge, skills and business manners
⑪ Saw the unpleasant aspect of the society
⑫ Have a feeling that don't want to work in Japan in the future
⑬ Have begun to dislike Japan after the part-time experience ⑭ became less willing to learn
⑮ Affect academic performance ⑯ Others（ ）

4）**What makes you struggle when working as a part-timer in Japan?**〈3 max〉

① Work-Study balance ② Maintain living ③ Maintain required earning level
④ Maintain good health condition ⑤ Human relations ⑥ Time management
⑦ Overcome the differences of the way of thinking and action
⑧ Understand the Japanese business manners ⑨ Japanese-listening skills
⑩ Japanese-reading skills ⑪ Japanese-speaking skills ⑫ Japanese-writing skills
⑬ Others（ ）

3 The way Japanese people work

3.1 Please fill in 1）～4）with ①～㉕ below.

① Detailed and careful ② Highly efficient ③ Highly productive
④ Clear line Clear line between business and private affairs ⑤ supportive to inferiors
⑥ Clear instruction from superiors ⑦ Serious and hard-working ⑧ Fair
⑨ Good teamwork ⑩ Respect personal ability ⑪ Clear personnel evaluation system
⑫ Good compensation and treatment ⑬ Good working environment ⑭ Clean and neat
⑮ Active staff communication ⑯ High sense of belonging to the organisation
⑰ Customer first ⑱ Strict time management ⑲ Strict quality control ⑳ Strict accounting
㉑ Advanced business process（*e.g.* automation, IT, etc.） ㉒ Quick progress
㉓ Long working hours ㉔ Lots of meetings
㉕ Flexible, quick adaptation to changes and diversity

1）**Within ①～㉕, which are the <u>closest</u> 5, in your perspective, best describe the way Japanese people work?** （ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

2）**Within ①～㉕, which are the <u>farthest</u> 5, in your perspective, best describe the way Japanese people work?** （ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

3）**Within ①～㉕, which are the <u>closest</u> 5, in your perspective, best describe the way people work in your home country?** （ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

4）**Within ①～㉕, which are the <u>farthest</u> 5, in your perspective, best describe the way people work in your home country?** （ ）（ ）（ ）（ ）（ ）

3.2 Please select the level of relevance（①～④）from 1）～6）on the assumption that you work in Japan.

Items	① Relevant ② Somewhat relevant ③ Not really relevant ④ Irrelevant
1） There are many good points that we should learn regarding to the way Japanese people work.	① ② ③ ④

2）	I wish to share the way of Japanese people working to the people in my home country.	① ② ③ ④
3）	I think I can, or rather should change my ways of working and thinking into those of Japanese people.	① ② ③ ④
4）	I would rather select the company which enables me to work in my own way than adjust myself to the way Japanese people work.	① ② ③ ④
5）	It seems very difficult to understand and learn the way Japanese people work.	① ② ③ ④
6）	If I can work in Japan, I don't care where I work, even in countryside or in the city. （Regardless of geographical locations, commute time, etc.）	① ② ③ ④

3.3 Please state the good points and bad points regarding to the way Japanese people work.

〈Good Points〉
〈Bad Points〉

3.4 What do you consider as important when working with Japanese staff at a Japanese company? 〈5 max〉

① Understand the Japanese society, culture and history
② Understand the Japanese way of thinking and behaviour
③ Maintain good health condition ④ Understand the way Japanese people work
⑤ Adaption to the Japanese business custom ⑥ Modesty ⑦ Indicate clear intention
⑧ Pride to home country ⑨ Build good relationship with colleagues ⑩ Greeting ⑪ Loyalty
⑫ Punctuality ⑬ Compliance ⑭ Frequent report and talk to superiors about any issues
⑮ Cleanliness ⑯ Smile ⑰ Improvement of Japanese ability
⑱ Acquire practical knowledge and skills □⑲ Obtain required certificates
⑳ Being aspiring or a strong desire to learn ㉑ Indicate willingness and enthusiasm
㉒ Team work ㉓ Problem-solving skills（Insight, reason, judgement, etc.）
㉔ Flexible, quick adaptation to changes ㉕ Negotiation skills
㉖ Others（ ）

4 Working as a careworker

4.1 Are you interested in care work?

① Highly interested, and wish to work in the care-working field
② Interested, but still thinking of whether to become a careworker or not
③ Not really interested, but still considering it as one of the possible career path
④ Not interested, but it would be good to know more about it
⑤ Not interested, and have no intention of becoming a careworker
⑥ Others（ ）

4.2 What kind of profession do you think careworker is?〈2 max〉

① Big sense of mission ② Highly demanded ③ Highly related and contributing to the society
④ Profession which can be proud of ⑤ Profession that can achieve self-realisation
⑥ Physically and mentally exhausting profession ⑦ Profession with mostly female
⑧ Profession which foreigners can easily take part in
⑨ Profession which require highly specialised skill set and high levels of entry
⑩ Not a profession which can be proud of ⑪ Others（ ）

4.3 In your opinion, what is the most important sense of professionalism of a careworker?〈2 max〉

① Sense of teamwork ② Sense of contributing to the society
③ Empathy to those who require nursing care
④ Consideration to the family of those who require nursing care
⑤ Philanthropic attitude ⑥ Cooperation with healthcare professionals
⑦ Learning new careworking and nursing knowledge ⑧ Pride as a specialist personnel
⑨ Career development ⑩ Highly patience ⑪ Others（ ）

4.4 Do you feel any anxiety if you work as a careworker in Japan?〈2 max〉

① Japanese ability ② Acquisition of practical / special knowledge and skills
③ Maintain physically and mentally good health condition ④ Continuation of desire to work
⑤ Build up good relationship with those who require nursing care ⑥ Build up good job relations
⑦ Maintain income ⑧ Support system（*e.g.* OJTs） ⑨ Acquire national certificates
⑩ Make a future plan and career development ⑪ others（ ）

4.5 If you get a long-term careworking job in Japan, what is your career goal, the duties you wish to do, etc.?〈free description〉

End of Questionnaire

Thank you for your kind cooperation.

A3　調査票（ベトナム語版）

Dự án ủy thác của Bộ Giáo dục, Văn hóa, Thể thao, Khoa học và Công nghệ Nhật Bản

Điều tra ý thức về nghề nghiệp đối với người học tiếng Nhật

Phiếu điều tra này là được sự ủy thác của Bộ Giáo dục, Văn hóa, Thể thao, Khoa học và Công nghệ Nhật Bản về việc chuẩn bị trước cho 「Chương trình giáo dục định hướng nghề nghiệp đối với người nước ngoài có nguyện vọng làm nghề điều dưỡng」, và được thực hiện để nắm bắt tình hình ý thức của người học tiếng Nhật đối với vấn đề định hướng nghề nghiệp.

Rất mong được hợp tác.

◆Thông tin của người trả lời (Thông tin về bạn)

Đơn vị sở thuộc	Tên trường: Khoa/Ngành:
Tuổi・Giới tính	Tuổi: tuổi Giới tính: Nam・Nữ
Quốc Tịch	① Indonesia ②Singapore ③Thái ④Philipin ⑤ Malaysia ⑥Brunei ⑦Việt Nam ⑧Myanmar ⑨ Lào ⑩Campuchia ⑪Nước khác ( )
Nghề trước khi nhập cảnh Nhật	① HS cấp 3 ②Sinh viên ĐH ③SV Cao Học ④Công viên chức, nhân viên công ty ⑤ Kinh doanh tư nhân ⑥Du học ở nước khác ⑦Thất nghiệp ⑧Khác( )
Loại hình du học	① Du học trao đổi ②Du học tự túc ③Du học chế độ ngành ④Du học công phí ⑤ Du học theo chế độ công ty ⑥Du học theo học bổng của chính phủ khác ⑦ Khác( )
Thời gian học tiếng Nhật trước khi nhập cảnh nhật	① Không học ②Dưới nửa năm ③Trên nửa năm, dưới 1 năm ④Trên 1 năm, dưới 2 năm ⑤ Trên 2 năm, dưới 5 năm ⑥Trên 5 năm, dưới 10 năm ⑦Trên 10 năm
Trình độ tiếng Nhật (Lấy JLPT làm mực định)	① Dưới N5 ②Trên N5,dưới N4 ③Trên N4,dưới N3 ④Trên N3,dưới N2 ⑤ Trên N2,dưới N1 ⑥Trên N1

1　Hãy nói về quan điểm nghề nghiệp・quan điểm làm việc của bạn

1.1 Bạn suy nghĩ như thế nào về vấn đề 「Làm Việc」 <Chọn tối đa 3 mục>

①Cách thức kiếm thu nhập ②Lẽ sống cuộc đời ③Kéo dài sở thích ④Cách thức thể hiện bản thân ⑤Phương pháp cống hiến xã hội

⑥Động cơ để tham gia xây dựng kế hoạch xã hội ⑦Thử thách ⑧Nghĩa vụ của con người ⑨Thước đo giá trị con người

⑩ Nếu được thì không muốn phải làm việc ⑪Khác ( )

1.2 Điều quan trọng khi chọn 「Nghề」 của bạn là gì? <Chọn tối đa 3 mục>

① Công việc lương cao ②Công ty có triển vọng, có tiếng tăm trong tương lai

② Công việc có tính chất cống hiến cho xã hội cao ④Công việc mà mình quan tâm và có tính là lẽ sống cuộc đời

⑤ Công việc thích ứng với năng lực bản thân, nhu cầu bản thân ⑥Đánh giá đúng thành quả và năng lực thực tế của bản thân

⑦ Có thể học hỏi được kỹ thuật・kiến thức thông qua công việc ⑧Công việc đòi hỏi trình độ chuyên môn cao, không phải ai cũng làm được

⑨ Công việc chú trọng năng lực cá nhân ⑩Công việc chú trọng làm việc nhóm

⑪ Công việc được sự đồng ý・ghen tị・khen ngợi của mọi người xung quanh ⑫Công việc・Công ty liên quan đến Nhật Bản

⑫ Môi trường làm việc có nhiều chế độ đãi ngộ・có chính sách phúc lợi xã hội ⑭Địa điểm làm việc thuận lợi về khoảng cách địa lý để đi làm

⑮Thời gian làm việc ngắn,nhiều ngày nghỉ lễ và không bận rộn ⑯Không chú trọng điều kiện gì ⑰Khác ( )

1.3 Mong muốn, nguyện vọng của bạn tới xí nghiệp, công ty mà mình làm việc là gì? <Chọn tối đa 3 mục>

①Có biện pháp ưu tiên cho người nước ngoài ②Có nhiều thực tập trong nội bộ công ty về ngôn ngữ・kiến thức chuyên môn

③ Quan tâm thấu hiểu văn hóa của mình ④Cho chịu trách nhiệm nhiều công việc quan trọng và có tính trách nhiệm cao

⑤ Có cơ hội đàm phán về lương bổng・thời gian làm việc・bộ phận làm việc ⑥Cho phép làm thêm nghề tay trái

⑦ Môi trường làm việc có nhiều cơ hội trao đổi ý kiến với cấp trên・đồng nghiệp

⑧ Tuyển dụng theo hợp đồng nhân viên chính thức ⑨Đánh giá đúng thành quả・năng lực của bản thân

⑩ Môi trường làm việc ủng hộ, trợ giúp mình khi gặp khó khăn, thất bại

⑪ Khác ( )

1.4 Hãy lựa chọn Quan điểm nghề nghiệp・Quan điểm lao động tại nước bạn được liệt kê từ mục 1 đến mục 10 bên dưới

Mục Lục	①Tương ứng ②Tương ứng đôi chút ③Hầu như không tương ứng ④Không tương ứng			
1) Có suy nghĩ rằng Công việc chỉ đơn giản là 1 công cụ kiếm thu nhập	①	②	③	④
2) Có suy nghĩ rằng Công việc là phương cách để người dân cống hiến ・tham gia xây dựng xã hội	①	②	③	④
3) Điều chú trọng khi lựa chọn công việc hơn cả điều kiện lương bổng là công việc có tính nhiệt huyết và lẽ sống cuộc đời	①	②	③	④
4) Điều quan trọng khi tiến triển công việc là hơn cả năng lực bản thân là thao tác làm việc nhóm với mọi người xung quanh	①	②	③	④
5) Tự do chuyển việc 1 cách đơn giản	①	②	③	④
6) So với làm việc lâu dài tại 1 công ty, tốt hơn là nên nhiều lần chuyển việc để có kinh nghiệm với nhiều loại hình công ty	①	②	③	④
7) Cho phép nhân viên chính thức được làm thêm nghề tay trái	①	②	③	④
8) Nội dung công việc của mình luôn được cấp trên nắm bắt rõ. Và, luôn thảo luận, xin ý kiến với cấp trên về nội dung công việc của mình	①	②	③	④
9) Làm thêm ngoài giờ hành chính nhiều (Hoặc, hay có thông lệ bình thường như vậy) ※Mặc dù đã hết giờ làm việc theo quy định, nhưng vẫn phải ưu tiên giải quyết với đối tác, hay hoàn thành công việc theo tiến độ đã đặt ra.	①	②	③	④
10) Do tình hình xin việc khó khăn nên hơn cả dự định tương lai, trước mắt chú trọng việc xin được việc làm	①	②	③	④

2 Hãy nói về chí hướng sự nghiệp của ban (Chọn tối đa 2 mục)

2.1 Nguyện vọng tiếp theo của bạn như thế nào sau khi tốt nghiệp trường tiếng Nhật

①Theo học cấp 3 của nước mình ②Theo đuổi hoạt động xã hội tại nước mình ③Lập nghiệp kinh doanh tại nước mình

④Xin việc tại nước mình ⑤Xin vào làm tại công ty liên quan đến Nhật Bản tại nước mình ⑥Đi du học nước khác ngoại trừ Nhật bản

⑦Xin việc ở nước khác trừ Nhật bản ⑧Theo học cấp 3 tại Nhật sau đó muốn xin việc tại Nhật

⑨Theo học cấp 3 tại Nhật, sau đó trở về nước xin việc・lập nghiệp kinh doanh

⑩Xin việc tại Nhật , sau đó sinh sống ở Nhật ⑪Xin việc tại Nhật, sau đó về nước và xin việc lại, hay lập nghiệp kinh doanh

⑫Khác ( )

2.2 Sau khi tốt nghiệp trường Nhật ngữ, bạn dự định học lên ngành nghề gì hay dự định tìm việc về ngành nghề gì?

(Hãy đưa 3 lựa chọn bạn mong muốn nhất)

Học lên trường Trung cấp	1.Giáo dục 2. Y tế・Phúc lợi 3. Làm đẹp・Cắt tóc・Trang điểm・Làm móng tay・Làm mặt 4. Sức khỏe・Thể thao 5. Thời trang・May đồ kiểu Nhật 6. Dinh dưỡng・Nấu ăn・Làm bánh 7. Game・Máy tính・Web 8. Ô tô・Hàng không・Vũ trụ 9. Động vật・Thực vật 10. Du lịch・Tham quan・Khách sạn・Cưới hỏi 11. Kiến trúc・Xây dựng・Nội thất 12. Thiết kế・Ảnh・Nghệ thuật 13. Âm nhạc・Sự kiện 14. Tự nhiên・Môi trường・Sinh học 15. Quốc tế・Ngôn ngữ 16. Truyền thông・Nghệ sĩ 17. Business・Tài chính・Bất động sản 18. Công viên chức nhà nước・Pháp luật・Chính trịnh 19. Máy móc・Điện・Điện tử・Hóa học 20. Truyện tranh・Phim hoạt hình
Học lên Đại học・Cao đẳng	21. Văn hóa・Địa lý・Lich sử 22. Pháp luật・Chính trị・Kinh tế 23. Quan hệ quốc tế・Ngoại giao 24. Sản xuất・Kinh doanh 25. Xã hội・Truyền thông 26. Ngôn ngữ 27. Nghệ thuật・Văn học・Triết học 28. Con người・Tâm lý 29. Giáo dục 30. Phúc lợi 31. Chính trị・Đời sống 32. Thể thao・Sứ khỏe 33. Y học 34. Dược học 35. Sinh học・Hóa học 36. Toán học・Vật lý 37. Công nghiệp・Kỹ thuật 38. Kiến trúc 39. Trái đất・Môi trường・Năng lượng 40. Thông tin・IT
Xin việc	▼ Ngành sản xuất 41. Cơ khí 42. Điện 43. Công cụ vận chuyển (Xe tự động…) 44. Kim loại・Sắt thép 45. Vải・May mặc 46. Hóa học 47. Thực phẩm 48. Khác ( ) ▼ Ngành ngoài ngành sản xuất 49. Vận tải 50. Thương mại・Ngoại thương 51. Tiền tệ・Bảo hiểm 52. Ngành liên quan đến máy tính. 53. Xây dựng dân dụng, công nghiệp 54. Bất động sản 55. Khách sạn・Nhà nghỉ 56. Tham quan・Du lịch 57. Giáo dục 58. Y tế・Phúc lợi 59. Ăn uống 60. Khác ( )

2.3 Sau khi có công việc thì bạn dự định phát triển sự nghiệp của bản thân theo hướng nào? (Đưa ra 2 phương án)

① Lên làm quản lý ② Tiếp tục học lên cao hoặc du học để có thăng tiến ③ Chuyển việc để thăng tiến

④ Thi lấy được các chứng chỉ cao cấp để thăng tiến ⑤ Tự mở công ty để phát triển sự nghiệp

⑥ Không cần thăng tiến chỉ làm việc bình thường ⑦ Không nghĩ gì cả ⑧ Khác ( )

2.4 Để phát triển sự nghiệp cho bản thân bạn nghĩ mình cần phải làm gì?

① Nâng cao năng lực tiếng Nhật ② Củng cố hiểu biết về văn hóa phong cách làm việc của Nhật ③ Học phong cách làm việc

④ Tập hợp các thông tin về lĩnh vực muốn làm việc ⑤ Nâng cao kiến thức chuyên môn, tay nghề ⑥ Thi lấy các chứng chỉ cần thiết

⑦ Tạo lập mối quan hệ xã hội ⑧ Chuyển việc・Chuẩn bị thành lập công ty ⑨ Tiết kiệm ⑩ Khác ( )

2.5 Khi tìm việc tại Nhật, bạn muốn biết những thông tin gì cụ thể? (Đưa ra 3 lựa chọn)

① Phương pháp luyện phỏng vấn ② Phương pháp làm bài thi viết ③ Cách viết Đơn xin việc ④ Cách phân tích bản thân

⑤ Cách tìm hiểu về ngành nghề của công ty ⑥ Cách tìm hiểu về công ty ⑦ Cách tìm hiểu về loại hình công việc

⑧ Cách thăm và gặp gỡ người đi trước ⑨ Các chú ý về trang phục, phong cách ⑩ Những điều về quy trình tìm việc

⑪ Cách sử dụng các trung tâm giới thiệu việc của trường ⑫ Khác ( )

2.6 Khi tìm việc tại Nhật, bạn muốn biết những thông tin chi tiết gì về các công ty? (Đưa ra 3 lựa chọn)

① Số người lao động nước ngoài đã tuyển dụng ② Số lượng người dự kiến tuyển dụng ③ Phương pháp tuyển dụng・quy trình

④ Kiểu người được công ty ưa chuộng ⑤ Lý tưởng kinh doanh ⑥ Công ty ở vị trí nào trong lĩnh vực đang hoạt động⑦ Tình hình tài chính ⑧ Đánh giá khách quan về công ty ⑨ Có tương lai không, điểm mạnh, điểm yếu ⑩ Môi trường làm việc trong công ty

⑪ Thực tế bản thân phải làm những công việc gì ⑫ Thể chế Lương ⑬ Chế độ đánh giá nhân sự ⑭ Chế độ phúc lợi ⑮ Chế độ đào tạo, giáo dục⑯ Chế độ thăng tiến trong công ty ⑰ Chuyển nơi làm, chuyển bộ phận ⑱ Tỷ lệ nghỉ việc ⑲ Mức độ bận rộn ⑳ Khác ( )

2.7 Về kinh nghiệm làm arubaito tại Nhật của bạn, có điều nào sau đây bạn thấy đúng không?

① Hiện tại đang làm　② Trước đây có làm nhưng giờ không làm nữa　③ Chưa từng đi làm arubaito tại Nhật

【Nếu bạn chọn ①, ② thì trả lời tiếp từ 1) ～ 4 dưới đây. Nếu bạn chọn ③ thì không cần trả lời tiếp】

1) Công việc arubaito mà bạn đã làm là gì? (nhiều nhất đến 3 công việc)

(　　) (　　)(　　)

2) Từ kinh nghiệm làm arubaito bạn đã cảm thấy những điều tốt đẹp gì? (Đưa ra 3 lựa chọn)

①Khả năng tiếng Nhật tốt lên　② Tự chi trả được tiền học&sinh hoạt phí　③ Thu nhập cao hơn tưởng tượng　④ Bạn là du học sinh tăng lên⑤ Bạn người Nhật tăng lên　⑥ Hiểu biết thêm về Nhật　⑦ Hiểu về cách suy nghĩ& làm việc của người Nhật

⑧ Cảm nhận được ý nghĩa, sự thú vị của lao động　⑨ Học được kỹ năng và kiến thức thực tiễn　⑩ Học được phong cách làm việc

⑪ Học hỏi được về xã hội　⑫ Trở nên muốn làm việc tại Nhật　⑬ Trở nên muốn song lâu dài ở Nhật　⑭ Trở nên yêu thích Nhật

⑮ Tăng cường mong muốn được học tập　⑯ Khác (　　)

3) Từ kinh nghiệm làm arubaito bạn đã cảm thấy những điều không tốt gì? (Đưa ra 3 lựa chọn)

①Khả năng tiếng Nhật không tốt lên mấy　② Không tự chi trả được tiền học và sinh hoạt phí　③Thu nhập không cao như tưởng tượng

④ Quan hệ bạn bè không mở rộng như đã nghĩ　⑤Càng ngày càng không hiểu gì về Nhật　⑥ Không tán thành cách làm việc của người Nhật

⑦ Không cảm nhận được ý nghĩa, sự thú vị của lao động　⑧ Cảm thấy kiệt sức về thể lực　⑨ Cảm thấy kiệt sức về tinh thần

⑩ Không học hỏi được gì về kỹ năng và kiến thức thực tiễn　⑪ Thấy được mặt trái của xã hội　⑫ Trở nên không muốn làm việc tại Nhật

⑬ Trở nên ghét đất nước Nhật　⑭ Ý muốn được học tập bị xóa bỏ　⑮ Bị ảnh hưởng xấu đến việc học　⑯Khác (　　)

4) Từ kinh nghiệm làm arubaito bạn đã thấy mình đã gặp những khó khăn gì?

①Cân bằng việc làm thêm với việc học　② Duy trì cuộc sống　③ Kiếm được mức tiền cần　④Duy trì sức khỏe

⑤ Quan hệ giữa con người với con người　⑥ Quản lý kế hoạch làm việc　⑦Sự khác nhau giữa cách suy nghị và hành động của bản thân và người Nhật

⑧Hiểu về thói quen làm việc ở Nhật　⑨ Nghe tiếng Nhật⑩ Đọc tiếng Nhật　⑪ Nói bằng tiếng Nhật　⑫ Viết tiếng Nhật

⑬ Khác (　　)

3. Về cách làm việc của người Nhật

3.1 Chọn các mục từ ① đến ㉕ dưới đây để trả lời các câu hỏi từ 1) ～ 4)

① Cẩn thận từng chút một　② Tính hiệu quả cao　③ Tính sản xuất cao　④Phân biệt rõ ràng công và tư　⑤Luôn hỗ trợ và giúp đỡ người dưới　⑥ Chỉ thị của cấp trên rõ ràng　⑦ Chăm chỉ, chịu khó học hỏi　⑧ Quang minh chính đại　⑨ Làm việc theo nhóm tốt
⑩ Tôn trọng khả năng của cá nhân　⑪ Điều kiện đánh giá nhân sự rõ ràng　⑫ Lương, chế độ tốt　⑬ Môi trường làm việc tốt
⑭ Sạch sẽ　⑮ Thúc đẩy sự giao tiếp　⑯ Ý thức cao về việc mình ở trong một tổ chức　⑰ Chú trương khác hàng là hàng đầu
⑱ Quản lý chặt chẽ về thời gian　⑲ Quản lý chặt chẽ về chất lượng　⑳ Quản lý chặt chẽ về tài chính kế toan
㉑ Công cụ, quy trình làm việc tiên tiến (tự động hóa, máy tính hóa…)　㉒ Tiến trình nghiệp vụ nhanh　㉓ Thời gian làm việc dài　㉔ Họp hành nhiều
㉕ Đối ứng linh hoạt với tính đa dạng và biến đổi

1) Trong mục từ ① đến ㉕, chọn 5 ý thể hiện cách làm việc của người Nhật một cách gần đúng nhất

(　　)(　　)(　　)(　　)(　　)

2) Trong mục từ ① đến ㉕, chọn 5 ý thể hiện cách làm việc của người Nhật một cách không chính xác nhất

(　　)(　　)(　　)(　　)(　　)

3) Trong các yếu tố từ ①~㉕, bạn hãy chọn các yếu tố mà bạn cho rằng đúng với cách làm việc của đất nước mình nhất. (　　) (　　) (　　) (　　) (　　)

4) Trong các yếu tố từ ①~㉕, bạn hãy chọn các yếu tố mà bạn cho rằng khác với cách làm việc của đất nước mình nhất. (　　) (　　) (　　) (　　) (　　)

3.2 Bạn hãy tưởng tượng bạn làm việc tại Nhật, trong các câu từ 1)~6) dưới đây, bạn hãy chọn phương án bạn cảm thấy đúng với mình nhất.

Mục lục	①Đúng ②Khá đúng ③Không đúng lắm ④Khác			
1) Bạn có nghĩ rằng phải học hỏi nhiều điều ở cách làm việc của người Nhật không?	①	②	③	④
2) Bạn có muốn áp dụng cách làm việc của Nhật vào đất nước bạn không?	①	②	③	④
3) Bạn có nghĩ nên thay đổi cách làm việc và cách suy nghĩ về công việc của mình không? Hoặc là thay đổi theo cách làm của người Nhật không?	①	②	③	④
4) Bạn muốn chọn 1 công ty phù hợp với cách làm việc của bạn hơn là việc chọn 1 công ty mà bạn phải thích nghi theo môi trường đó?	①	②	③	④
5) Bạn có nghĩ rằng để hiểu và học được cách làm việc của người Nhật là điều rất khó khăn?	①	②	③	④
6) Nếu làm việc tại Nhật, bạn không quan tâm đến nội thành hay ngoại thành? (bạn không quan tâm đến vị trí địa lý hoặc phương tiện giao thông vv…)	①	②	③	④

3.3 Bạn suy nghĩ thế nào về cách làm việc của người Nhật?

(Điểm tốt)
(Điểm chưa tốt)

3.4 Nếu bạn làm việc với người Nhật trong 1 doanh nghiệp Nhật, theo bạn yếu tố nào là quan trọng?(chọn tối đa 5mục)

①Hiểu đất nước, xã hội, văn hóa, lịch sử Nhật Bản vv..②Hiểu cách suy nghĩ, thói quen của người Nhật ③Duy trì tình trạng sức khỏe tốt ④Học và hiểu cách làm việc của người Nhật ⑤Thích nghi với nghi thức làm việc của Nhật ⑥Khiêm tốn ⑦Thể hiện rõ ý kiến, quan điểm ⑧Tự hào về đất nước mình ⑨Xây dựng mối quan hệ đồng nghiệp tốt ⑩Luôn chào hỏi lễ phép ⑪Trung thành với công ty ⑫Đúng giờ ⑬Tuân thủ nội quy ⑭Tích cực trao đổi, báo cáo tình hình với cấp trên ⑮Gọn gàng, ngăn nắp ⑯Niềm nở, tươi cười ⑰Nâng cao khả năng tiếng Nhật ⑱Học và hiểu các kĩ năng kiến thức thực tế ⑲Thi đậu các bằng cấp ⑳Chí tiến thủ ㉑Nhiệt tình, năng nổ ㉒Làm việc hiệu quả theo nhóm ㉓Khả năng phán đoán, dự đoán tình huống ㉔Linh động, tùy cơ ứng biến ㉕Khả năng thương lượng ㉖Ý kiến khác (　　)

4 Việc làm về Chăm sóc người già

4.1 Bạn có quan tâm về việc làm Chăm sóc người già không?

①Tôi rất quan tâm và muốn làm việc này ②Tôi có quan tâm nhưng đang suy nghĩ xem có nên làm hay không?

③Tôi không quan tâm lắm nhưng có thể cũng sẽ là 1 lựa chọn cho con đường tương lai của tôi

④Tôi không quan tâm nhưng tôi nghĩ là nếu biết 1 chút về việc này thì cũng tốt

⑤Tôi không quan tâm và không muốn làm việc này ⑥Ý kiến khác (　　)

4.2 Bạn hình dung thế nào về công việc Chăm sóc người già

①Công việc mang tính sứ mệnh, cần thiết ②Nhu cầu về chăm sóc người già rất lớn ③Công việc có tính cống hiến xã hội cao

④Công việc đáng tự hào ⑤Công việc tự mình làm được ⑥Công việc chăm sóc thân thể ⑦Công việc có nhiều phụ nữ

⑧Công việc mà người nước ngoài có thể dễ dàng xin việc được ⑨Công việc đòi hỏi chuyên môn mà không phải ai cũng làm được ⑩Công việc không đáng tự hào ⑪Ý kiến khác (　　)

4.3 Theo bạn, yếu tố nào cần thiết đối với công việc Chăm sóc người già

①Ý thức về làm việc theo nhóm ②Ý thức cống hiến xã hội ③Ý thức về việc người già cần được chăm sóc ④Mối quan tâm đến những gia đình cần được chăm sóc ⑤Tinh thần bác ái ⑥Liên kết với nhiều người làm ngành y tế ⑦Tiếp thu các kiến thức chuyên môn tiến bộ nhất ⑧Tự hào về chuyên môn ⑨Có lợi cho sự nghiệp ⑩Tính nhẫn nại cao ⑪Ý kiến khác (　　)

4.4 Nếu bạn quyết định làm việc tại Nhật, bạn lo lắng về vấn đề gì?

①Năng lực tiếng Nhật ②Tiếp thu kĩ năng, kiến thức chuyên môn ③Duy trì tình trạng sức khỏe ④Duy trì nhiệt huyết với công việc ⑤Xây dựng mối quan hệ với người cần chăm sóc ⑥Xây dựng mối quan hệ đồng nghiệp ⑦Đảm bảo nguồn thu nhập ⑧Chế độ hỗ trợ thực tập ⑨Ôn thi bằng cấp ⑩Sự nghiệp tương lai ⑪Ý kiến khác (　　)

4.5 Nếu bạn làm việc tại Nhật, bạn có dự định gì cho kế hoạch sự nghiệp tương lai không?

(Viết tự do tại đây)

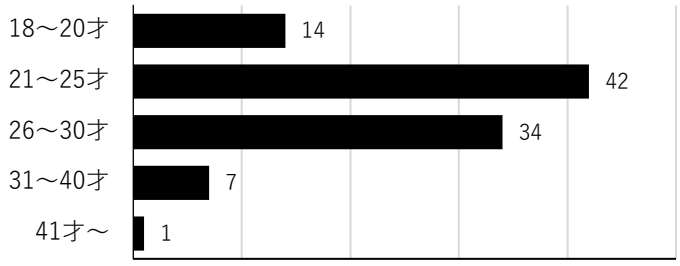
Cảm ơn sự hợp tác của các bạn !

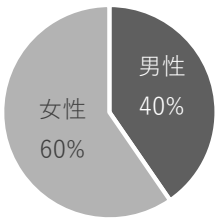
B　回答結果

回答者の基本属性

（1）　年齢・性別

年齢・性別

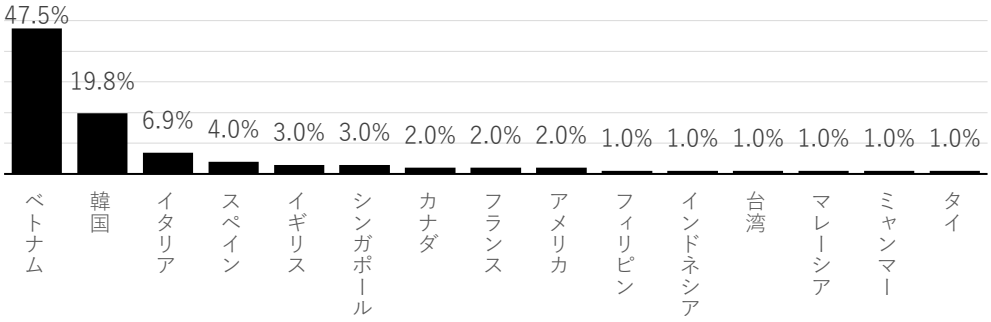




回答者の年齢は「21～25 歳」が最も多く 4 割強を占め、これに次ぐのが「26～30 歳」で、全体の 8 割弱が 20 歳代である。また、性別では男性が 4 割（40 名）、女性が 6 割（59 名）で、女性の方がやや多い。

（2）　出身国

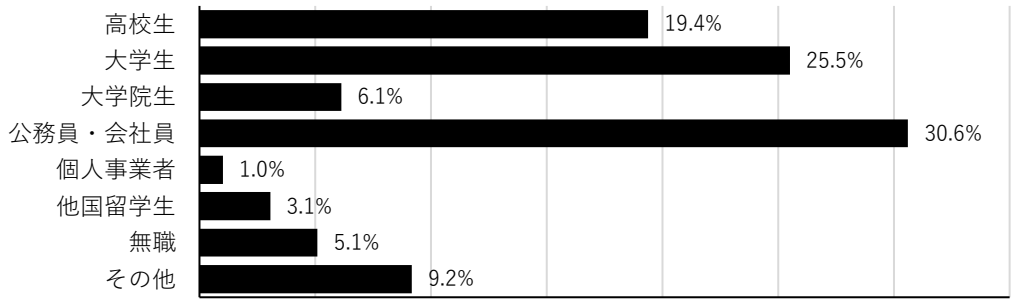
出身国



ベトナム	韓国	イタリア	スペイン	イギリス	シンガポール	カナダ	フランス	アメリカ	フィリピン	インドネシア	ギリシャ	バーレーン	台湾	マレーシア	ミャンマー	メキシコ	ロシア	タイ
48	20	7	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

回答者の出身国はアジアの他、欧州、北米と多様であるが、最も多いのはベトナムの 48 名で、全回答者の半数近くを占めている。次いで多いのは韓国の 20 名である。

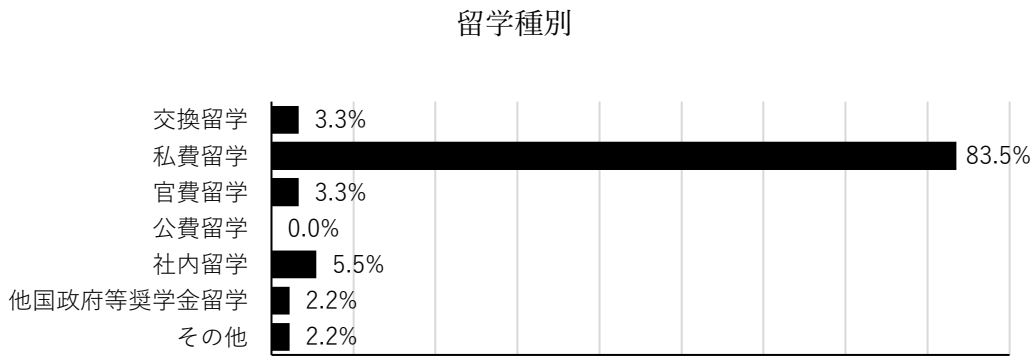
(3)　渡日前の職業



高校生	大学生	大学院生	公務員・会社員	個人事業者	他国留学生	無職	その他
19	25	6	30	1	3	5	9

日本に留学する前の職業等は、「公務員・会社員」が 30 名で最も多い。以下、「大学生」が 25 名、「高校生」が 19 名と続いている。「その他」では「看護師」という回答（1 件）があった。

(4)　留学種別

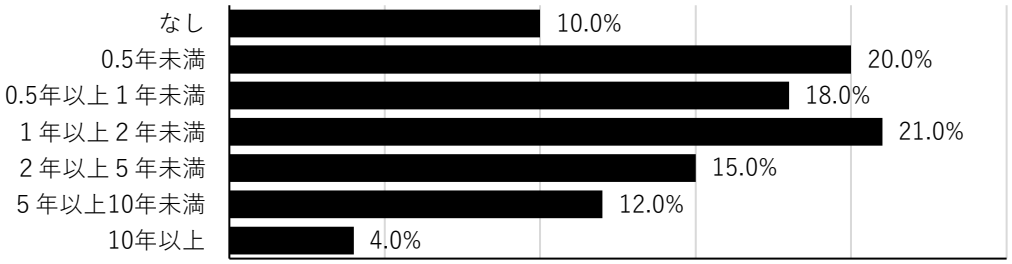


交換留学	3
私費留学	76
官費留学	3
公費留学	0
社内留学	5
他国政府等奨学金留学	2
その他	2

留学種別は 8 割以上が「私費留学」と回答している。これに対して「公費留学」は 0 名、「官費留学」も 3 名に留まっている。

(5)　渡日前の日本語学習期間

渡日前の日本語学習期間



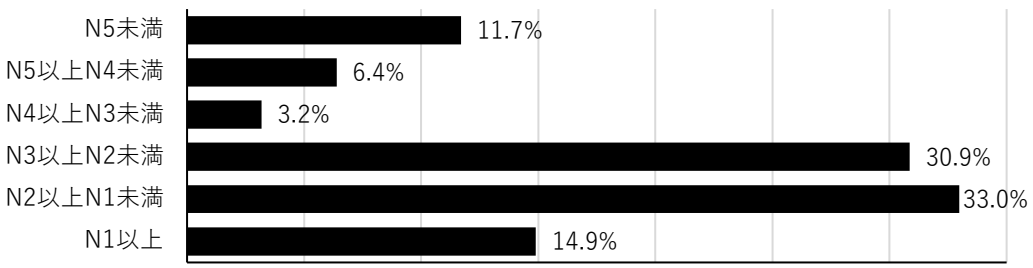
なし	10
0.5 年未満	20
0.5 年以上 1 年未満	18
1 年以上 2 年未満	21
2 年以上 5 年未満	15
5 年以上 10 年未満	12
10 年以上	4

日本に留学する前に日本語を学習した期間には、ばらつきがある。最も回答が多いのは「1 年以上 2 年未満」の 21 名だが、「0.5 年未満」が 20 名、「0.5 年以上 1 年未満」が 18 名と僅差で並んでいる。0.5 年から 2 年未満という回答が全体の約 60%を占めている。

また、「5 年以上 10 年未満」「10 年以上」と長期間に亘って日本語を学んでいる回答者が 16%を占める一方で、「なし」という回答者も 10%と少なくない。

(6)　日本語能力レベル

日本語能力レベル



N5 未満	11
N5 以上 N4 未満	6
N4 以上 N3 未満	3
N3 以上 N2 未満	29
N2 以上 N1 未満	31
N1 以上	14

JLPT 基準での日本語能力レベルについて、回答が多いのは「N2 以上 N1 未満」(31 名)、「N3 以上 N2 未満」(29 名) で、全体の約 6 割を占めている。但し、先にみた渡日前の日本語学習期間と同じく、回答は分散しており、「N1 以上」が 14 名いる一方で、「N5 未満」という回答が 11 名となっている。

勤労観・職業観

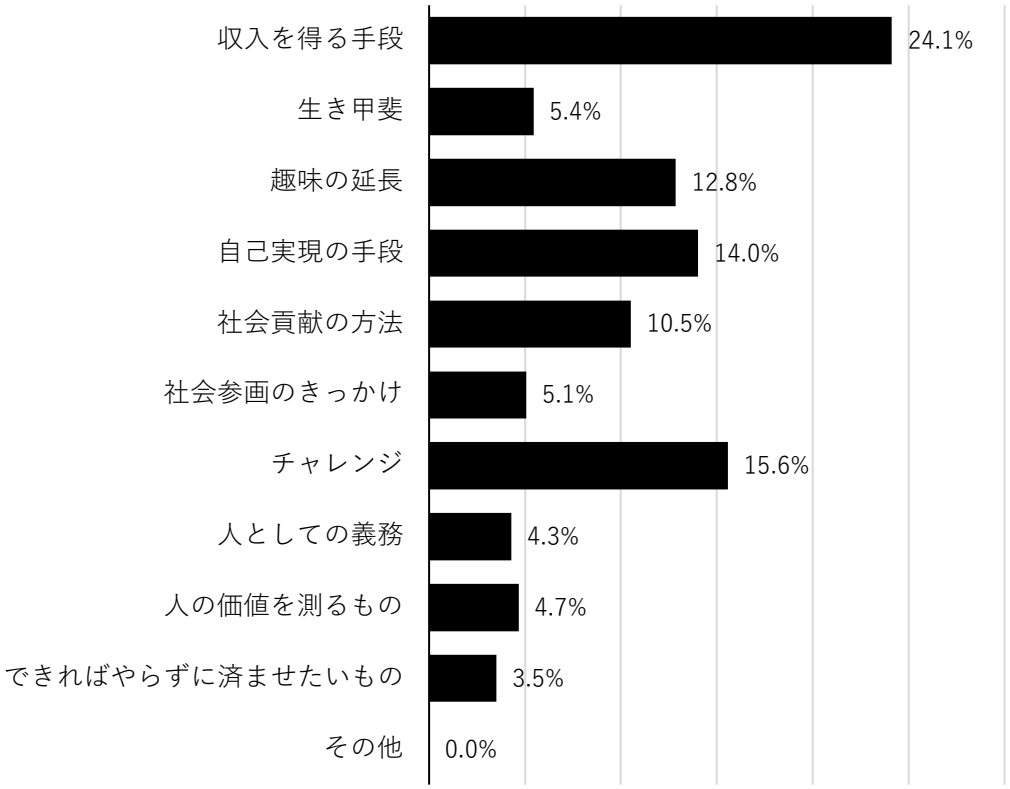
1.1　あなたは「働く」ことをどのようなものと考えますか。〈上位３つまで〉

① 収入を得る手段　② 生き甲斐　③ 趣味の延長　④ 自己実現の手段

⑤ 社会貢献の方法　⑥ 社会参画のきっかけ　⑦ チャレンジ

⑧ 人としての義務　⑨ 人の価値を測るもの

⑩ できればやらずに済ませたいもの　⑪ その他



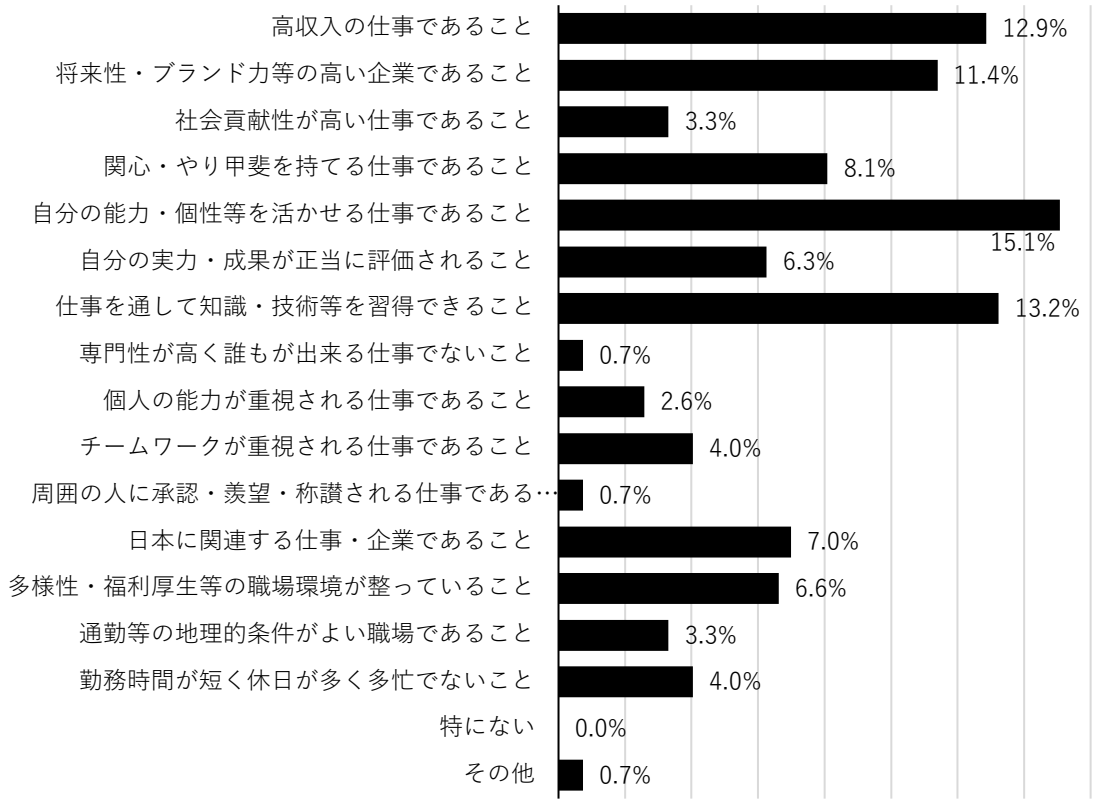
※上記グラフのパーセンテージは、「上位３つまで」の回答総数に占める当該回答の比率。
以下の設問（上位〇つまで）のグラフのパーセンテージも同様。

収入を得る手段	62
生き甲斐	14
趣味の延長	33
自己実現の手段	36
社会貢献の方法	27
社会参画のきっかけ	13

チャレンジ	40
人としての義務	11
人の価値を測るもの	12
できればやらずに済ませたいもの	9
その他	0

働くことに対する考えについての回答は「収入を得る手段」の 62 名と抜きん出で多く、寄せられた回答の総計のうち 4 分の 1 近くを占めている。これに次ぐのが、「チャレンジ」(40 名)、「自己実現の手段」(36 名）などである。

1.2　あなたが「職業」を選ぶ際に重視することは何ですか。〈上位３つまで〉
① 高収入の仕事であること　② 将来性・ブランド力等の高い企業であること
③ 社会貢献性が高い仕事であること　④ 関心・やり甲斐を持てる仕事であること
⑤ 自分の能力・個性等を活かせる仕事であること　⑥ 自分の実力・成果が正当に評価されること　⑦ 仕事を通して知識・技術等を習得できること　⑧ 専門性が高く誰もが出来る仕事でないこと　⑨ 個人の能力が重視される仕事であること　⑩ チームワークが重視される仕事であること　⑪ 周囲の人に承認・羨望・称讃される仕事であること
⑫ 日本に関連する仕事・企業であること　⑬ 多様性・福利厚生等の職場環境が整っていること　⑭ 通勤等の地理的条件がよい職場であること　⑮ 勤務時間が短く休日が多く多忙でないこと　⑯ 特にない　⑰ その他



高収入の仕事であること	35
将来性・ブランド力等の高い企業であること	31
社会貢献性が高い仕事であること	9
関心・やり甲斐を持てる仕事であること	22
自分の能力・個性等を活かせる仕事であること	41

自分の実力・成果が正当に評価されること	17
仕事を通して知識・技術等を習得できること	36
専門性が高く誰もが出来る仕事でないこと	2
個人の能力が重視される仕事であること	7
チームワークが重視される仕事であること	11
周囲の人に承認・羨望・称讃される仕事であること	2
日本に関連する仕事・企業であること	19
多様性・福利厚生等の職場環境が整っていること	18
通勤等の地理的条件がよい職場であること	9
勤務時間が短く休日が多く多忙でないこと	11
特にない	0
その他	2

職業を選ぶ際に重視することについて、最も回答が多いのは「自分の能力・個性等を活かせる仕事であること」(41 名）で、回答者の約 4 割を占めている。これに次ぐのが「仕事を通して知識・技術等を習得できること」(36 名)、「高収入の仕事であること」(35 名）という回答で、ほぼ同数となっている。

一方、「専門性が高く誰もが出来る仕事でないこと」や「周囲の人に承認・羨望・称讃される仕事であること」という回答は非常に少ない。

1.3　あなたが自分の勤める企業・職場に希望することは何ですか。〈上位３つまで〉

① 外国人優遇措置を講じてほしい

② 語学・専門知識等に関する社内研修を多く設定してほしい

③ 自分の文化的背景に配慮してほしい

④ 責任ある重要な仕事を多く担当させてほしい

⑤ 報酬・勤務時間・配属等に関する交渉の機会を確保してほしい

⑥ 副業を認めてほしい

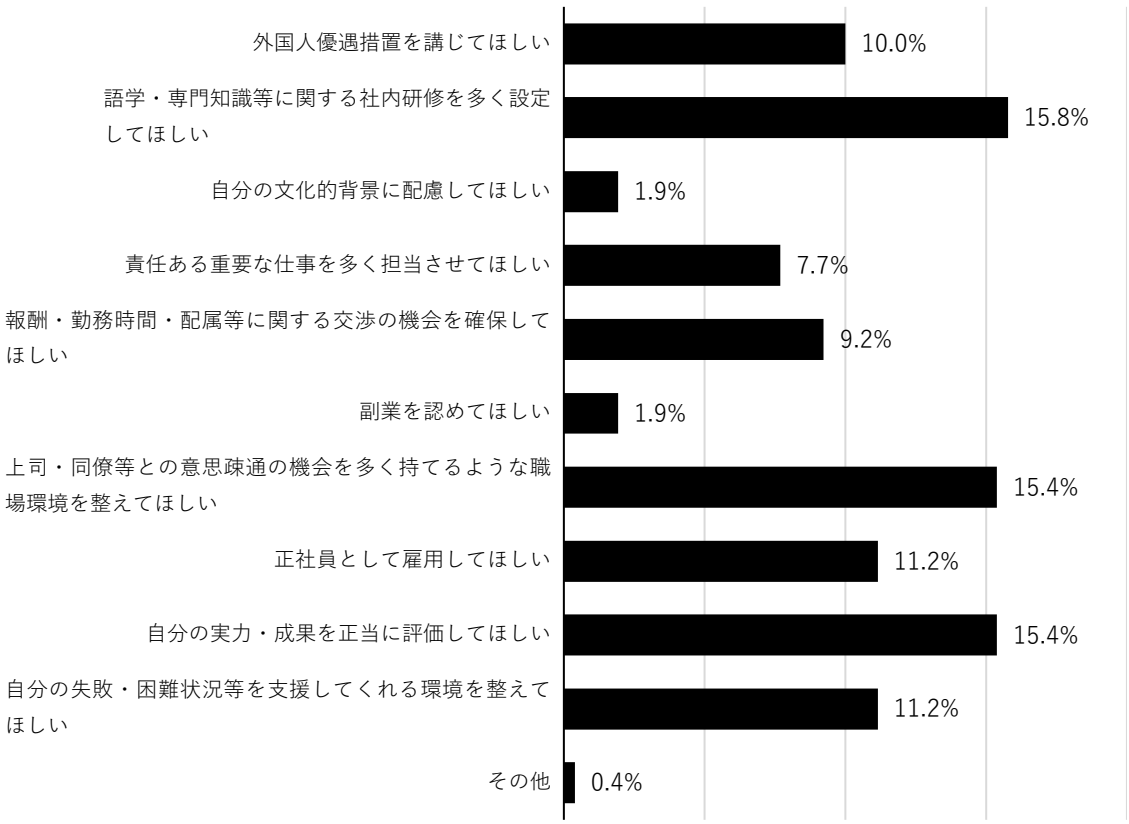
⑦ 上司・同僚等との意思疎通の機会を多く持てるような職場環境を整えてほしい

⑧ 正社員として雇用してほしい

⑨ 自分の実力・成果を正当に評価してほしい

⑩ 自分の失敗・困難状況等を支援してくれる環境を整えてほしい

⑪その他



外国人優遇措置を講じてほしい	26
語学・専門知識等に関する社内研修を多く設定してほしい	41

自分の文化的背景に配慮してほしい	5
責任ある重要な仕事を多く担当させてほしい	20
報酬・勤務時間・配属等に関する交渉の機会を確保してほしい	24
副業を認めてほしい	5
上司・同僚等との意思疎通の機会を多く持てるような職場環境を整えてほしい	40
正社員として雇用してほしい	29
自分の実力・成果を正当に評価してほしい	40
自分の失敗・困難状況等を支援してくれる環境を整えてほしい	29
その他	1

自分の勤める企業・職場に対する希望では、「語学・専門知識等に関する社内研修を多く設定してほしい」「上司・同僚等との意思疎通の機会を多く持てるような職場環境を整えてほしい」「自分の実力・成果を正当に評価してほしい」という回答が多く、僅差で並んでいる。

これに対して、「自分の文化的背景に配慮してほしい」や「副業を認めてほしい」という意見は少数である。

1.4　次の①～⑩の記述は、あなたの母国における一般的な勤労観・職業観にどの程度該当しますか。

① 仕事は、単なる収入を得る手段として考えられている。

② 仕事は、市民が社会に参画・貢献する方法の一つとして考えられている。

③ 仕事を選ぶ際に重視することは、報酬や待遇より、その仕事にやり甲斐や熱意を持てることである。

④ 仕事を進める際に大切なことは、個人の資質･能力より、周囲の人とのチームワークである。

⑤ 転職は、自由で容易である。

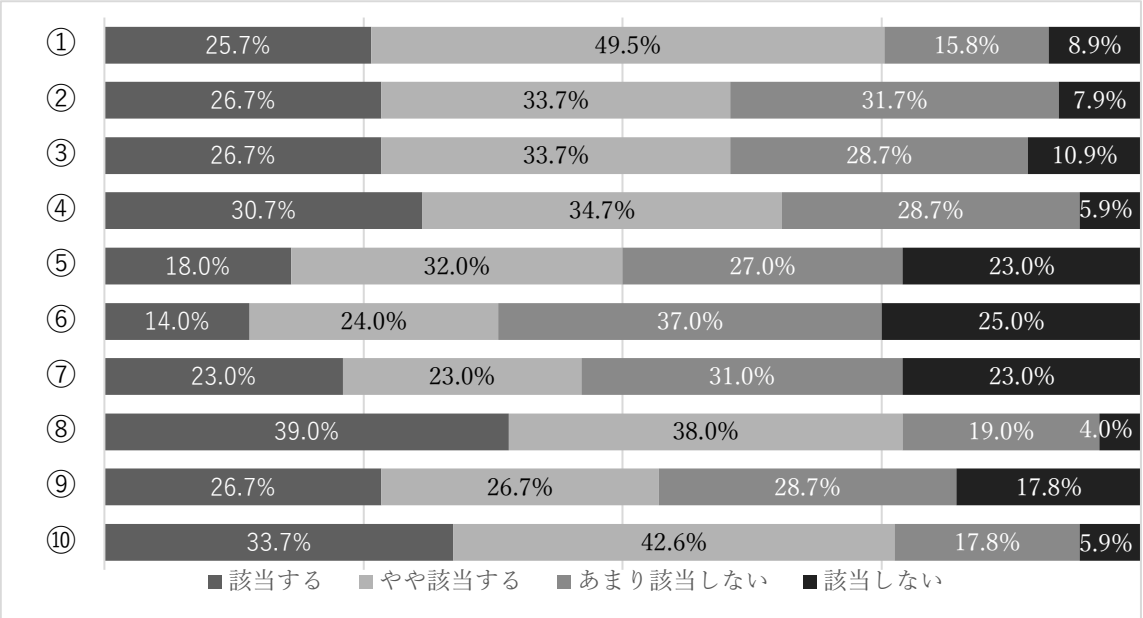
⑥ 一つの企業・職場で長く勤続するより、次々に転職して様々な企業・職場を経験する方がよい。

⑦ 正社員でも、アルバイト等の副業は許されている。

⑧ 自分の仕事の内容は常に上司に把握されている。また、自分も仕事の内容について上司によく確認・相談する。

⑨ 残業が多い（または、慣例的に普通に行われている）。

⑩ 就職が困難で就職活動が熾烈であるため、将来ビジョンより、まず企業に入ることが重視されている。



	該当する	やや該当する	あまり該当しない	該当しない
① 仕事は、単なる収入を得る手段として考えられている。	26	50	16	9
② 仕事は、市民が社会に参画・貢献する方法の一つとして考えられている。	27	34	32	8
③ 仕事を選ぶ際に重視することは、報酬や待遇より、その仕事にやり甲斐や熱意を持て。	27	34	29	11
④ 仕事を進める際に大切なことは、個人の資質･能力より、周囲の人とのチームワーク。	31	35	29	6
⑤ 転職は、自由で容易である。	18	32	27	23
⑥ 一つの企業・職場で長く勤続するより、転職して様々な企業・職場を経験する方がよい。	14	24	37	25
⑦ 正社員でも、アルバイト等の副業は許されている。	23	23	31	23
⑧ 自分の仕事の内容は常に上司に把握されている。自分も仕事の内容について上司に確認・相談する。	39	38	19	4
⑨ 残業が多い（または、慣例的に普通に行われている)。	27	27	29	18
⑩ 就職が困難で就職活動が熾烈であるため、将来ビジョンより、まず企業に入ることが重視されている。	34	43	18	6

「該当する」という回答が最も多いのは「⑧自分の仕事の内容は常に上司に把握されている。自分も仕事の内容について上司に確認・相談する。」で全体の 4 割近くを占めており、これに「やや該当する」を合わせると8割に迫る比率である。「⑩ 就職が困難で就職活動が熾烈であるため、将来ビジョンより、まず企業に入ることが重視されている。」や「④ 仕事を進める際に大切なことは、個人の資質･能力より、周囲の人とのチームワーク。」も「該当する」という回答が多い。

「該当する」と「やや該当する」の合計でみると、上記の⑧の他、「①仕事は、単なる収入を得る手段として考えられている。」「⑩ 就職が困難で就職活動が熾烈であるため、将来ビジョンより、まず企業に入ることが重視されている。」が、いずれも 7 割を上回る結果となっている。

これに対して、「該当しない」が多いのは「⑥ 一つの企業・職場で長く勤続するより、転職して様々な企業・職場を経験する方がよい。」や「⑦ 正社員でも、アルバイト等の副業は許されている。」「⑤ 転職は、自由で容易である。」で、特に⑥は「あまり該当しない」を足し合わせると 6 割を超えている。

キャリア志向

2.1　あなたは日本語学校修了後、どのような進路を希望しますか。〈上位２つまで〉

① 母国の高等教育機関に進学したい　②　母国で社会活動に従事したい

③ 母国で起業したい　④ 母国の企業に就職したい　⑤ 母国の日本関連企業に就職したい

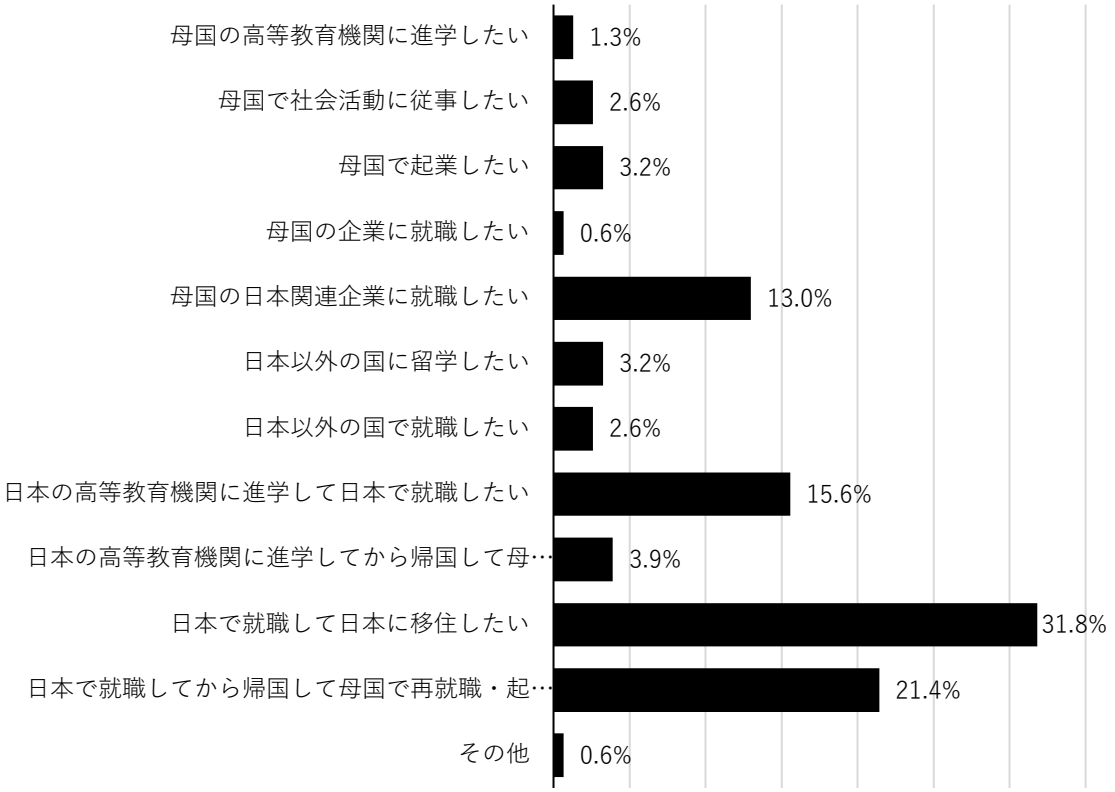
⑥ 日本以外の国に留学したい　⑦ 日本以外の国で就職したい

⑧ 日本の高等教育機関に進学して日本で就職したい

⑨ 日本の高等教育機関に進学してから帰国して母国で就職・起業したい

⑩ 日本で就職して日本に移住したい

⑪ 日本で就職してから帰国して母国で再就職・起業したい　⑫ その他



① 母国の高等教育機関に進学したい	2
② 母国で社会活動に従事したい	4
③ 母国で起業したい	5
④ 母国の企業に就職したい	1
⑤ 母国の日本関連企業に就職したい	20
⑥ 日本以外の国に留学したい	5

⑦ 日本以外の国で就職したい	4
⑧ 日本の高等教育機関に進学して日本で就職したい	24
⑨ 日本の高等教育機関に進学してから帰国して母国で就職・起業したい	6
⑩ 日本で就職して日本に移住したい	49
⑪ 日本で就職してから帰国して母国で再就職・起業したい	33
⑫ その他	1

日本語学校修了後の進路について最も多い回答は、「⑩ 日本で就職して日本に移住したい」の 49 名で、回答者の約半数が希望している。これに次いで多いのは「⑪日本で就職してから帰国して母国で再就職・起業したい」の 33 名で、日本での就職を望む回答者が多数を占めている。

日本の高等教育機関への進学希望は、「⑧ 日本の高等教育機関に進学して日本で就職したい」が 24 名、「⑨ 日本の高等教育機関に進学してから帰国して母国で就職・起業したい」が 6 名という結果になっている。

これに対し、「母国での社会活動」や「母国での起業」「母国の企業に就職」という進路の希望者は非常に少ない。

2.2　あなたは日本語学校修了後、どのような分野への進学・就職を希望しますか。〈上位 3 つまで〉

専門学校 進学	1 保育・教育　2 医療・福祉　3 美容・理容・メイク・ネイル・エステ 4 健康・スポーツ　5 ファッション・和裁　6 栄養・調理・製菓 7 ゲーム・コンピュータ・Web　8 自動車・航空・宇宙　9 動物・植物 10 旅行・観光・ホテル・ブライダル　11 建築・土木・インテリア 12 デザイン・写真・芸術　13 音楽・イベント　14 自然・環境・バイオ 15 国際・語学　16 マスコミ・芸能　17 ビジネス・金融・不動産 18 公務員・法律・政治　19 機械・電気・電子・化学　20 マンガ・アニメ

大学・短期大学 進学	21 文化・地理・歴史　22 法律・政治・経済　23 国際関係・外交 24 産業・経営　25 社会・マスコミ　26 語学　27 芸術・文学・哲学 28 人間・心理　29 教育　30 福祉　31 家政・生活　32 スポーツ・健康 33 医学　34 薬学　35 生物・化学　36 数学・物理　37 工学・技術 38 建築　39 地球・環境・エネルギー　40 情報・IT
就職	▼ 製造業 41 機械　42 電気　43 運送機器（自動車等）　44 金属・鉄鋼 45 繊維・衣類　46 化学　47 食品　48 その他（　　） ▼ 非製造業 49 運輸　50 商業・貿易　51 金融・保険　52 コンピュータ関連 53 土木・建設　54 不動産　55 ホテル・旅館　56 旅行・観光 57 教育　58 医療・福祉　59 飲食　60 その他（　　）

1	旅行・観光	25	11	ゲーム・コンピュータ・Web	9
2	国際・語学	23	12	コンピュータ関連	9
3	商業・貿易	20	13	健康・スポーツ	8
4	ホテル・旅館	17	14	自動車・航空・宇宙	8
5	産業・経営	14	15	工学・技術	8
6	旅行・観光・ホテル・ブライダル	11	16	医療・福祉	6
7	国際関係・外交	11	17	情報・IT	6
8	語学	11	18	機械	6
9	教育	11	19	電気	6
10	ビジネス・金融・不動産	10	20	運送機器（自動車等）	6

日本語学校修了後の進学・就職先として希望する分野で上位を占めたのは、「旅行・観光」「国際・語学」「商業・貿易」「ホテル・旅館」などである。海外とのやりとりや語学を活かしやすい分野に回答が寄せられている傾向が見て取れる。

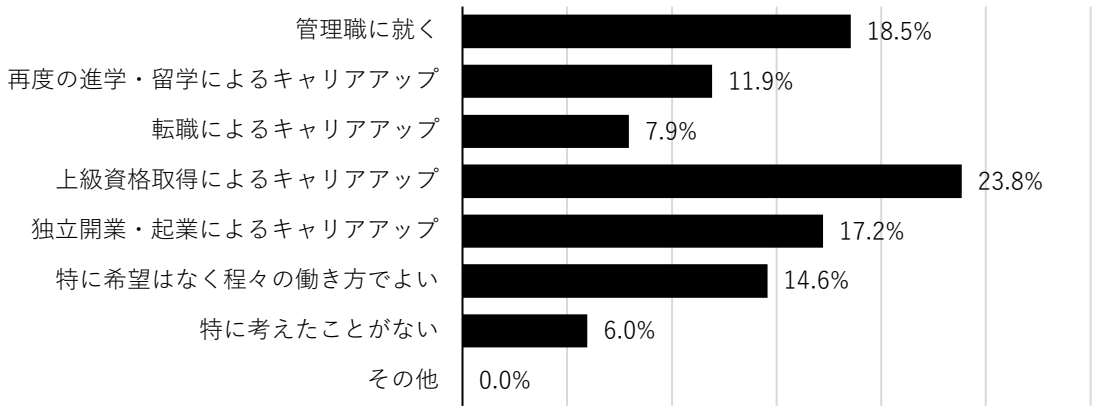
2.3　あなたは就職後、どのようなキャリアアップを目指したいと考えますか。〈上位２つまで〉

① 管理職に就く　② 再度の進学・留学によるキャリアアップ

③ 転職によるキャリアアップ　④ 上級資格取得によるキャリアアップ

⑤ 独立開業・起業によるキャリアアップ　⑥ 特に希望はなく程々の働き方でよい

⑦ 特に考えたことがない　⑧ その他

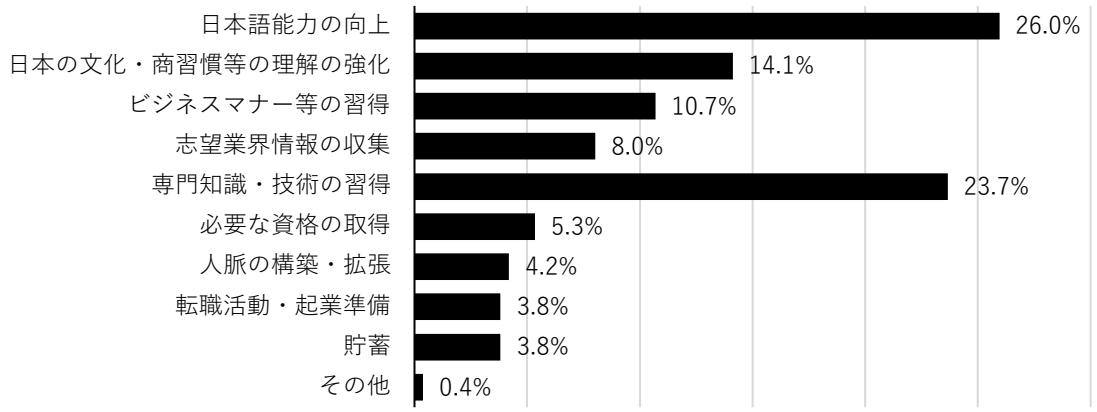


① 管理職に就く	28
② 再度の進学・留学によるキャリアアップ	18
③ 転職によるキャリアアップ	12
④ 上級資格取得によるキャリアアップ	36
⑤ 独立開業・起業によるキャリアアップ	26
⑥ 特に希望はなく程々の働き方でよい	22
⑦ 特に考えたことがない	9
⑧ その他	0

就職後に目指すキャリアアップでは、「④ 上級資格取得によるキャリアアップ」とする意見が最も多い。これに続いて多い回答は「① 管理職に就く」「⑤ 独立開業・起業によるキャリアアップ」が僅差で並んでいる。その一方で「⑥ 特に希望はなく程々の働き方でよい」「⑦ 特に考えたことがない」という、キャリアアップに対してやや消極的な回答もある。

2.4　あなたは自分のキャリアアップのためにどのようなことに取り組む必要があると考えますか。〈上位３つまで〉

① 日本語能力の向上　② 日本の文化・商習慣等の理解の強化
③ ビジネスマナー等の習得　④ 志望業界情報の収集　⑤ 専門知識・技術の習得
⑥ 必要な資格の取得　⑦ 人脈の構築・拡張　⑧ 転職活動・起業準備　⑨ 貯蓄
⑩ その他

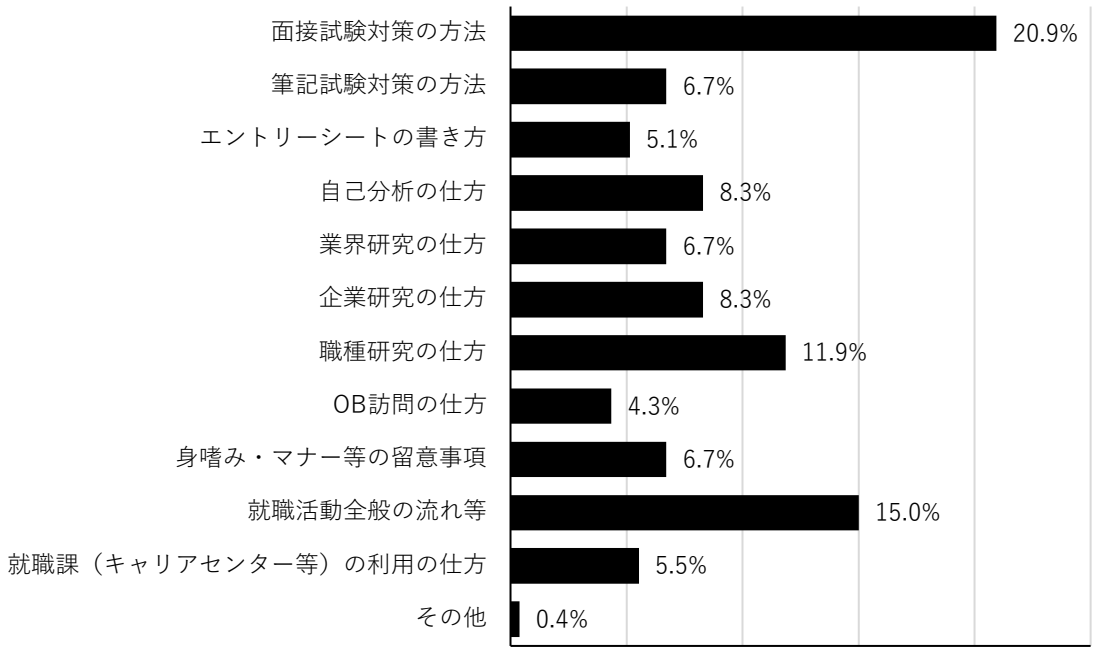


① 日本語能力の向上	68
② 日本の文化・商習慣等の理解の強化	37
③ ビジネスマナー等の習得	28
④ 志望業界情報の収集	21
⑤ 専門知識・技術の習得	62
⑥ 必要な資格の取得	14
⑦ 人脈の構築・拡張	11
⑧ 転職活動・起業準備	10
⑨ 貯蓄	10
⑩ その他	1

キャリアアップのために必要と考える取り組みに関しては、「① 日本語能力の向上」と「⑤ 専門知識・技術の習得」に多くの回答が集まっている。また、「② 日本の文化・商習慣等の理解の強化」という意見も多い。先に、日本語学校修了後の進路に関する設問で確認したように、日本での就職を希望している回答者が多数であることから、このような結果となっているものと推察される。

2.5　日本での就職活動において、あなたが詳しく知りたい情報は何ですか。〈上位３つまで〉

① 面接試験対策の方法　② 筆記試験対策の方法　③ エントリーシートの書き方
④ 自己分析の仕方　⑤ 業界研究の仕方　⑥ 企業研究の仕方
⑦ 職種研究の仕方　⑧ OB 訪問の仕方　⑨ 身嗜み・マナー等の留意事項
⑩ 就職活動全般の流れ等　⑪ 就職課（キャリアセンター等）の利用の仕方　⑫ その他

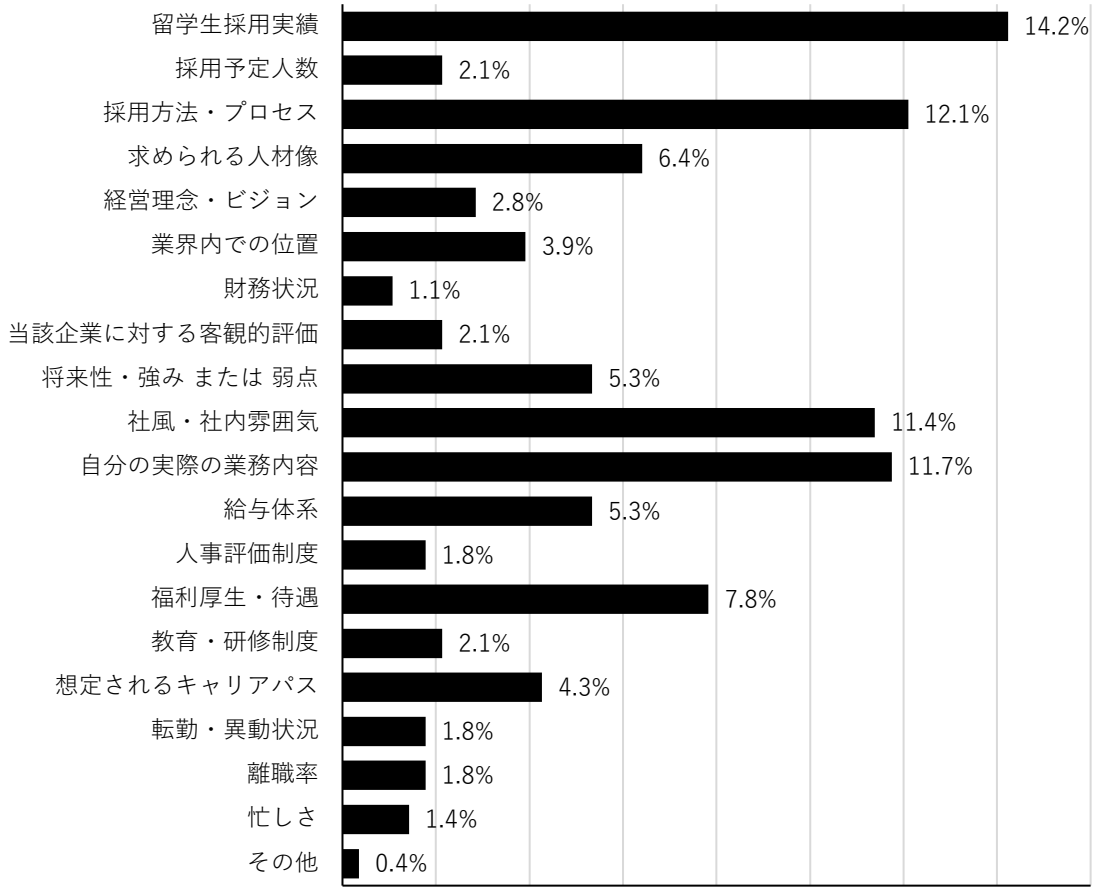


① 面接試験対策の方法	53
② 筆記試験対策の方法	17
③ エントリーシートの書き方	13
④ 自己分析の仕方	21
⑤ 業界研究の仕方	17
⑥ 企業研究の仕方	21
⑦ 職種研究の仕方	30
⑧ OB 訪問の仕方	11
⑨ 身嗜み・マナー等の留意事項	17
⑩ 就職活動全般の流れ等	38
⑪ 就職課（キャリアセンター等）の利用の仕方	14
⑫ その他	1

「① 面接試験対策の方法」という回答が 53 名、回答総数の 20.9%と、他の項目を引き離して多い。また、「⑩ 就職活動全般の流れ等」（38 名、15.0%）や「⑦ 職種研究の仕方」（30 名、11.9%）という意見も多い。

2.6　日本での就職活動において、企業研究の際にあなたが詳しく知りたい情報は何ですか。〈上位３つまで〉

① 留学生採用実績　② 採用予定人数　③ 採用方法・プロセス　④ 求められる人材像
⑤ 経営理念・ビジョン　⑥ 業界内での位置　⑦ 財務状況
⑧ 当該企業に対する客観的評価　⑨ 将来性・強み または 弱点　⑩ 社風・社内雰囲気
⑪ 自分の実際の業務内容　⑫ 給与体系　⑬ 人事評価制度　⑭ 福利厚生・待遇
⑮ 教育・研修制度　⑯ 想定されるキャリアパス　⑰ 転勤・異動状況　⑱ 離職率
⑲ 忙しさ　⑳ その他

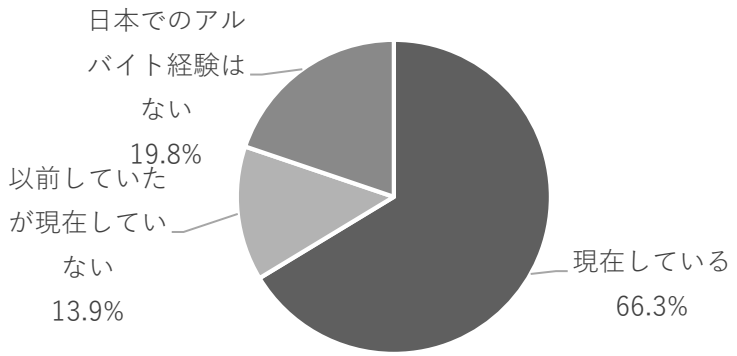


① 留学生採用実績	40
② 採用予定人数	6
③ 採用方法・プロセス	34
④ 求められる人材像	18
⑤ 経営理念・ビジョン	8
⑥ 業界内での位置	11
⑦ 財務状況	3
⑧ 当該企業に対する客観的評価	6
⑨ 将来性・強み または 弱点	15
⑩ 社風・社内雰囲気	32
⑪ 自分の実際の業務内容	33
⑫ 給与体系	15
⑬ 人事評価制度	5
⑭ 福利厚生・待遇	22
⑮ 教育・研修制度	6
⑯ 想定されるキャリアパス	12
⑰ 転勤・異動状況	5
⑱ 離職率	5
⑲ 忙しさ	4
⑳ その他	1

日本での就職活動における企業研究に際して詳しく知りたい情報としては、「① 留学生採用実績」「③ 採用方法・プロセス」「⑪ 自分の実際の業務内容」「⑩ 社風・社内雰囲気」などに多くの回答が寄せられている。

留学生の場合、①に多くの関心が集まるのは当然の結果であるが、⑩も、外国人の受け入れに対する社風や雰囲気を知りたいという意向の表れであるのかもしれない。

2.7　あなたの日本でのアルバイト経験について該当するものはどれですか。
① 現在している　② 以前していたが現在していない
③ 日本でのアルバイト経験はない



現在している	67
以前していたが現在していない	14
日本でのアルバイト経験はない	20

日本でのアルバイト経験について、「現在している」が 67 名（66.3%）で最も多く、「以前していたが現在はしていない」を合わせると、回答者の約 8 割がアルバイト経験者である。

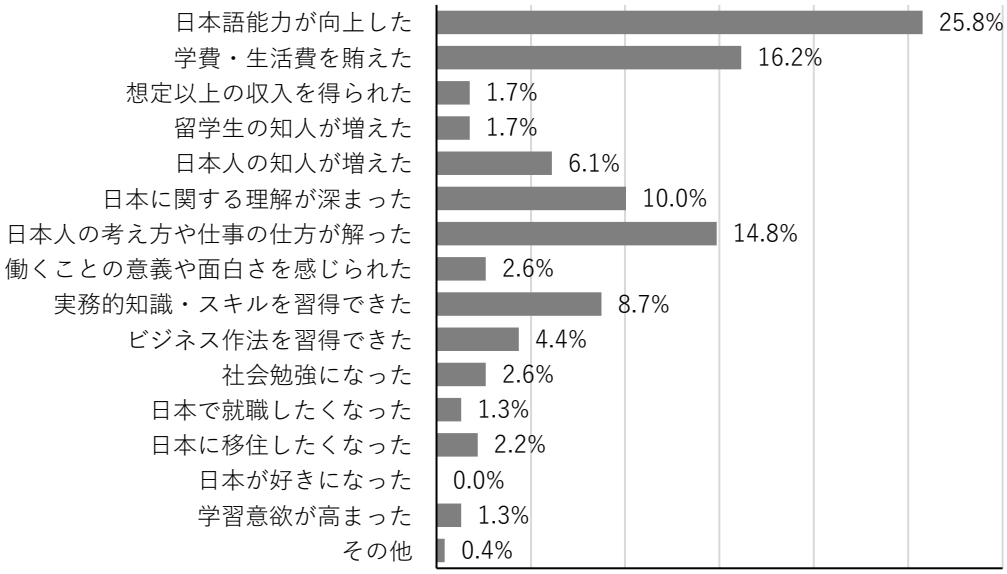
この設問で、「現在している」「以前していたが現在はしていない」という回答者に対して、次の 4 つの質問を行った。

（ア） **経験したアルバイトの内容は何ですか。**
（イ） **日本でのアルバイト経験から、よかったと感じることは何ですか。**
（ウ） **日本でのアルバイト経験から、よくなかったと感じることは何ですか。**
（エ） **日本でのアルバイト経験において、苦労したことは何ですか。**

（ア） **経験したアルバイトの内容は何ですか。**

職種・職務としては、レストランやホテルのウェイター・ウェイトレス等の飲食関係のスタッフ、介護士、語学教師といった回答が目立つ。その他では、コンビニエンスストアやスーパーの店員や宅配サービスなどの回答もある。全体としては、接客に係るアルバイトが多い。

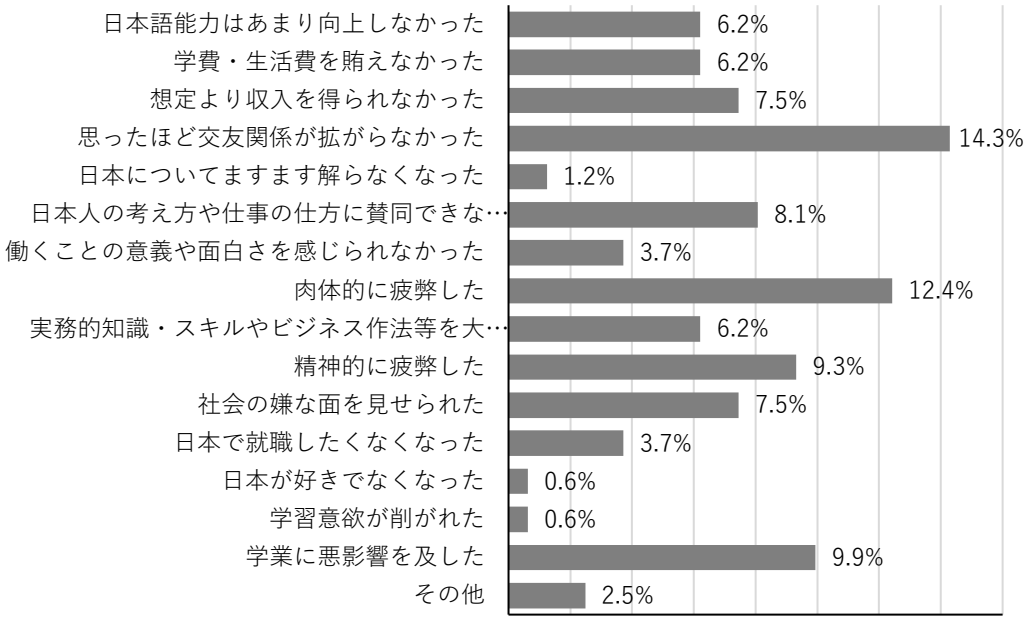
（イ） **日本でのアルバイト経験から、良かったと感じることは何ですか。**



① 日本語能力が向上した	59
② 学費・生活費を賄えた	37
③ 想定以上の収入を得られた	4
④ 留学生の知人が増えた	4
⑤ 日本人の知人が増えた	14
⑥ 日本に関する理解が深まった	23
⑦ 日本人の考え方や仕事の仕方が解った	34
⑧ 働くことの意義や面白さを感じられた	6
⑨ 実務的知識・スキルを習得できた	20
⑩ ビジネス作法を習得できた	10
⑪ 社会勉強になった	6
⑫ 日本で就職したくなった	3
⑬ 日本に移住したくなった	5
⑭ 日本が好きになった	0
⑮ 学習意欲が高まった	3
⑯ その他	1

アルバイトを経験して「よかったこと」で最も多い回答は、「① 日本語能力が向上した」で、回答者の過半数がこれを挙げている。次いで多いのは「② 学費・生活費を賄えた」で、「⑦ 日本人の考え方や仕事の仕方が解った」とする意見も多い。

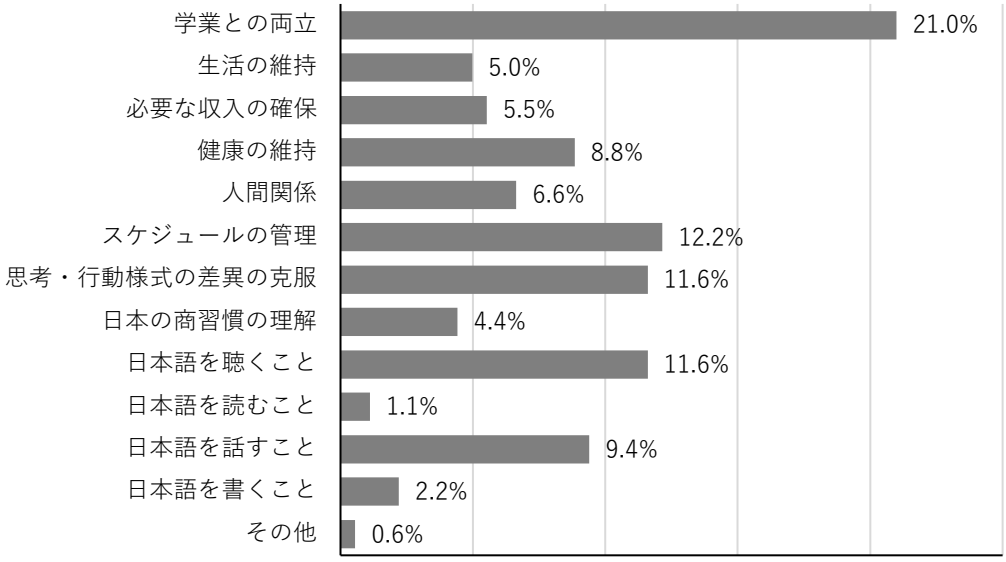
（ウ） **日本でのアルバイト経験から、よくなかったと感じることは何ですか。**



① 日本語能力はあまり向上しなかった	10
② 学費・生活費を賄えなかった	10
③ 想定より収入を得られなかった	12
④ 思ったほど交友関係が拡がらなかった	23
⑤ 日本についてますます解らなくなった	2
⑥ 日本人の考え方や仕事の仕方に賛同できなかった	13
⑦ 働くことの意義や面白さを感じられなかった	6
⑧ 肉体的に疲弊した	20
⑨ 精神的に疲弊した	15
⑨ 実務的知識・スキルやビジネス作法等を大して学べなかった	10
⑩ 社会の嫌な面を見せられた	12
⑫ 日本で就職したくなくなった	6
⑬ 日本が好きでなくなった	1
⑭ 学習意欲が削がれた	1
⑮ 学業に悪影響を及した	16
⑯ その他	4

アルバイト経験からよくなかったと感じたことについては、「④ 思ったほど交友関係が拡がらなかった」という意見が 23 名と最も多い。また、「⑧ 肉体的に疲弊した」「⑮ 学業に悪影響を及した」という回答も他の項目比べて多い。その他、「⑥ 日本人の考え方や仕事の仕方に賛同できなかった」「⑩ 社会の嫌な面を見せられた」などの回答もあり、日本での仕事のやり方や生活に対して、やや困惑している状況も垣間見える。

(エ) **日本でのアルバイト経験において、苦労したことは何ですか。**



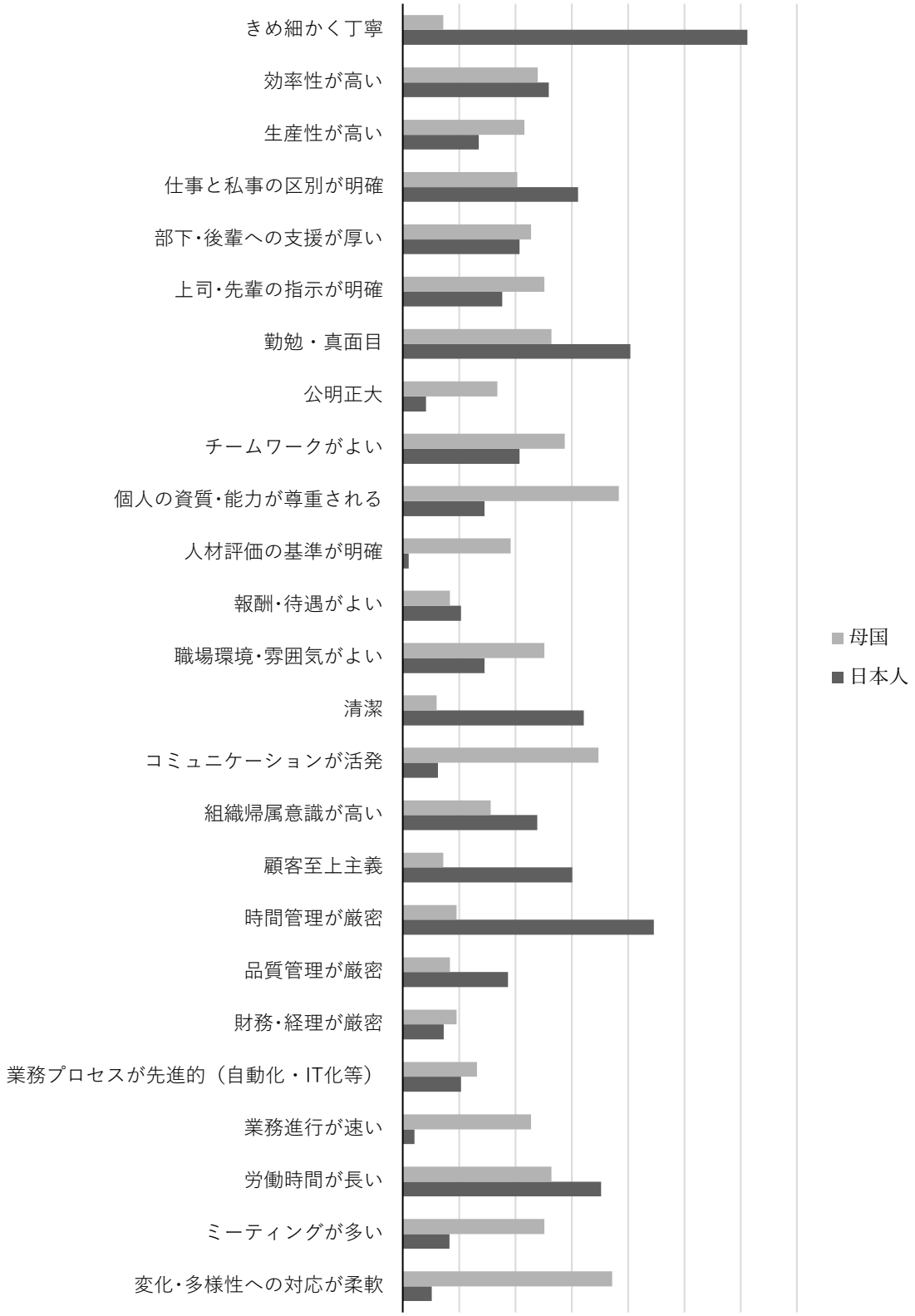
① 学業との両立	38
② 生活の維持	9
③ 必要な収入の確保	10
④ 健康の維持	16
⑤ 人間関係	12
⑥ スケジュールの管理	22
⑦ 思考・行動様式の差異の克服	21
⑧ 日本の商習慣の理解	8
⑨ 日本語を聴くこと	21
⑩ 日本語を読むこと	2
⑪ 日本語を話すこと	17
⑫ 日本語を書くこと	4
⑬ その他	1

最も多いのは「① 学業との両立」とする回答で、これは先にみた「アルバイト経験からよくなかったと感じること」の結果と符合している。「⑥ スケジュールの管理」も、学業との両立に関連する事項であろう。

また、「⑨ 日本語を聴くこと」「⑪ 日本語を話すこと」への回答が多いのは、接客に係るアルバイト経験者が多いことが一因として考えられる。

日本人の仕事の仕方

3.1　仕事の仕方を表す記述として、「最も近い」と思うものについて、「日本人」と「母国」それぞれについて質問した。

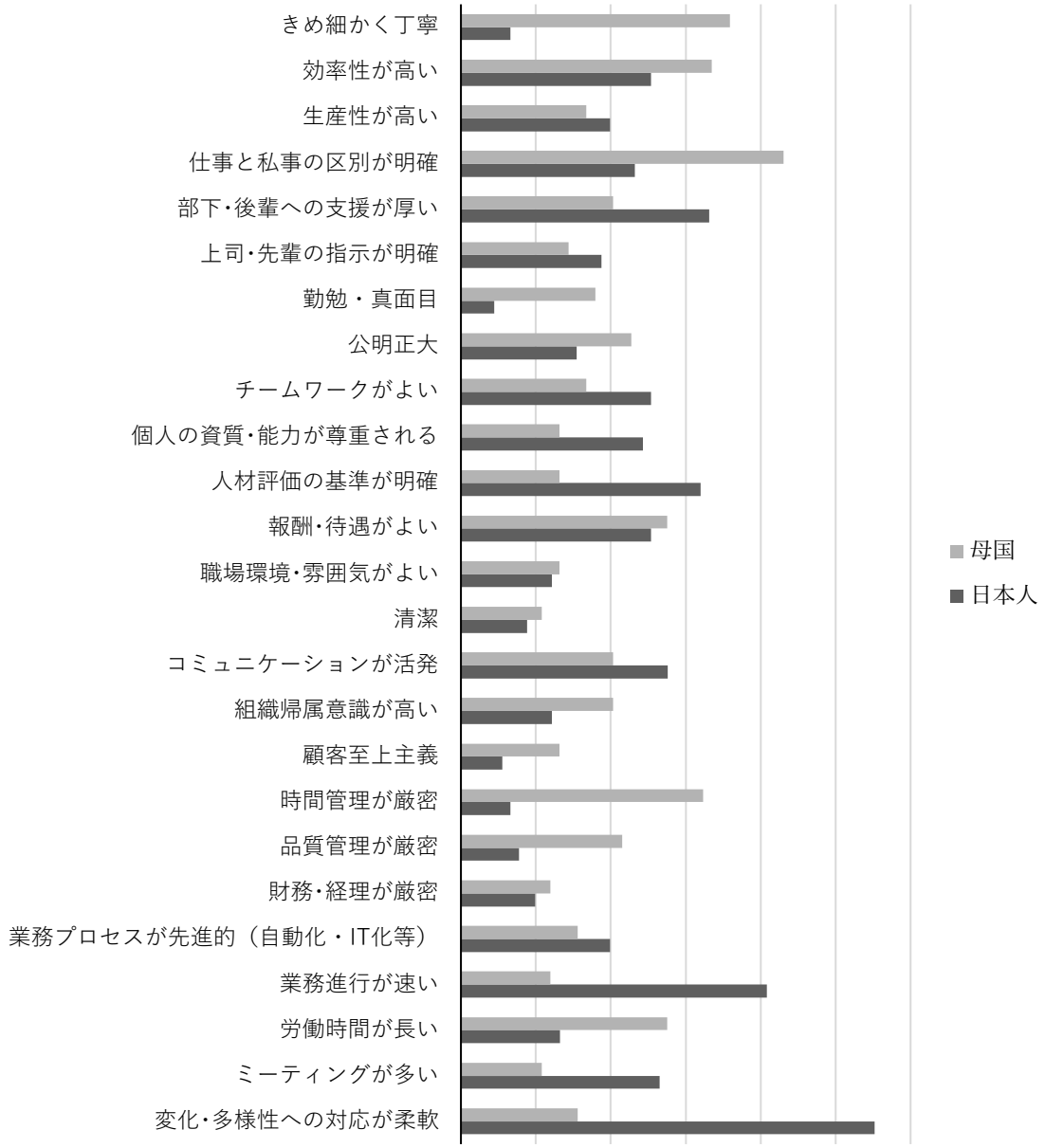


	日本人の仕事の仕方として近いもの	母国の仕事の仕方として近いもの
① きめ細かく丁寧	59	6
② 効率性が高い	25	20
③ 生産性が高い	13	18
④ 仕事と私事の区別が明確	30	17
⑤ 部下･後輩への支援が厚い	20	19
⑥ 上司･先輩の指示が明確	17	21
⑦ 勤勉・真面目	39	22
⑧ 公明正大	4	14
⑨ チームワークがよい	20	24
⑩ 個人の資質･能力が尊重される	14	32
⑪ 人材評価の基準が明確	1	16
⑫ 報酬･待遇がよい	10	7
⑬ 職場環境･雰囲気がよい	14	21
⑭ 清潔	31	5
⑮ コミュニケーションが活発	6	29
⑯ 組織帰属意識が高い	23	13
⑰ 顧客至上主義	29	6
⑱ 時間管理が厳密	43	8
⑲ 品質管理が厳密	18	7
⑳ 財務･経理が厳密	7	8
㉑ 業務プロセスが先進的（自動化・IT 化等）	10	11
㉒ 業務進行が速い	2	19
㉓ 労働時間が長い	34	22
㉔ ミーティングが多い	8	21
㉕ 変化･多様性への対応が柔軟	5	31

上のグラフ・表は、仕事の仕方の印象として最も「近い」と思う記述を「日本人」と「母国」で比較した結果である。

「日本人」と「母国」の比較で両者の差異が大きいのは、「① きめ細かく丁寧」「⑭ 清潔」「⑱ 時間管理が厳密」などで、これらは「日本人の仕事の仕方に近い」という意見が多い。これに対して、「母国の仕事の仕方に近い」が「日本人」に比べて多いのは「⑩ 個人の資質･能力が尊重される」「⑪ 人材評価の基準が明確」「⑮ コミュニケーションが活発」「㉕ 変化･多様性への対応が柔軟」などである。

3.1　仕事の仕方を表す記述として、「最も遠い」と思うものについて、「日本人」と「母国」それぞれについて質問した。



	日本人の仕事の仕方として遠いもの	母国の仕事の仕方として遠いもの
① きめ細かく丁寧	6	30
② 効率性が高い	23	28
③ 生産性が高い	18	14
④ 仕事と私事の区別が明確	21	36
⑤ 部下･後輩への支援が厚い	30	17
⑥ 上司･先輩の指示が明確	17	12
⑦ 勤勉・真面目	4	15
⑧ 公明正大	14	19
⑨ チームワークがよい	23	14
⑩ 個人の資質･能力が尊重される	22	11
⑪ 人材評価の基準が明確	29	11
⑫ 報酬･待遇がよい	23	23
⑬ 職場環境･雰囲気がよい	11	11
⑭ 清潔	8	9
⑮ コミュニケーションが活発	25	17
⑯ 組織帰属意識が高い	11	17
⑰ 顧客至上主義	5	11
⑱ 時間管理が厳密	6	27
⑲ 品質管理が厳密	7	18
⑳ 財務･経理が厳密	9	10
㉑ 業務プロセスが先進的（自動化・IT 化等）	18	13
㉒ 業務進行が速い	37	10
㉓ 労働時間が長い	12	23
㉔ ミーティングが多い	24	9
㉕ 変化･多様性への対応が柔軟	50	13

上のグラフ・表は、仕事の仕方の印象として最も「遠い」と思う記述を「日本人」と「母国」で比較した結果である。

「日本人」に対する回答に着目すると、「㉕ 変化･多様性への対応が柔軟」が抜きん出て多い。これは、先にみた「日本人の仕事の仕方に近い」の結果と符合するが、「⑪ 人材評価の基準が明確」も同様である。また、「近い」では顕在化していなかったが、「㉒ 業務進行が速い」や「⑤ 部下･後輩への支援が厚い」などについても厳しい見方をされている。

上記の設問では、自由記入形式で、「日本人の仕事の仕方」の「良い点」と「良くない点」について回答を求めた。

以下、「良い点」、「良くない点」として寄せられた意見を内容面から分類して列記する。なお、基本的に回答者からの意見はそのまま引用しているが、一部については意見の主旨を変えない範囲で、言葉を補っている。

(1)　良い点

●働く姿勢・一生懸命さ、真面目さ

- **一生懸命です。**
- **一生懸命働きます**
- **一生懸命やって几帳面だと思う。**
- **勤勉、正直、忠実**
- **日本人は勤勉　丁寧に教えてくれる　仕事が時間通り　厳しいけれど親切**
- **だいたいまじめ。**
- **自分に対してきびしくまじめ**
- **厳格的**
- **妥協しない**
- **ちゃんとしている、きれい好き、まじめ**
- **人によって、仕事の仕方が違いますがほとんど一緒に仕事をしたことがある日本人は真面目にします。**
- **真面目（同意見、他1件）**
- **まじめ、こまかい、きれい好き**
- **真面目、時間を守る。**
- **まじめ、仕事に対して一生懸命して責任感が強い**

- **まじめ。時間を守る。やさしい。**
- **まじめさ、お客さんにやさしい、ルールを徹底にまもる**
- **まじめだし一生懸命**
- **みんなまじめに働いている。**
- **予定時間通り　まじめ　効率がいい**
- **ルールを守る**
- **プロセスがあってそれを守る**

●丁寧さ・きれいさ

- **お客様に丁寧な言葉を使っています。積極的にサービスを提供しています。**
- **きちんと、こまかく、きれい好き、お客様を大事にする**
- **こまかい部分まで気を使っていねいに対応すること。**
- **細かい（ところ）までやります。(同意見、他1件)　※（）内記述は引用者による**
- **きれい好き（同意見、他1件）**
- **仕事が丁寧**
- **丁寧、細かい**
- **品質のこだわり。**
- **ものごとの質をきちんと管理する**

●時間厳守

- **時間をちゃんと守ります。時間を守ることがいいです。**
- **時間厳守。時間を守ります。時間を守る。**
- **時間厳守**
- **日本人の時間を守ることです。**
- **時間をきちんと守ります。**

●公私の区別

- **ちゃんとしている、公私を区別する**
- **仕事と私事の区別。**
- **仕事優先**

●仕事の効率の良さ

- 効率性が高いです。(同意見、他1件)
- 日本人の仕事の仕方のよい点は効率性が高くて速くてチームワークとてもいいと思います。
- 仕事の効率
- 仕事の効率がいい
- 日本人の仕事の仕方は丁寧で効率が高い。
- 仕事へのプロセスが決まっていて仕事を習うのに適合
- 非常に効率的
- 非常に効率的。勤勉。

●責任感

- 仕事に対する責任感が強い
- 責任を負う
- 責任感が強い（同意見、他2件）

●組織・連帯

- チームワークがいい。笑顔。
- チームワークがよくて、部下、後輩への支援が厚い。
- チームワークがよくて効率性が高いことです。
- チームワークがよい。
- チームワークがいい、部下や後輩に支援が厚いところ、マナーがある
- 非常に寛容。チームワークが良い。
- 組織意識が高い

●技術レベル・新技術への対応

- 新しい技術導入
- 高い技術

●その他

- 職場の環境が良く現代的
- 労働に見合った給料　労働に見合った給料

- 厳しい
- 客は王様という考え。
- 正しいと違いの立場はっきり分けます。
- なんでも良い

(2)　良くない点

●残業・労働時間

- 残業が多い（同意見、他1件）
- 休暇が厳しいです。
- 残業が多すぎる。
- 無理に仕事をするし、残業も多いし、よく転勤されているし、ストレスがたまるし、大変なことです。
- 労働時間が長い。
- 労働時間が長い　原則が多い
- 労働時間が長い　原則が多すぎる
- 時間の管理がきびしすぎる
- 極端な労働時間
- 勤務時間が長すぎる。あまりにもストレス。
- Overtime work、few holiday

●考え方や制度などの硬直さ

- 考え方が固い
- 頑固。
- 形式的がすぎる
- 頑固なので改善のために変えようとしない
- 柔軟性がない、伝統的すぎ、働きすぎ
- 真面目すぎてきつくなります。礼儀が多すぎて社員にストレスをさせてしまいます。残業は普通の事です。
- マニュアル通り、変化への柔軟な対応しません。残業が多すぎます。
- 発想はあまりない。窮屈な考え方。本当の気持ちではない。
- たて社会が続いていますので厳しいと思う。

- 我が強いことです。
- 臨機応変が苦手。
- 時にはマニュアルを守りすぎて時間が無駄
- かたすぎて革新なし
- 考え方が柔軟でないと思う。前例がないミスへの対応が遅い。
- 柔軟性に欠ける、細かすぎる、効率が悪い
- 柔軟な対応能力がすこし足りない
- 進行スピードが遅い
- プロセスは単純なのに処理時間がかかりすぎる！！
- 変化を恐れる
- 融通が利かない

●不誠実さ

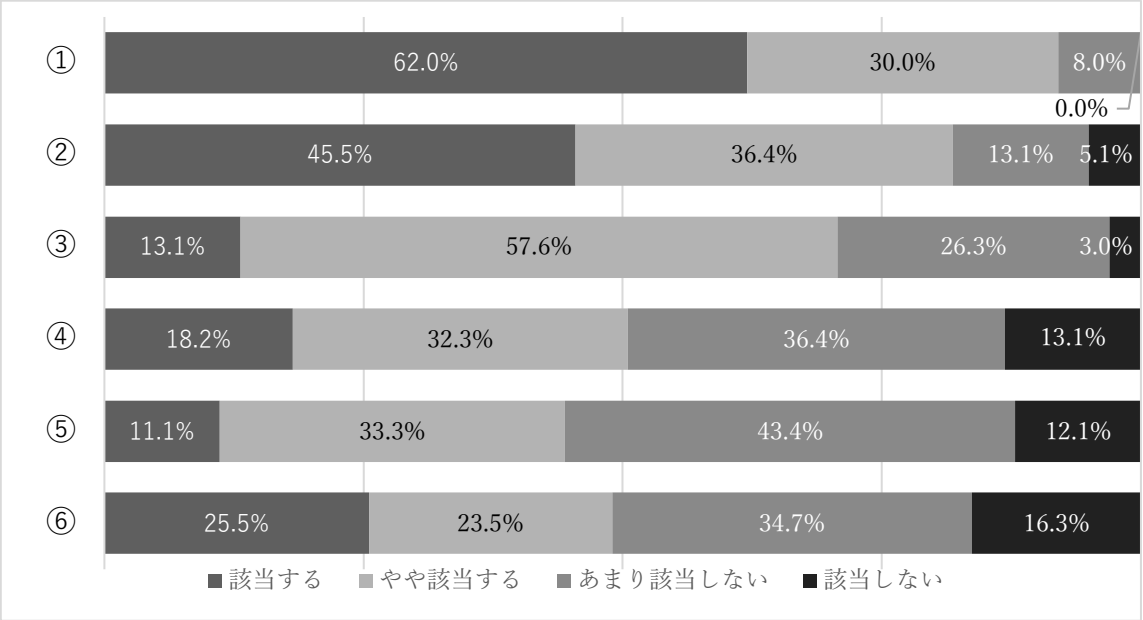
- おためごかし。
- 差別。
- でも、ときどき外国人のあまり日本語がよくわからない私に親切にしてくださいませんでした。
- 外国に対する差別、保守的

●その他

- 同じことをするのに先輩たちみんながやり方を教えるので、ますますわからなくなる。
- 高いストレス
- きびしさ（同意見、他3件）
- 極端的です。
- ストレスが感じます。あまり親切じゃありません。
- ストレスを感じます。
- 酔っ払いの時、店に入ってうるさくする
- 周りの人にまだ親しくない。暇なときは悪いことばかりする
- 仕事しない人もいる（個人的な感想）
- 個人の能力が重視されない点　仕事がおそい
- タバコを吸いすぎる

3.2　あなたが日本で働くことを想定した上で、次の①～⑥の記述はどの程度該当しますか。

① 日本人の仕事の仕方には学ぶべき点が多いと考える
② 日本人の仕事の仕方を母国での仕事にも取り入れたい
③ 仕事における自分の考えや方法を、日本人のそれに変えてもよい。また、変えるべきと考える
④ 日本人の仕事の仕方に合せるより自分の仕事の仕方が通用する企業・職場を選びたい。
⑤ 日本人の仕事の仕方を理解･習得するのは、かなり困難と思われる。
⑥ 日本で働ければ、職場は都市でも郊外でも構わない。



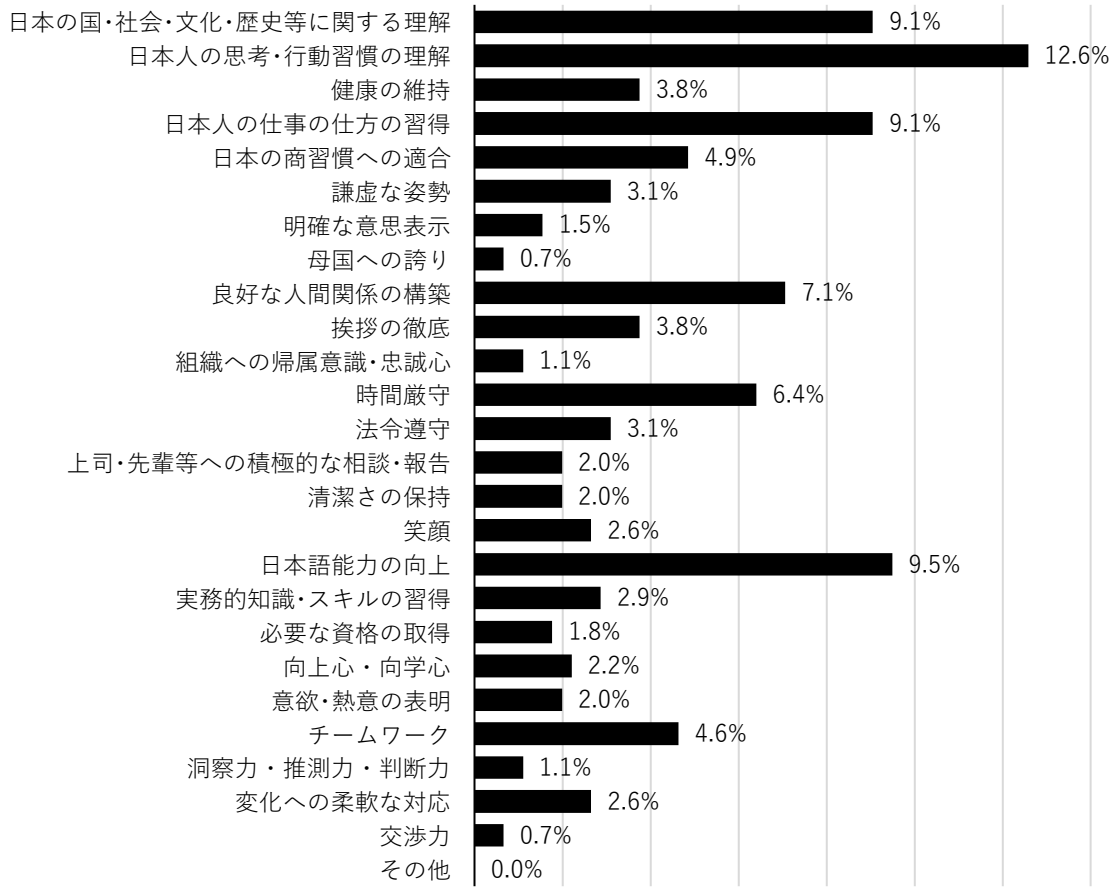
	該当する	やや該当する	あまり該当しない	該当しない
① 日本人の仕事の仕方には学ぶべき点が多いと考える。	62	30	8	0
② 日本人の仕事の仕方を母国での仕事にも取り入れたい。	45	36	13	5
③ 仕事における自分の考えや方法を、日本人のそれに変えてもよいと考える。	13	57	26	3
④ 日本人の仕事の仕方に合せるより、自分の仕事の仕方が通用する企業・職場を選びたい。	18	32	36	13
⑤ 日本人の仕事の仕方を理解･習得するのは、かなり困難と思われる。	11	33	43	12
⑥ 日本で働ければ、職場は都市でも郊外でも構わない。	25	23	34	16

「① 日本人の仕事の仕方には学ぶべき点が多いと考える。」については、6割以上が「該当する」と答え、「やや該当する」も含めると 9 割強の比率となる。「② 日本人の仕事の仕方を母国での仕事にも取り入れたい。」も同様で、「該当する」「やや該当する」という回答が 8 割を超えており、日本人の仕事の仕方に対して、肯定的に見ている回答者が多数を占めている。

「③ 仕事における自分の考えや方法を、日本人のそれに変えてもよいと考える。」と「④ 日本人の仕事の仕方に合せるより、自分の仕事の仕方が通用する企業・職場を選びたい。」の結果を合わせてみると、③では「該当する」「やや該当する」が 7 割強で、多くが日本人の考えや方法に変えてもよい・変えるべきと考えていることがわかる。一方、④では、「あまり該当しない」が最も多く、「該当しない」を含めると半数近くになる。これらの結果から、多くの回答者が日本で働く場合には、ある程度自分の考えや方法を変える意向があることが窺える。但し、⑤の結果では、日本人の仕事の仕方を理解・習得するのは難しいと感じている回答者が一定数いることもわかる。

3.4　日本の企業・職場で日本人と共に働く場合、あなたは何が重要と考えますか。〈上位 5 つまで〉

① 日本の国･社会･文化･歴史等に関する理解　② 日本人の思考･行動習慣の理解
③ 健康の維持　④ 日本人の仕事の仕方の習得　⑤ 日本の商習慣への適合
⑥ 謙虚な姿勢　⑦ 明確な意思表示　⑧ 母国への誇り　⑨ 良好な人間関係の構築
⑩ 挨拶の徹底　⑪ 組織への帰属意識･忠誠心　⑫ 時間厳守　⑬ 法令遵守
⑭ 上司･先輩等への積極的な相談･報告　⑮ 清潔さの保持　⑯ 笑顔
⑰ 日本語能力の向上　⑱ 実務的知識･スキルの習得　⑲ 必要な資格の取得
⑳ 向上心・向学心　㉑ 意欲･熱意の表明　㉒ チームワーク
㉓ 洞察力・推測力・判断力　㉔ 変化への柔軟な対応　㉕ 交渉力　㉖ その他



① 日本の国･社会･文化･歴史等に関する理解	41
② 日本人の思考･行動習慣の理解	57
③ 健康の維持	17
④ 日本人の仕事の仕方の習得	41
⑤ 日本の商習慣への適合	22
⑥ 謙虚な姿勢	14
⑦ 明確な意思表示	7
⑧ 母国への誇り	3
⑨ 良好な人間関係の構築	32
⑩ 挨拶の徹底	17
⑪ 組織への帰属意識･忠誠心	5
⑫ 時間厳守	29
⑬ 法令遵守	14

⑭ 上司･先輩等への積極的な相談･報告	9
⑮ 清潔さの保持	9
⑯ 笑顔	12
⑰ 日本語能力の向上	43
⑱ 実務的知識･スキルの習得	13
⑲ 必要な資格の取得	8
⑳ 向上心・向学心	10
㉑ 意欲･熱意の表明	9
㉒ チームワーク	21
㉓ 洞察力・推測力・判断力	5
㉔ 変化への柔軟な対応	12
㉕ 交渉力	3
㉖ その他	0

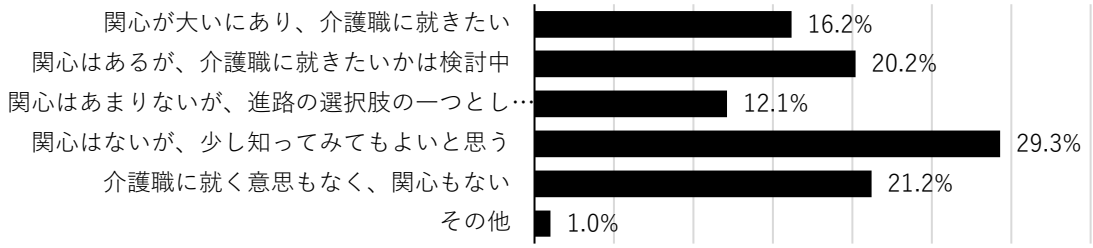
最も多い回答は「② 日本人の思考･行動習慣の理解」で、以下「⑰ 日本語能力の向上」「① 日本の国･社会･文化･歴史等に関する理解」「④ 日本人の仕事の仕方の習得」が僅差で並んでいる。

全体として、日本の企業・職場に適応することを重要と考えている回答者が多い。

介護職への就業

4.1　あなたは介護職に関心がありますか。

① 関心が大いにあり、介護職に就きたい
② 関心はあるが、介護職に就きたいかは検討中
③ 関心はあまりないが、進路の選択肢の一つとして介護職も検討中
④ 関心はないが、少し知ってみてもよいと思う
⑤ 介護職に就く意思もなく、関心もない
⑥ その他

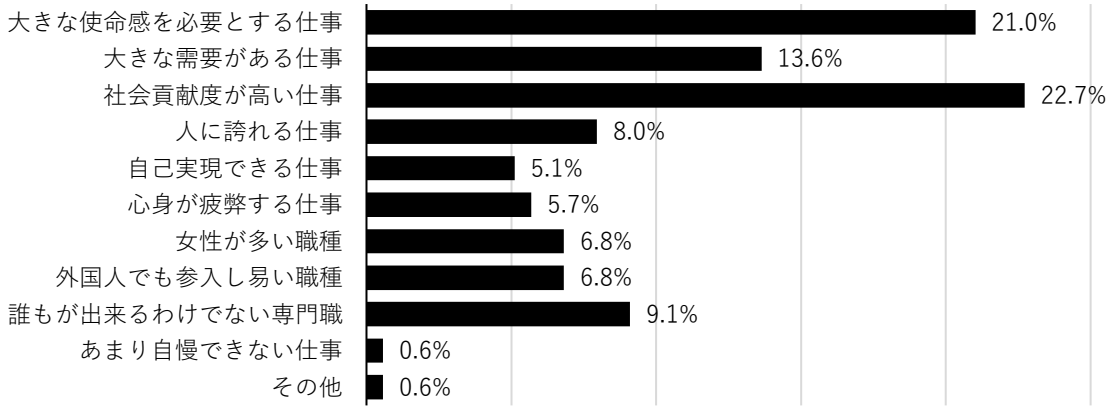


① 関心が大いにあり、介護職に就きたい	16
② 関心はあるが、介護職に就きたいかは検討中	20
③ 関心はあまりないが、進路の選択肢の一つとして介護職も検討中	12
④ 関心はないが、少し知ってみてもよいと思う	29
⑤ 介護職に就く意思もなく、関心もない	21
⑥ その他	1

介護職への就業について、「① 関心が大いにあり、介護職に就きたい」が 16 名、「② 関心はあるが、介護職に就きたいかは検討中」が 20 名で、「関心がある」という回答が 3 割を大きく上回る結果となっている。また、関心は（あまり）ないものの、「進路の選択肢として検討中」「少し知ってみてもよい」とする回答も 4 割を超えている。

4.2　あなたは介護職をどのような職業と考えますか。〈上位２つまで〉

① 大きな使命感を必要とする仕事　② 大きな需要がある仕事
③ 社会貢献度が高い仕事　④ 人に誇れる仕事　⑤ 自己実現できる仕事
⑥ 心身が疲弊する仕事　⑦ 女性が多い職種　⑧ 外国人でも参入し易い職種
⑨ 誰もが出来るわけでない専門職　⑩ あまり自慢できない仕事　⑪ その他

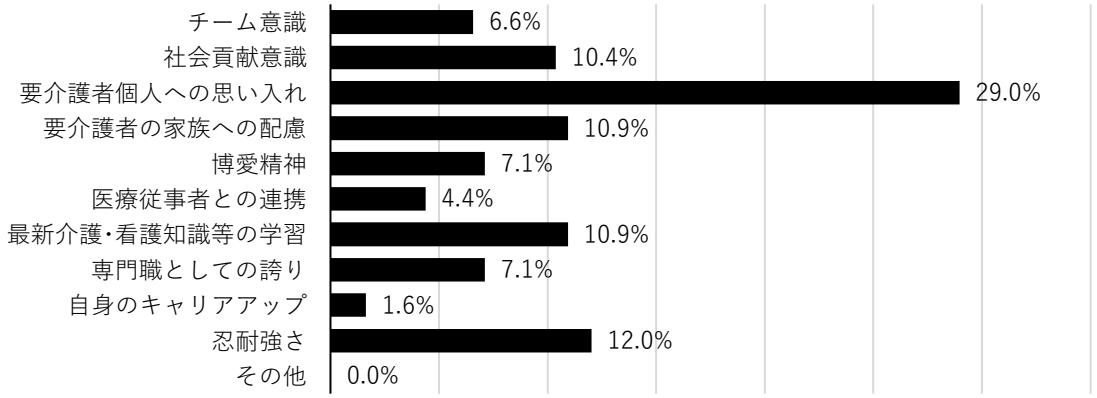


① 大きな使命感を必要とする仕事	37
② 大きな需要がある仕事	24
③ 社会貢献度が高い仕事	40
④ 人に誇れる仕事	14
⑤ 自己実現できる仕事	9
⑥ 心身が疲弊する仕事	10
⑦ 女性が多い職種	12
⑧ 外国人でも参入し易い職種	12
⑨ 誰もが出来るわけでない専門職	16
⑩ あまり自慢できない仕事	1
⑪ その他	1

介護職に対しては「社会的な貢献度が高い仕事」「大きな使命感を必要とする仕事」という回答が多い。また、日本の高齢化（あるいは先進諸国の高齢化）を踏まえてか、「大きな需要がある仕事」という見方も多い。その一方で、「自己実現ができる」「外国人でも参入しやすい」という回答は多くない。

4.3　あなたは介護職の職業意識として何が重要と考えますか。〈上位２つまで〉

① チーム意識　② 社会貢献意識　③ 要介護者個人への思い入れ
④ 要介護者の家族への配慮　⑤ 博愛精神　⑥ 医療従事者との連携
⑦ 最新介護･看護知識等の学習　⑧ 専門職としての誇り
⑨自身のキャリアアップ　⑩ 忍耐強さ　⑪ その他

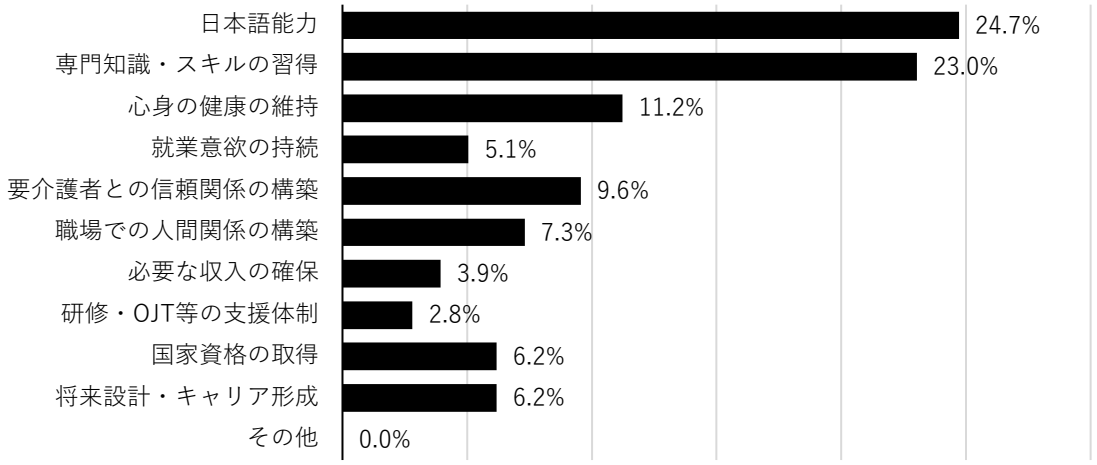


① チーム意識	12
② 社会貢献意識	19
③ 要介護者個人への思い入れ	53
④ 要介護者の家族への配慮	20
⑤ 博愛精神	13
⑥ 医療従事者との連携	8
⑦ 最新介護･看護知識等の学習	20
⑧ 専門職としての誇り	13
⑨ 自身のキャリアアップ	3
⑩ 忍耐強さ	22
⑪ その他	0

介護職の職業意識としては、「③ 要介護者個人への思い入れ」が重要とする回答が抜きん出て多い。これに比べて回答数は少ないが、「⑩ 忍耐強さ」「④ 要介護者の家族への配慮」「⑦ 最新介護･看護知識等の学習」が、ほぼ同数の結果となっている。

4.4　あなたが日本で介護職に就く際、何に不安・懸念がありますか。

① 日本語能力　② 専門知識・スキルの習得　③ 心身の健康の維持　④ 就業意欲の持続
⑤ 要介護者との信頼関係の構築　⑥ 職場での人間関係の構築　⑦ 必要な収入の確保
⑧ 研修・OJT 等の支援体制　⑨ 国家資格の取得　⑩ 将来設計・キャリア形成　⑪ その他



① 日本語能力	44
② 専門知識・スキルの習得	41
③ 心身の健康の維持	20
④ 就業意欲の持続	9
⑤ 要介護者との信頼関係の構築	17
⑥ 職場での人間関係の構築	13
⑦ 必要な収入の確保	7
⑧ 研修・OJT 等の支援体制	5
⑨ 国家資格の取得	11
⑩ 将来設計・キャリア形成	11
⑪ その他	0

介護職に就く際に感じる不安や懸念に関しては、「① 日本語能力」と「② 専門知識・スキルの習得」とする回答が多数である。高齢者や障害者に対して直接的な介護サービスやコミュニケーションが必要となる専門職であることを回答者はある程度認識しているという見方もできる。

C　所見・総括

▼ 各分野所見

◇ 労観・職業観

自分の能力や個性等を活かせる仕事を重視

勤労観・職業観に関する設問への回答で、特徴的であることのひとつは、「職業を選ぶ際に何を重視するか」という問いに対して、「自分の能力・個性等を活かせる仕事」や「仕事を通して知識・技術等を習得できる」という回答が多かった点である。職業について単に「収入を得るための手段」と捉えるのではなく、自分の生き方や成長を仕事との関わりに見出そうという積極的な職業観が示されている。このような意識は、「自分が勤める企業・職場に何を希望するか」という設問において、社内研修の設定や自己の実力・成果に対する正当な評価を求める多くの回答にも表出されている。しかしながら、回答者の母国での一般的な職業の捉え方は異なっているようである。具体的には、「仕事は単なる収入を得る手段として考えられている」という職業観について、回答者の７割以上が「該当する」「やや該当する」と答えており、その点において、回答者と母国の一般的な職業意識には隔たり・ずれがあるという見方もできそうである。

◇ キャリア志向

日本での就職希望者が多数。希望する職業分野は「旅行・観光」など語学力を活かせる領域

日本語学校修了後の進路は「日本で就職して日本に移住したい」を希望するという回答が非常に多く、回答者全体の約半数を占めている。これに次いで多いのが「日本で就職してから帰国して母国で再就職・起業したい」の約３割、また「日本の高等教育機関に進学して日本で就職したい」という回答者も４分の１という比率になっている。これに対して、母国に戻って就職・起業という回答は非常に少ない。これらの結果から回答者の多くが、日本での就職を希望して学んでいることがわかる。

日本語学校修了後の進学・就職先として希望する分野では、「旅行・観光」や「国際・語学」「商業・貿易」「ホテル・旅館」などの回答が多い。海外とのやりとりや自身の語学力を活かせる分めざすキャリアアップについては、「上位資格の取得」や「管理職に就く」などの回答が多かったが、その一方で「特に希望はなく程々の働き方でよい」「特に考えたことがない」という、キャリアアップに対して、やや消極的ともみえる回答も寄せられている。この点については、渡日前

の職業が高校生や大学生といった社会人未経験者など、中長期的なキャリアアップに関して具体的にイメージできていない回答者がいることも影響している可能性がある。

しかしながら、いま取り組む必要がことについては、回答者の６割以上が「日本語能力の向上」「専門知識・技術の習得」としており、明確な目標を見定めている回答者は多い。

日本での就職活動で知りたい情報は「面接試験対策」や企業の「留学生採用実績」

日本での就職希望者が多数を占める中、就職活動をする際に詳しく知りたい情報は「面接試験対策の方法」とする回答が多い。一般に、面接試験は採用の可否判断に大きく影響するが、面接では日本語での密なやりとりが要求されることから、留学生の場合には、ひときわ面接試験対策を詳しく知りたいと考えているとも推察できる。また、企業研究で知りたい情報では、「留学生の採用実績」の他、「社風・社内雰囲気」という回答も多い。これは、外国人の受け入れに対する社風・社内の雰囲気を知りたいという意向の表れでもあるのかもしれない。

アルバイト経験で日本語能力が向上

日本でのアルバイト経験があるという回答者は全体の約8割で、その多くがアルバイトを通して日本語能力が向上したと回答している。また、「日本人の考え方や仕事の仕方が解った」「日本に関する理解が深まった」という意見も多く、アルバイトが学費・生活費を賄うための手段に留まらず、日本語学校とは違った「学びの機会」となっている様子が窺える。しかしその一方で、アルバイトに伴う肉体的な疲労などから学業に悪影響があったとする回答もある。

◇ 日本人の仕事の仕方

丁寧、清潔、時間管理が厳密と評価

日本人の仕事の仕方に対する見方では、「きめ細かく丁寧」「清潔」「時間管理が厳密」などに多くの回答が寄せられた。また、自由記入で求めた意見では、一生懸命や真面目、勤勉といった働く姿勢、仕事の効率の良さ、仕事を全うする責任感、チームワークや組織意識などが良い点として挙げられた。

変化・多様性への柔軟な対応、人材評価の明確な基準などについては厳しい見方

日本人の仕事の仕方として印象が「遠い」のは、「変化・多様性への対応が柔軟」とする回答が抜きん出て多い。自由記入の意見においても、考え方が固い、柔軟な対応能力が足りないなど、会社・職場の柔軟性の低さを指摘する声が寄せられている。また、「人材評価の基準が明確」や「残業・労働時間の長さ」に関しても、回答者の見方は厳しい。

日本人の仕事の仕方には学ぶべき、という回答は9割強

日本人の仕事の仕方に対して厳しい見方を示す一方で、回答者の9割強が「日本人の仕事の仕方に学ぶべき点が多い」と回答している。さらには、「日本人の仕事の仕方を母国での仕事に取り入れたい」とする意見も8割を超えており、全体としては日本人の仕事の仕方を肯定的に捉えている回答者が圧倒的である。そのためか、「仕事における自分の考えや方法を、日本人のそれに変えてもよい」とする回答者も多い。そのような回答者が、日本の企業・職場で日本人と共に働く際に重要と考えているのは、「日本人の思考・行動習慣の理解」や「日本人の仕事の仕方の習得」「日本の国・社会・文化・歴史等に関する理解」などである。ただし、日本人の仕事の仕方を理解・習得するのは難しいと感じている回答者も4割強と少なくない。回答者の意向・希望に反して、現実的にはさまざまな課題があるものと考えられる。

◇ 介護職への就業

介護職に関心がある回答者は36％。

介護職への就業について「関心が大いにあり、介護職に就きたい」「関心はあるが、介護職に就きたいかは検討中」という回答は36％であった。また、関心は（あまり）ないが、「進路の選択肢として検討中」「少し知ってみてもよい」とする前向きとも取れる回答も4割を超えた。この結果は、あくまで感触のレベルと捉えるのが適当と考えられるが、「介護職に就く意思もなく、関心もない」という回答は2割に留まっており、8割程度の回答者にとって、介護職は今後の進路の選択肢の範囲にあるようだ。

介護職に対する見方　社会貢献度が高く、大きな使命感を要する仕事

介護職に対する見方では、「社会的な貢献度が高い」「大きな使命感を必要とする」といった回答が多数であった。しかしその一方で、「外国人でも参入しやすい職種」「自己実現できる仕事」という意見は少数に留まっている。

介護職に就く際の不安、懸念

介護職に就く際の不安、懸念として挙げられたのは「日本語能力」と「専門知識・スキルの習得」である。介護は高齢者や障害者とコミュニケーションを取りながら、直接的な介護サービスを提供する仕事であることから、とりわけ柔軟で高度な日本語能力が要求される。また、介護の専門知識やスキルを習得する場面でも、さまざまな専門用語や概念を理解し身に付けていく必要がある。そのためには、日常生活の会話や接客業などの対人サービスでの日本語能力だけでは、十分に対応することが困難である。その意味で、回答者の不安・懸念は的を射たものである。

▼ 総　括

本調査によって、日本語学校に学ぶ留学生の勤労観・職業観や今後の進路・就職の希望、キャリアアップ志向、日本人の仕事の仕方に対する考え、介護職への就業の意向について把握することができた。

回答者の多くは、日本語学校修了後には日本で就職し働きたいと考えており、日本人の仕事の仕方に対しても非常に肯定的である。また、就職に際しては日本のやり方や考え方に自分を順応させていこうという姿勢も有している。もちろん、文化や風土の異なる国・地域で生まれ育った留学生が日本の仕事の仕方に適応するのは容易なことではないであろうが、留学生自身の中に、このような順応の姿勢・態度が芽生えていることは、ポテンシャルとして極めて重要である。

日本語学校修了後の就職先として希望する分野は、「旅行・観光」を始めとして、海外とのやりとりや語学力を活かせる領域に多くの回答が寄せられているが、介護職に対しても関心を持っている回答者も多い。特筆すべきは、介護職について「社会的な貢献度が高い」「大きな使命感を必要とする」といった見方をしている点であり、介護職の職業としての社会的な価値を見出している。しかしながらその一方で、「外国人の参入がしやすい」「自己実現ができる仕事」と捉えている回答者は少ない。これらはいずれも認識不足による誤解であり、介護職が外国人にも門戸が開かれており、自己実現のできる専門職であることを明確に伝えていく必要がある。

介護職に就く際の不安、懸念については、「日本語能力」と「専門知識・スキルの習得」に多くの回答が寄せられたが、高齢者・障害者、その家族らと密接なコミュニケーションを取りながら、個々人の応じた介護サービスを提供する上で、高度で柔軟な日本語能力、介護の専門知識・スキルは不可欠となる。日本語能力について言えば、日常生活の会話や接客業などの対人サービスでの日本語能力だけでは十分ではない。具体的には、介護サービスにおける高齢者との対話では、日本の生活や文化、習慣といったさまざまな背景的な知識も必要であり、それらに裏付けられた言葉（日本語）のやりとりが求められる。また、介護分野では、日常生活では使われることのない特有の専門用語や概念が多用されるため、その点においても通常の日本語能力だけでは対応が困難となる。

したがって、留学生が介護職に就くための支援策としては、通常の日本語能力に加えて、介護の現場での円滑なコミュニケーションや介護サービスの実施に不可欠となる日本の文化や生活・習慣、歴史などに関する教育や、介護分野で多用される専門用語や概念の基礎知識の教育などが有効に機能するものと考えられる。

開 発 報 告

本事業は、外国人介護就業志望者が日本の施設等に就業して介護業界の人材不足解消に寄与できるよう、質の高いサービスを提供できる外国人介護人材に必要な知識・技術を専門的に学ぶための準備を総合的に支援することを目的にしている。

そこで、本事業では、外国人日本語学習者の介護分野への就業を促進する教育プログラムを開発した。その上で、本年度（平成28年度)、具体的に次の取組を行った。

1　平成27年度開発教育プログラムの完備
2　外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラムの新規開発

これに基づき、以下に、本年度の開発内容を次の展開で報告する。

1　日本語教育機関等で活用する外国人介護就業志望者向け教育プログラム
　A　介護職実務日本語 介護現場日本語ケーススタディ
　B　介護職日本文化 要介護高齢者対応テーマ副読本「日本の年中行事」
2　外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム
　A　シ ラ バ ス（学 習 計 画）
　B　テ キ ス ト（講義用教材）
　C　確認テスト（復習用教材）

1　日本語教育機関等で活用する外国人介護就業志望者向け教育プログラム

A　介護職実務日本語 介護現場日本語ケーススタディ

日本語教育機関等で活用する外国人介護就業志望者向け教育プログラム「介護職実務日本語 介護現場日本語ケーススタディ」は、実際の介護現場で外国人就業者と施設利用者等の間で交される日本語会話を、食事介助・排泄介護等の典型的な介護シーン毎に再現した動画コンテンツ（平成27年度開発）に準拠した問題解決型学習教材である。

動画コンテンツは、シーン=テーマ別の介護分野専門用語も会話の中に意識的に織り交ぜ、実務日本語の語彙力も強化できるような仕様になっている。また、そこに登場する外国人就業者が話す日本語には、ある程度の“未熟さ”（辿々しさ）を漂わせ、まだ日本語学習中の外国人学生がその日本語習熟度において無用な距離感を抱かずに済むような配慮も施されている。

そして、これに準拠するケーススタディは、実際の介護現場の特定の局面で介護就業者が実践するべき日本語会話について、介護の専門的観点も併せ持ちながら検討して解答させる出題になっている。

以下に、この「介護職実務日本語 介護現場日本語ケーススタディ」の内容を、次の展開で提示する。

1）教育プログラム全体構成

2）各テーマの脚本＆ケーススタディ

1）教育プログラム全体構成

テーマNo.	テーマ内容
テーマ1	起床　着替までの支援 【専門用語】脳梗塞後遺症・自己決定・自立支援
テーマ2	ベッドから車椅子に移乗 【専門用語】端座位・起立性貧血・健側・患側・フットレスト
テーマ3	衣類着脱の介護 【専門用語】着患脱健側
テーマ4	食事介助 【専門用語】きざみ
テーマ5	認知症患者の訴えへの対応 【専門用語】アルツハイマー型認知症・夕暮症候群
テーマ6	バイタルチェック時の看護師指示への対応 【専門用語】バイタルチェック
テーマ7	排泄介護時の対応（トイレ誘導） 【専門用語】定時のトイレ誘導
テーマ8	排泄介護時の対応（簡易トイレ使用） 【専門用語】簡易トイレ・見守り
テーマ9	入浴介護時の対応（一般浴） 【専門用語】一般浴

2）各テーマ脚本＆ケーススタディ

▼ テーマ１

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	起床　着替までの支援
状況設定	介護職員が、ベッドで寝ている利用者（要介護レベル３）に朝食を摂らせるため、離床から着替までを支援する。
脚　本 ＆ 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、おはようございます。今日はいい天気ですね。 ［いつも会っている利用者にも必ず挨拶から始める。介護者-被介護者という特殊な認識を避けるべく、何気ない日々の会話から介護を行う］ **利用者：**　おはようございます。 ［発話トーンや表情から、利用者のその日の気分を観察する］ **職　員：**　昨日の夜は、よく眠れましたか。 ［利用者は要介護者であるため当然、体調の確認を行う。この利用者は会話に支障がないため、こうした言葉による確認が大切］ **利用者：**　はい、眠れました。 **職　員：**　よく眠れることは健康の証拠です。よかったですね。もう７時半です。そろそろ朝食の時間ですから、着替えて食堂に行きましょう。 ［利用者の言葉をしっかりと受け止める。そして、職員が利用者の部屋に来た目的を解り易く伝える］ **利用者：**　そう。それでは行きましょうか。しかし、着替えるのは億劫ですね。このままではダメですか。 ［利用者は、どうしても終日同じ服装で過してしまいがちであるため、生活におけるメリハリがなくなり、認知症等の促進に繋がる。その予防策の一つとして、着替は重要］ **職　員：**　寝巻のままでは、今日はちょっと寒いので、風邪を引くと大変です。皆さんも着替えているから、大沢さんも着替えてみましょう。 ［利用者の体調を気遣う言葉を掛けてみる。決して職員の指示通りに行動させようと強いてはならない。利用者が自然の流れで「そうしてみよう」と思えるような気持の誘導が重要］

	利用者：　そう。皆さんもそうしているのなら、仕方ないですね。それに、あなたも私の身体を気遣ってくれているのですから、着替えることにしましょう。 **職　員：**　ありがとうございます。それでは、大沢さん、今日はどの服にしますか。 ［職員の都合で選んではならない。介護の基本は自立支援・自己決定支援であるため、利用者が自分で選ぶことに意味がある］ **利用者：**　そうね、今日は寒いということだから、そこにあるズボンを穿きたいと思います。上には、カーディガンを羽織りたいと思います。 **職　員：**　この服でよろしいですか。 ［判っている事も再度確認してみる。職員が自分に真摯に向い合ってくれていると利用者が感じられるように配慮する］ **利用者：**　はい、大丈夫です。 **職　員：**　それでは、着替えのお手伝いをします。 **利用者：**　はい、お願いします。
専門用語	**脳梗塞後遺症**： 脳内の血管が詰ることで血流が阻碍され、四肢等に障碍が生ずる。今回の利用者は、疾患が右脳内梗塞であるため、日常会話は可能であるが、左半身に麻痺が残っている。患者として過保護気味に接してしまうと次第に右半身の力も衰えてくるため、自分で出来る事は自分で行わせ、出来ない事を支援する姿勢が介護者に求められる。 **自立支援**： 介護保険では、利用者の生活を支援する場合、介護者が全ての事を行ってしまうのでなく、利用者が出来る事は自分で積極的に取り組ませるように促すことが大切である。 **自己決定**： その日の気分で装いも変化するため、利用者自身の気持を確認しながら、身嗜みを整えるようにする。これにより、物事の決定が利用者自身に委ねられることになる。それが難しい場合、職員が介入して物事の決定を支援する。

問題１	午前７時30分、介護職員ホアは、朝食を促すため、利用者大沢の部屋を訪れました。以下は、その最初の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さん、おはようございます。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

	利用者：　おはようございます。 **職　員：**　昨日の夜は、よく眠れましたか。 **利用者：**　はい、眠れました。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「今日はいい天気ですね」「もう起きていらっしゃいますね」等 **【解　説】**いつも会っている利用者にも必ず挨拶から始める。介護者-被介護者という特殊な認識を避けるべく、何気ない日々の会話から介護を行う。

問題２	午前７時30分、介護職員ホアは、朝食を促すため、利用者大沢の部屋を訪れました。以下は、その最初の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **利用者：**　皆さんもそうしているのなら、仕方ないですね。それに、あなたも私の身体を気遣ってくれているのですから、着替えることにしましょう。 **職　員：**　ありがとうございます。それでは、大沢さん、＿＿＿＿＿＿。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「今日はどの服にしますか」「着たい服は何かありますか」等 **【解　説】**着替支援の際、利用者が着る服を職員の都合で選んではならない。介護の基本は自立支援・自己決定支援であるため、利用者が自分で選ぶことに意味がある。

▼ テーマ2

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

【介護職員】倉木ひとみ（38歳・女性）介護福祉士で、ホアの先輩。後輩を優しく見守る。

テーマ	ベッドから車椅子に移乗
状況設定	介護職員が、ベッドで臥床している利用者（要介護レベル３）を起しに行く。利用者は左半身麻痺のため、端座位に移す際に注意が必要。移動手段は車椅子。車椅子に乗れば、利用者は自身で移動可能。車椅子は、利用者に確認してから、事前に健側（今回の場合は右側）に準備する。
脚　本 & 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　おはようございます。大沢さん、そろそろ起きる時間ですよ。お手伝いすることはありますか。 ［朝一番の顔合せ時の原則として、声掛けと確認を行う。その後、利用者の意向を訊ねる］ **利用者：**　起きあがるの、手伝っていただけますか。 **職　員：**　解りました。気を付けることはありますか。 ［注意点について事前に情報が入っているはずであるが、介護を行う前にも必ず利用者に確認する］ **利用者：**　左側に力が入りません。 **職　員：**　はい、左側に力が入りません、ですね。 **利用者：**　はい。 **職　員：**　では、麻痺側の左腕をお腹に載せて、右手で抱えてください。次に、左足を右足で掬い上げるように、交差させてください。 ［左半身麻痺者に対する介護技術の原則で、基本的に、どう操作すれば危険がないかが考慮されている］ **利用者：**　はい。 **職　員：**　上手に出来ています。はい、では、掛け声に合せてベッドの端まで身体を移動させてください。 ［動作の一つ一つについて確認を行い、次の動作に移る際も必ず事前に説明する。掛け声は、日本語の場合、「よいしょッ！」「１・２の

	３ッ！」等、様々であるが、基本的に利用者本人が解るものであればよい］ **利用者：** はい。よいしょッ！　はい。 **職　員：** 気分は大丈夫ですか。 ［身体を動かした後は必ず体調の確認を行う］ **利用者：** はい、大丈夫です。 **職　員：** では、右腕の肘を立ててください。上半身を起します。ベッドから落ちないように自分が支えます。 ［動作の一つ一つについてゆっくりと説明する。利用者が不安を抱かないよう、介護者がその際に何を行うかも説明する］ **職　員：** 身体を起して気分は大丈夫ですか？ ［移動等で身体を動かした後は必ず体調の確認を行う］ **利用者：** はい、大丈夫です。 **職　員：** では、まずそのまま立ちます。ホアさん、左側を支えてください。 **利用者：** １・２の３ッ！ **職　員：** 上手く出来ましたね。フットレストを下ろして、気を付けて移動してください。 ［車椅子での移動時は足をフットレストに載せる。乗降時は危険防止のためフットレストを折り畳む］ **利用者：** はい。ありがとう。
専門用語	**端座位**： 床に足を下ろしてベッドの端に腰掛け、次に立ち上がれる状態の体勢 **起立性貧血**： 臥床状態（仰向けで寝ている状態）等から上体を急に起すことで生ずる貧血。意識消失する場合がある。 **健側**： 麻痺がなく健康で、自分の意思で動かせる身体の部分（側） **患側**： 麻痺のため感覚がなく、自分の意思で動かすことが不可能または困難な身体の部分（側） **フットレスト**： 車椅子に設置された、足を載せる台。通常時は内側に折り畳まれ、使用時に開いてここに足を載せる。

問題1	介護職員ホアは、ベッドで臥床していた利用者大沢が端座位に移る際の動作支援を行いました。以下は、その直後の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **利用者：**　起きあがるの、手伝っていただけますか。 **職　員：**　解りました。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。 **利用者：**　左側に力が入りません。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「気を付けることは何かありますか」「(起き上がる際の）注意点は何かありますか」「どこか具合の悪い所はありませんか」等 **【解　説】**利用者の身体を動かす際の注意点は、事前に情報が入っているはずであるが、介護を行う前にも必ず本人にも確認する。

問題2	介護職員ホアは、ベッドで臥床していた利用者大沢が端座位に移る際の動作支援を行いました。以下は、その直後の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　身体を起して＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。 **利用者：**　はい、大丈夫です。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「気分は大丈夫ですか」「具合は悪くありませんか」「調子のよくない所はありませんか」等 **【解　説】**臥床状態にあった利用者の上体を起したり、移動等で利用者の身体を動かしたり後は必ず、利用者の体調を確認する声掛けや問い掛けを行う。

▼ テーマ３

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	衣類着脱の介護
状況設定	介護職員が、着替のために服を出そうとしている利用者（要介護レベル３）の着替を支援する。利用者は左半身麻痺のため、独力では思うように着替えられない。
脚　本 & 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、どうされましたか。 **利用者：**　着替えをしようと思ってるんですが、一人ではなかなか上手く行かなくて……。 **職　員：**　そうでしたか。わかりました。もしよろしければ、私、お手伝いしましょう。 ［介護は自立支援であるため、利用者は、自分で出来る事に自分で取り組まねばならない。したがって、この場面でも、「こちらでやります」でなく「お手伝いします」と言うことになる］ **利用者：**　ありがとう。お願いしますね。 **職　員：**　部屋の温度は大丈夫なようですね。それでは、着てる上着を脱ぎましょう。右側の袖から脱ぐようにするとよいですね。私が手伝います。 ［服を脱ぐことで、体感温度が下がる。施設等では季節に応じた適温で空調が常に調整されているが、着替の際、利用者に再確認することが必要である。常時動き回っている職員と利用者では、特に体感温度に差が出易いと言われる。また、衣類を脱ぐ時は健側（今回は右側）から、着る時は患側（今回は左側）からという仕方が着脱介護の際の原則で、これを「脱健着患の原則」と言う］ **利用者：**　はい、お願いします。 **職　員：**　はい、上手に脱げましたね。 **利用者：**　これぐらいはね、何とか。 **職　員：**　次は、左側の袖を脱いでもらってもいいですか。 **利用者：**　あ、はい。こうですね。はい。

	――大沢は、苦労しながらも何とか自分で上着を脱いだ（出来ないようであれば、職員が手を貸す）―― **職　員：**　大沢さん、上手に出来たじゃないですか。 ［信頼関係の構築は介護に不可欠である。そのためには、たとえ些細な事でも、それを認めてやることが重要である。その積み重ねの先に、相互の信頼が生れる］ **利用者：**　これぐらいは何とかね。 **職　員：**　それでは、次に、大沢さんが選んでくれたこの服を着ましょう。今度は左側の袖から着てみてください。ご自分で大丈夫ですか。 **利用者：**　何とかやってみます。 **職　員：**　もし難しいようでしたら、お手伝いします。 ［一口に自立支援と言っても、出来ない事に無理に取り組ませようとすると、却って自信を失わせることになる。困った時は常に職員がいるという安心感が、利用者の気持を前向きにする］ ※ 今回の場合、利用者は左側に麻痺があるため、どうしても上手く行かないようであれば、左手を支えてやるとよい。 **利用者：**　何とか、よいしょッ。はい。何とか着替えることができました。本当にありがとう。 **職　員：**　大沢さんはお一人で立派にご自分のことをできる方なんですけど、もし困ったことがありましたら、気軽に声を掛けてください。 ［共感的な理解も、介護に不可欠である。そのためには、介護者が利用者の人格や尊厳をしっかりと理解しておかねばならない。また、施設利用者は何かと孤独になりがちであるため、「あなたは一人でない」というメッセージを、日々の介護において絶えず語り掛けてゆくことが大切である］
専門用語	**着患脱健側**： 「要介護者が服を着る時は患側から、脱ぐ時は健側から」の意。衣類着脱支援の際の手順を示す介護業界のフレーズとして憶えておくとよい。

問題１	介護職員ホアが利用者大沢の部屋を訪れると、大沢は、着替のために服を出そうとしていました。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さん、どうされましたか。

	利用者：　着替えをしようと思ってるんですが、一人ではなかなか上手く行かなくて……。 **職　員：**　そうでしたか。わかりました。 もしよろしければ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。 **利用者：**　ありがとう。お願いしますね。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「お手伝いしましょうか」「お手伝いできる事が何かありますか」等 **【解　説】**介護は自立支援であるため、利用者は、自分で出来る事に自分で取り組まねばならない。したがって、この場面でも、「こちらでやります」でなく「お手伝いします」という姿勢で声を掛けることになる。

問題２	介護職員ホアは、利用者大沢が独力で着替を行おうとする姿を見守っていた。大沢は苦労の末、何とか自分で上着を脱いだ。以下は、その直後の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さん、上手に出来たじゃないですか。 **利用者：**　これぐらいは何とかね。 **職　員：**　それでは、次に、大沢さんが選んでくれたこの服を着ましょう。今度は左側の袖から着てみてください。ご自分で大丈夫ですか。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「上手に出来ましたね」「自分でしっかりと脱げましたね」「そうです。その調子です」等 **【解　説】**信頼関係の構築は介護に不可欠である。そのためには、たとえ些細な事でも、それを認めてやることが重要である。その積み重ねの先に、相互の信頼が生れる。

▼ テーマ4

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	食事介助
状況設定	介護職員が、利用者（要介護レベル3）の食事の介助を自立支援に基づいて行う。利用者は左半身麻痺のため、食事は、主食が半粥、副食が刻み食である。
脚　本 & 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、今日の食事は焼魚と玉子焼と味噌汁です。 ［施設では、副食が刻まれて出されると元が何であったかが判らず、利用者の食欲を減退させてしまうことがある。そのため、食事前にこのような説明を入れることで、利用者の理解を促し、普通に食べられるように誘導する］ **利用者：**　焼魚も玉子焼も、私の大好物です。じゃ、いただきます。 **職　員：**　はい、最初にお茶を飲んでおくと、とてもおいしく食べられるようです。まずは、お茶から飲んでください。 **利用者：**　はい、ありがとう。それでは、お茶を飲んでからいただくようにします。 ［高齢者は、水分が不足しがちであるため、事前に水や茶を飲ませると、その後の食事に円滑に進めることが多い。水分摂取により、食べ物の飲み込み等も比較的うまく運ぶようになる］ **職　員：**　医食同源という言葉があるように、しっかり食事を摂るのは健康の源です。ゆっくり時間を掛けて食べてください。 ［高齢者は、食べるのが速い傾向がある。そのため、食べた物が誤って気管等に入り（誤嚥）、肺炎等に罹り易くなる。したがって、ゆっくりと食べてもらうような声掛けが大切な介護技術である］ **利用者：**　はい。あなたがそう言うなら、気を付けて戴くようにするわね。 ［このような言葉が利用者から返ってくるようになれば、介護職員と利用者の間に徐々に信頼関係が出来てきた証拠である。逆に、拒否されるようであれば、利用者が介護職員をまだ信用できていないということである］ ――30分経過――

	利用者：　ああ、今日はもういいかな……。 ――介護職員が確認すると、利用者は3分の1程度しか食べていない―― **職　員：**　大好きな物なのに、食が進まないですね。どうしてですか。 **利用者：**　焼魚だって、こんなに刻まれていたんじゃ、味が変ってしまって美味しくないんだもの……。本物の焼魚が食べてみたいわぁ。 **職　員：**　確かにそうですね。それでは、大沢さんの担当の先生や介護主任に相談してみますね。 ［刻み食が出されるのは、医療的等の利用による場合がある。あるいは、利用者の状況を踏まえて刻み食が出されることもある。これは、そのことを理解させるための会話である。したがって、利用者の求めにも即答はせず、介護主任や医師等に報告・相談し、対応を求める必要がある。決して自分の判断で回答・対応してはならない］ **利用者：**　それは助かるわ。 **職　員：**　それでは、明日までに必ず返事ができるようにします。 ［利用者と約束する場合、必ず日時等を提示して理解を促すようにする。それにより、利用者は介護職員が信頼できる人と認識するようになる］ **利用者：**　待ってるからね。明日ね。
専門用語	**刻み食**： 硬い物を食べることが困難な高齢者が誤嚥等を起さないように事前に細かく刻んだ食べ物を出す食事で、施設では非常に多く見られる食事の形態である。また、食べ物の摂取が困難な利用者には、液体状の「ムース食」を提供することもある。

問題1	介護職員ホアは、食事介助の際、利用者大沢の好物である焼魚と玉子焼を出しました。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　医食同源という言葉があるように、しっかり食事を摂るのは健康の源です。ゆっくり時間を掛けて食べてください。 **利用者：**　はい。あなたがそう言うなら、気を付けて戴くようにするわね。

正解例 ＆解説	**【正解例】**「ゆっくり時間を掛けて食べてください」「時間はありますから、ゆっくりと食べてくださって結構です」「焦らずにご自分のペースで食べてください」等 **【解　説】**高齢者は、食べるのが速い傾向がある。そのため、食べた物が誤って気管等に入り（誤嚥）、肺炎等に罹り易くなる。したがって、ゆっくりと食べてもらうような声掛けが大切な介護技術である。

問題２	介護職員ホアは、食事介助の際、利用者大沢の好物である焼魚と玉子焼を出しました。食事が始って30分後、介護職員が確認すると、利用者の食事は３分の１程度しか進んでいません。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大好きな物なのに、食が進まないですね。どうしてですか。 **利用者：**　焼魚だって、こんなに刻まれていたんじゃ、味が変ってしまって美味しくないんだもの……。本物の焼魚が食べてみたいわぁ。 **職　員：**　確かにそうですね。それでは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「大沢さんの担当の先生や介護主任に相談してみますね」「どうしたらよいか、お医者さん等に訊いてみますね」等 **【解　説】**刻み食が出されるのは、医療的理由や利用者状況を踏まえた事情に基づいて決められたことである。したがって、介護職員は、利用者の求めに勝手に即答してはならない。介護主任・医師等に報告・相談することを前提に、それを利用者に理解させる応答・対応が必要である。

▼ テーマ５

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	認知症患者の訴えへの対応
状況設定	利用者が介護職員に対して「夕方になったため帰宅したい」と訴えてきた。利用者は認知症患者であるため、自分が現在どこにいるかも認識していない。また、自宅に戻ったところで、誰もいない状況である。
脚　本 & 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、どうされました。 **利用者：**　日が暮れてきたから、そろそろ家に帰りたいの……。 **職　員：**　そうですか。家に戻って何かやらなければならないことがあるんですか。 **利用者：**　主人と子供の夕飯を作らなくちゃいけないの……。 ※ 大沢の夫は既に他界し、子供も既に結婚している。大沢の記憶は40年以上前に遡っている。 **職　員：**　心配ありませんよ、大沢さん。大沢さんが今日こちらに来る時に、しっかりとご主人と子供さんの夕食の用意をして出てきたと言ってました。 ［職員のこの発言は結果として、嘘を言っていることになる。しかし、これは、現実を理解できていない利用者の不安な気持を和らげるための対応である］ **利用者：**　そうだったかしら……。 ［その一方で、利用者も職員のそのような言葉を俄かには受け入れず、多少は疑ってくるはずである］ **職　員：**　ご主人も子供さんもいつも大沢さんに働いてもらっているから、今日一日のんびりと過ごしてきてくださいと言ってくれました。 ［介護者は、利用者が大切にしている事を受け止めることが必要である。そして、利用者の現在の気持を理解しつつ、利用者が「安心してここにいて大丈夫」と思えるように努めることが大切である］ **利用者：**　そうですか。それなら、すぐに帰らなくても大丈夫ですね。 **職　員：**　大沢さんがいてくれると、私は心強いです。宜しくお願い致しますね。

	利用者：　私がいても、大して役に立てないとは思いますけど……。 **職　員：**　そんなことありません。それでは、大沢さんでなければ出来ないこの片付けを手伝ってもらえますか。 ［手伝わせる事は、片付けでなくても構わない。利用者が得意にする事に取り組ませるように促すとよい］ **利用者：**　わかりました。では、やってしまいましょうかねぇ。 **職　員：**　ありがとうございます。助かります、大沢さん。 ［このような場合、必ず職員が利用者と一緒に取り組むことが大切である。一人で取り組まされると、利用者は次第に「やらされている」という感覚が芽生えてしまう。一緒に取り組むことで、利用者に仲間意識を持たせ、「ここは私を必要としている」と思わせることが重要である］
専門用語	**アルツハイマー型認知症**： 脳内に特殊なタンパク質が溜って脳細胞の萎縮を引き起す病気で、罹患者は記銘力・短期記憶等が失われて日常生活が困難になる。施設には、この患者が非常に多い。 **夕暮症候群**： 認知症患者は、夕方になると自宅に戻りたくなる傾向がある。これを「夕暮症候群」と言う。また、その戻りたがる家は、現在の自宅でなく、遠い過去の思い出の中にある家である場合が多い。その際、患者に現実を解らせようとしても、却って混乱を大きくする。したがって、介護者は、患者の現在の気持を受け止めて理解するように努めることが必要である。そして、患者自身が施設にいる意味を見出し、その必要性を実感できるように支援することが重要である。

問題１	認知症患者である利用者大沢が介護職員ホアに対して「夕方になったため帰宅したい」と訴えてきました。大沢の自宅には現在、誰もいません。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さん、どうされました。 **利用者：**　日が暮れてきたから、そろそろ家に帰りたいの……。 **職　員：**　そうですか。家に戻って何かやらなければならないことがあるんですか。 **利用者：**　主人と子供の夕飯を作らなくちゃいけないの……。 ※ 大沢の夫は既に他界し、子供も既に結婚している。大沢の記憶は40年以上前に遡っている。 **職　員：**　心配ありませんよ、大沢さん。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。 **利用者：**　そうだったかしら……。

正解例 ＆解説	**【正解例】**「大沢さんが今日こちらに来る時、しっかりとご主人と子供さんの夕食を用意して出てきたと仰っていました」「昼食時にお話しした時、お宅の夕飯の支度はもう済んでいると大沢さんは仰っていました」等 **【解　説】**職員のこの発言は結果として、嘘を言っていることになる。しかし、これは、現実を理解できていない利用者の不安な気持を和らげるための対応である。特に夕暮症候群の認知症患者が戻りたがる家は、現在の自宅でなく、遠い過去の思い出の中にある家である場合が多い。その際、患者に現実を解らせようとしても、却って混乱を大きくする。したがって、介護者は、患者の現在の気持を受け止めて理解するように努めることが必要である。

問題２	認知症患者である利用者大沢が介護職員ホアに対して「夕方になったため帰宅したい」と訴えてきました。大沢の自宅には現在、誰もいません。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **利用者：**　そうですか。それなら、すぐに帰らなくても大丈夫ですね。 **職　員：**　大沢さんがいてくれると、私は心強いです。宜しくお願い致しますね。 **利用者：**　私がいても、大して役に立てないとは思いますけど……。 **職　員：**　そんなことありません。それでは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。 **利用者：**　わかりました。では、やってしまいましょうかねぇ。 **職　員：**　ありがとうございます。助かります、大沢さん。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「大沢さんでなければ出来ないこの片付けを手伝ってもらえますか」「片付けが得意の大沢さんに、私の作業を手伝っていただきたいのですが」等 **【解　説】**手伝わせる事は、片付けでなくても構わない。利用者が得意にする事に取り組ませるように促すとよい。このような場合、必ず職員が利用者と一緒に取り組むことが大切である。一人で取り組まされると、利用者は次第に「やらされている」という感覚が芽生えてしまう。一緒に取り組むことで、利用者に仲間意識を持たせ、「ここは私を必要としてくれている」と思わせることが重要である。

▼ テーマ6

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

【介護職員】倉木ひとみ（38歳・女性）介護福祉士で、ホアの先輩。後輩を優しく見守る。

テーマ	バイタルチェック時の看護師指示への対応
状況設定	利用者（要介護レベル３）が入浴に臨む際、介護職員は、先輩職員の指示によってバイタルチェックを行うことになった。自分は指示通りに行ったつもりであったが、先輩職員から注意を受けてしまった。なぜか。
脚　本 & 介護実務 指導上の 留意点	**先輩職員：**　ホアさん、大沢さんのバイタルチェックをお願いしていましたが、どうでしたか。 **介護職員：**　あ、はい、言われた通りに行いました。記録も忘れずに付けています。 ［介護後は、行ったことに関する記録を必ず付けることになっている。昨今は、パソコン等を利用して記録を行う施設も増えている。これは、介護がチームで行う仕事であることの顕れと言える。たとえ自分がいなくても、他職員が利用者の状態を把握しておくことがよい介護に繋がる。記録は、人と人、時と時を結ぶものである］ **先輩職員：**　そうですか。いつもと変らない結果でしたか。 **介護職員：**　あ、はい、大沢さんの体温は37℃あるが、大沢さんは入浴したいと言っているので、そのまま入浴してもらいました。 ［体温37℃は一般に、微熱と判断する。個人差もあるため、このような微妙な体温であった場合、判断が難しい。そのため、先輩職員や専門の看護職員に報告し、判断を仰ぐことが必要である］ **先輩職員：**　大沢さんの体温は普段、35℃ですよ。いつもより、かなり高めですよね。 ［高齢者の体温は多くの場合、一般人より低い傾向がある。血圧についても、大半の高齢者は、降圧剤（血圧を下げる薬）を服用している］ **介護職員：**　大沢さんは大丈夫だと言ってますので、本人の気持を尊重しました。 ［自己決定は確かに大切であるが、高齢者は自分で物事を的確に決められない場合がある。特に介護施設の利用者の場合、更なる注意が必要である］

	先輩職員：　なぜその時、私に連絡してくれなかったのですか。 **介護職員：**　うーん、介護は自己決定が原則と教えてもらっていますので……。 **先輩職員：**　確かにその通りですが、大沢さんは自分の体調を理解することができないほど高齢の方ですよ。 **介護職員：**　それでは、どうすればよかったですか。 **先輩職員：**　私たちの仕事は、チームケアが原則です。利用者の方の医療面の支援は、私たち看護職の役割です。バイタルチェックをして、いつもと違う変化があった時には、必ず看護師に相談してください。 ［先輩職員も決して好んで介護職員を叱るのではない。介護職員が親切な思いで利用者に接したことは正しい。しかし、その結果が最悪の事態を招くことを避けたいと思い、先輩職員は注意した。ここで大切なことは、介護職員の人格を否定したのでなく、あくまで仕事の仕方について注意したということを理解することである］ **介護職員：**　解りました。これからは必ずそのようにします。 ［注意されることは、誰にとっても面白くないものである。しかし、仕事上の注意は謙虚かつ素直に受け止めることが重要である。それが、介護職員の人間的な成長にも繋がる］ **先輩職員：**　連絡や報告をしてくれれば、必ず私たちも相談に乗ります。利用者の方の自己決定は大切ですが、ホアさんの自己判断はいけませんよ。
専門用語	**バイタルチェック**： 体温・血圧・脈拍等の測定（医学用語）。このような行為は本来、看護職員によるものであるが、医療機器の発達によって専門的な知識・技術等がなくても測定が可能であるため、施設等では介護職員が対応することも多い。 **報告・連絡・相談**： 報告・連絡・相談は、俗に「ホウレンソウ」とも言われ、介護だけはなく、チームで取り組む仕事には不可欠の行為である。このケースでは、介護職員が利用者の意思を尊重し、先輩職員や専門の看護職員に相談することなく、利用者を入浴させてしまった。これは、事によっては、その後に肺炎を引き起して命を落してしまうことに繋がる可能性がある。したがって、介護を行う際、利用者の意思を尊重するだけでなく、必ず他職員に相談することが重要である。

問題１	介護職員ホアは、体温37℃の利用者大沢の意思に応じ、入浴させてしまった。しかし、利用者の平熱は35℃である。これについて、先輩職員から注意を受

	けた。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **先輩職員：**　なぜその時、私に連絡してくれなかったのですか。 **介護職員：**　うーん、介護は自己決定が原則と教えてもらっていますので……。 **先輩職員：**　確かにその通りですが、大沢さんは自分の体調を理解することができないほど高齢の方ですよ。 **介護職員：**　それでは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。 **先輩職員：**　私たちの仕事は、チームケアが原則です。利用者の方の医療面の支援は、私たち看護職の役割です。バイタルチェックをして、いつもと違う変化があった時には、必ず看護師に相談してください。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「どうすればよかったですか」「どのような対応が適切でしたか」「このような場合の正しい考え方を教えていただけると助かります」等 **【解　説】**まず、介護では、微妙な問題が生じた場合、上司・責任者や他の専門職に相談して判断を仰ぐことが重要であることを理解することが大切である。その上で、自己判断で行動してしまったことを反省し、受けた指摘を謙虚に受け止め、正しい対応に関する指導を仰ぐ姿勢・応答が必要である。

問題２	介護職員ホアは、体温37℃の利用者大沢の意思に応じ、入浴させてしまった。しかし、利用者の平熱は35℃である。これについて、先輩職員から注意を受けた。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **先輩職員：**　私たちの仕事は、チームケアが原則です。利用者の方の医療面の支援は、私たち看護職の役割です。バイタルチェックをして、いつもと違う変化があった時には、必ず看護師に相談してください。 **介護職員：**　解りました。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「これからは必ずそのようにします」「以後、気を付けます」等

	【解　説】注意されることは、誰にとっても面白くないものである。しかし、仕事上の注意は謙虚かつ素直に受け止めることが重要である。それが、介護職員の人間的な成長にも繋がる。

▼ テーマ７

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	排泄介護時の対応（トイレ誘導）
状況設定	利用者（要介護レベル３）は、自立歩行は可能であるが、排泄は尿意や便意を感じられない。介護職員が定時トイレに行くようにと利用者に声を掛けたところ、利用者は「今は出ないので、トイレに行きたくない」と言う。
脚　本 ＆ 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、おトイレに行く時間ですよ。大変ですけど、行きましょう。私、お手伝いします。 ［高齢者は比較的、トイレに行くことを嫌う。トイレへの移動が体力的に億劫と感じるからである。また、ズボンの上げ下げ時間が掛ることも一因に考えられる。たとえ自分でトイレに行ける利用者についても、介護者はそれを認識しておく必要がある。ここで「大変ですけど」と言ったのは、そのような高齢者の身体状況を踏まえた発言と理解する］ **利用者：**　今は……したくないの。したくなったら、行くわ。 ［これは、利用者の本心の訴えである。しかし、利用者は、既に排泄の感覚を失っている者である。それを念頭に置き、利用者をどうトイレに行かせるかを考える必要がある］ **職　員：**　そうですか……。今は行きたくないのですね。でも、この後すぐに入浴です。トイレはお風呂場の隣にあるので、ついでに寄ってみませんか。 ［トイレに行きたくないと訴えている以上、それを無理強いしても、利用者は承諾しない。このような場合、他の目的（今回は入浴）のためにトイレに寄ってみるという提案を以て対応した。そうすれば、利用者も自分が否定されたとの思いを抱くこともなく、利用者の自尊心を損わずに円滑な介護を行える筈である］ **利用者：**　あぁ、今日は入浴の日だったのね。それでは、出ないかもしれないけれども、トイレに行ってみましょうか。 ［介護者の要請でなく、利用者自身が納得した上でトイレに行こうと思わせることが重要である］ **職　員：**　ありがとうございます。私、お手伝いします。宜しくお願いします。

［利用者の決断を認めるのと同時に、介護者の要請に応じたことに対する謝意を伝えるようにする。このような積み重ねにより、利用者は介護者を信頼するようになる］

――実際にトイレに行くと、利用者はかなりの量を排尿した――

職　員：　大沢さん、したくなかったようですが、出ましたね。私も同じような事がよくありますよ。人の身体は不思議なものですね。

［「ほら、やはり出たじゃないか」などと、介護者の考えが正しかったと主張してはならない。利用者の思いを慮った上で、介護者自身の経験も織り交ぜながら、利用者の顔をさりげなく立ててやる必要がある。そうすると、利用者も救われた気持になる］

利用者：　ホント、不思議なものね。さっきまでは全然したくなかったのよ。

職　員：　人の身体は、習慣で出来てるのですね。私なんかも朝、トイレに行きたくなくても、必ず出ますよ。

利用者：　確かに、その通りね。行ってよかったわ。

職　員：　大沢さんがそう言ってくれると、私も嬉しいです。

［利用者からの謝意表明には、必ず介護者からも「ありがとう」「私も嬉しいです」等と応ずる。そうすると、利用者も「私の事を自分の事のように喜んでくれている」と感じ、互いの気持が通じ合うようになる。介護の現場では、このようなことの積み重ねによって日々、信頼関係が築かれてゆく。そして、その先に、利用者が現在の自分らしく生きることを受け入れるようになる。介護における利用者の自己実現は、このように展開される］

専門用語

定時トイレの誘導：

介護施設では、基本的な食事の時刻が決められている。排泄も、決められた時刻に行うようになっている。この決められた時刻を「定時」と言う。ただし、利用者の体調等に応じ、定時と別に、より多くの介護を行う場合もある。これを「随時対応」と言う。

問題１

介護職員ホアが定時トイレに行くようにと利用者大沢に声を掛けると、大沢は「今は出ないので、トイレに行きたくない」と言う。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。

職　員：　大沢さん、おトイレに行く時間ですよ。大変ですけど、行きましょう。私、お手伝いします。

	利用者：　今は……したくないの。したくなったら、行くわ。 **職　員：**　そうですか……。今は行きたくないのですね。 でも、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「この後すぐに入浴です。トイレはお風呂場の隣にあるので、ついでに寄ってみませんか」「この後すぐに食事です。食事の前に、手洗いのついでにトイレに行っておきませんか」等 **【解　説】**高齢者は比較的、トイレに行くことを嫌がる。トイレへの移動やズボンの上げ下げに時間の掛ることが億劫に感じられるからである。その上で、利用者をどうトイレに行かせるかを考える必要がある。まずはトイレに行きたくないと訴えている以上、それを無理強いしても、利用者は承諾しない。このような場合、他の目的（今回は入浴や食事前手洗い等）のためにトイレに寄ってみるという提案を以て対応した。そうすれば、利用者も自分が否定されたとの思いを抱くこともなく、利用者の自尊心を損わずに円滑な介護を行える。

問題２	介護職員ホアが定時トイレに行くようにと利用者大沢に声を掛けても、「今は出ないので、トイレに行きたくない」と言う大沢であったが、ホアの勧めに応じて実際にトイレに行くと、かなりの量を排尿した。以下は、その直後の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さん、したくなかったようですが、出ましたね。私も同じような事がよくありますよ。人の身体は不思議なものですね。 **利用者：**　ホント、不思議なものね。さっきまでは全然したくなかったのよ。 **職　員：**　人の身体は、習慣で出来てるのですね。私なんかも朝、トイレに行きたくなくても、必ず出ますよ。 **利用者：**　確かに、その通りね。行ってよかったわ。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「したくなかったようですが、出ましたね。私も同じような事がよくあります」「出てよかったです。私も実際に行ってみると、出ることがよくあります」等 **【解　説】**「ほら、やはり出たじゃないか」などと、介護者の考えが正しかったと主張してはならない。利用者の思いを慮った上で、介護者自

	身の経験も織り交ぜながら、利用者の顔をさりげなく立ててやる必要がある。そうすると、利用者も救われた気持になる。

▼ テーマ８

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	排泄介護時の対応（簡易トイレ使用）
状況設定	利用者（要介護レベル３）は、自立歩行は可能であるが、ズボンの上げ下げは自分で出来ない。介護職員は定時、居室にある簡易トイレを使用した排泄の介助を行っている。
脚　本 ＆ 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、トイレの時間ですよ。大変でしょうが、行きましょう。私が手伝います。 **利用者：**　よろしくお願いしますね。 ［排泄は、誰も人の手を借りて行いたいと思わないものである。身体が不自由であるため仕方なく、介護者に手伝ってもらっているだけである。それを充分に理解した上で、介護に取り組まねばならない。間違っても、「こちらが介助してやっている」という気持で介護を行ってはならない］ **職　員：**　それでは、ベッドから下りて、ポータブルトイレに座りましょう。ご自分で出来ますか。 **利用者：**　ズボンがうまく下ろせないんですよ。 **職　員：**　ズボンを下ろすのは、確かに大変ですよね。その時、お手伝いします。 ［利用者がベッドから起き上がり、簡易トイレの前に立った。その間、介護者は、利用者の傍らで「見守り」の態勢を取り、何かが起った場合に即座に対応できるようにすることが大切である］ **職　員：**　片方の手で手摺をしっかりと摑んでいてください。 ［利用者は立ち上がった際に不安定であり、ズボンを下ろす際に力が入って転倒する危険性もある。必ず利用者自身の手でしっかりと摑まるように促すことを忘れてはならない］ **利用者：**　はい。解りました、はい。こうですね。 **職　員：**　そうです。そのまま摑んでいてください。それでは、ズボンを下ろしますね。 ［簡易トイレに座った利用者に配慮し、介護者は一度その場を離れる。誰もが人に見られていては排泄し難いからである。ただし、離れる際、

	必ず声を掛けることを忘れてはならない。そうしないと、ズボンの上げ下げを自分で行えない利用者は不安になるからである］ **職　員：**　大沢さん、私は一度離れますが、近くにいますからね。 **利用者：**　解りました。 **職　員：**　何かがあったらすぐに来ますから、心配ありませんよ。 ［このような場合、施設には必ずナースコールが設置され、誰もが簡単に使えるように作られているため、それを利用するのもよい。確認のため、離れる際に利用者に一度押させてチェックするとよい］
専門用語	**簡易トイレ（ポータブルトイレ）：** 自分で排泄できない利用者が多い介護施設では、利用者の状況に応じ、おむつや据え置き可能な簡易トイレ（ポータブルトイレ）を使用する。使用後に消臭剤を用いたり、その日のうちに必ず洗浄したりして清潔を保つことが重要である。 **見守り：** 単に見るだけでなく、様子を窺いながら安全に配慮するような見方を「見守り」と言い、施設介護でよく用いられる。この見守りは、状況によって対応の異なる点が特徴であるが、初めは具体的にどうするべきかを同僚や上司に確認しておくことがトラブル防止に繋がる。

問題１	介護職員ホアは定時、ズボンの上げ下げが自分で出来ない利用者大沢に対し、居室にある簡易トイレを使用した排泄の介助を行っています。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　それでは、ベッドから下りて、ポータブルトイレに座りましょう。ご自分で出来ますか。 **利用者：**　ズボンがうまく下ろせないんですよ。 **職　員：**　ズボンを下ろすのは、確かに大変ですよね。＿＿＿＿＿＿。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「その時、お手伝いします」「ズボンを下ろす時にお手伝いします。それまでしっかりと見ています」等 **【解　説】**利用者がベッドから起き上がり、簡易トイレの前に立った。その間、介護者は、利用者の傍らで「見守り」の態勢を取り、何かが起った場合に即座に対応できるようにする。その旨の声掛けである。

問題2	介護職員ホアは定時、ズボンの上げ下げが自分で出来ない利用者大沢に対し、居室にある簡易トイレを使用した排泄の介助を行っています。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　片方の手で手摺をしっかりと摑んでいてください。 **利用者：**　はい。解りました、はい。こうですね。 **職　員：**　そうです。そのまま摑んでいてください。それでは、ズボンを下ろしますね。 **職　員：**　大沢さん、私は一度離れますが、近くにいますからね。 **利用者：**　解りました。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「一度離れますが、近くにいますからね」「この場を離れますが、すぐに判る所にいますので」等 **【解　説】**誰もが人に見られていては排泄し難いため、簡易トイレに座った利用者に配慮し、介護者は一度その場を離れる。ただし、離れる際、ズボンの上げ下げを自分で行えない利用者は不安になる可能性もあるため、必ず声を掛けることを忘れてはならない。

▼ テーマ９

【利 用 者】大沢洋子（67歳・女性）施設に入居している女性。左半身に軽い麻痺がある。

【介護職員】グエン・ミン・ホア（26歳・女性）ベトナムからの留学生。日本語学校卒業後、介護福祉士を目指す。日本語は、流暢でないが、会話は出来る。

テーマ	入浴介護時の対応（一般浴）
状況設定	介護職員が利用者（要介護レベル３）に対して入浴介助を行っている。ただし、この利用者は、自分で何かを行うことに自信を持てないことから、何事にも非常に依存的になっている。
脚　本 & 介護実務 指導上の 留意点	**職　員：**　大沢さん、そろそろ身体を洗いましょう。 ［高齢者は比較的、湯船に長く入りたがる傾向がある。しかし、長く入り過ぎると心臓に負担を掛けるため、頃合を見計らって介護者から声を掛ける必要がある］ **利用者：**　解りました。すみませんが、自分では上手くできないので、洗ってもらえないかしら。 ［ここで「はい、解りました」と言って対応すれば利用者は満足しようが、介護者が全てを行うと、利用者の出来る事が次第に失われる。高齢者は、その能力低下の速度が非高齢者の倍以上とも言われることに留意する］ **職　員：**　大沢さんは、ご自分でもかなりしっかりとできる方だと思いますよ。出来ない所があれば、私お手伝いします。 ［介護の仕事は、専門的な支援である。利用者が言うままに従うのは、家政婦の仕事である。この違いをよく理解しておく必要がある］ **利用者：**　あなたはそう言うけど、私ももう年だから……。 **職　員：**　年齢はあまり関係ないですよ。大沢さんだから出来ると思うんですよ。 ［ここで重要なことは、利用者に対し、高齢者と位置付けるのでなく、その利用者本人であるからこそ出来ると強調していることである。介護を行う際、「おじいさん／おばあさん」等の表現でなく、必ず相手の名前に「さん」を付けて呼ぶようにする］ **職　員：**　では、手が届きにくい背中を流しますね。前の方は、ご自分でも手が届くと思います。 ［一般の生活者と同様、利用者も、背部等はどうしても上手く洗えないものである。爪先等にも手が届き難い筈である。まずは自分でやらせ、どうしても難しい事には手を貸すようにするとよい。また、タオルは、

	必ずボディーソープを付けて手渡すようにする］ **利用者：**　はい、解ったわ。じゃあ、やってみます。……よいしょッ。 **職　員：**　やはり上手に出来るじゃないですか。 ［シャワーの水温は、水圧によって変り易い。したがって、シャワーを使用する場合、親指をシャワー口に付けると、水温を確認できる］ **職　員：**　大沢さん、次は髪を洗いましょう。シャワーを掛けてシャンプーを付けるまでは私やりますので、その後はご自分で洗ってみてください。 ［ここでも、自立支援の原則から、最初は必ず自分で洗髪するように促す］ **利用者：**　解りました。少し心配ですけど、やってみます。 **職　員：**　それでは、シャワーを掛けます。しっかりと目を閉じていてください。 ――以下、身体を洗う場合と同様の対応になる――
専門用語	**一般浴**： 介護施設では、利用者の状況に応じて幾つかの入浴方法がある。まず、「一般浴」は、自力での歩行や手摺等を摑んでの歩行が可能な利用者が共同浴場を使用する入浴方法で、介護者はそこで、洗髪や背中を流す等の最低限の手伝いに止め、出来る限り利用者自身に洗わせるようにする。感染症で共同浴場を使用できない利用者や一人入浴を希望する利用者は、家庭の風呂のイメージに近い「個浴」を利用する。「中間浴」（リフト浴）は、リフトを用いた入浴で、立つことに不自由があるが座った状態で安定を保てる利用者が使用する。車椅子から上下左右に電動する椅子タイプのリフトに移動して入浴を行う。そして、「機械浴」には、座って入浴するタイプの「チェアー浴」と、寝て入浴するタイプの「ストレッチャー浴」がある。前者は、専用の椅子に座ったまま入浴するタイプで、浴槽の壁が開いて椅子ごと入る方式で、椅子が上下しないため安心感があり、身体への負担も少くて済む。足を上げて浴槽に入れないが、安定して座った姿勢を保てる利用者に向いている。後者は、ストレッチャーにベルトで身体を固定して寝たまま入浴するタイプで、ストレッチャーが上下に電動して湯船に入る。寝たきりの利用者や座った姿勢が安定しない利用者も入浴できる方式である。脱衣状態で寝かされるため羞恥心を伴い易いという短所があるため、タオルを用意する等の配慮を要する。

問題１	自分で何かを行うことに自信を持てないことから何事にも非常に依存的になっている利用者大沢に対し、介護職員ホアが入浴介助を行っています。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さん、そろそろ身体を洗いましょう。

	利用者：　解りました。すみませんが、自分では上手くできないので、洗ってもらえないかしら。 **職　員：**　大沢さんは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。出来ない所があれば、私お手伝いします。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「ご自分でもかなりしっかりと出来る方だと思いますよ」「実際、かなり多くの事をご自身で出来る筈ですよ」「ご自身で洗える所はご自身でやってみましょう」等 **【解　説】**介護の仕事は、専門的な支援であり、利用者が言うままに従うこと（＝家政婦の仕事）でないことを理解しておく必要がある。ここで、「はい、解りました」と言って対応すれば利用者は満足しようが、介護者が全てを行うと、利用者の出来る事が次第に失われる。高齢者はその能力低下の速度が非高齢者の倍以上とも言われることに留意しつつ、自身で出来る事を自身で行うように促すことが大切である。

問題２	自分で何かを行うことに自信を持てないことから何事にも非常に依存的になっている利用者大沢に対し、介護職員ホアが入浴介助を行っています。以下は、その時の会話です。下線部には、どのような言葉を挿入するとよいでしょうか。 **職　員：**　大沢さんであれば、ご自分でもかなりの事が出来る筈ですよ。出来ない所があれば、私お手伝いします。 **利用者：**　あなたはそう言うけど、私ももう年だから……。 **職　員：**　年齢はあまり関係ないですよ。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。
正解例 ＆解説	**【正解例】**「大沢さんだからこそ出来ると思います」「大沢さんなら出来ると思って私も言っているのですよ」等 **【解　説】**ここで重要なことは、利用者に対し、高齢者と位置付けるのでなく、その利用者本人であるからこそ出来ると強調していることである。介護を行う際、「おじいさん／おばあさん」等の表現でなく、必ず相手の名前に「さん」を付けて呼ぶようにする。

1　日本語教育機関等で活用する外国人介護就業志望者向け教育プログラム

B　介護職日本文化 要介護高齢者対応テーマ副読本「日本の年中行事」

日本語教育機関等で活用する外国人介護就業志望者向け教育プログラム「介護職日本文化 要介護高齢者対応テーマ副読本「日本の年中行事」」は、時節に応じた日本の象徴的な諸事象に関する知識を習得しておくことで、外国人就業者が要介護者との日々の会話のきっかけ作りや話題共有等を促進できることを企図するものである。

学校法人宮崎総合学院による平成26年度事業「介護分野の外国人就業者の雇用を促進する養成プログラムの開発と実証」に拠れば、《外国人雇用の際の問題として、日本語コミュニケーションの困難や、宗教･文化･慣習･思考等の違いに起因する日本人との価値観・職業観の相違などが指摘される》ことから、外国人介護福祉士候補者の日本語運用力向上に寄与しながら、彼らの日本に関する知識の増強を促す必要がある（同事業報告書)。そして、《介護業界の現場の多くは「介護老人施設」であることから、外国人候補者が対応することになる要介護者は、65歳以上で、(人口構成的に見れば）特に団塊世代が中心になると推察される。したがって、彼らが日本に関する知識を習得する場合、団塊世代を意識した日本の諸事象に焦点を当てるのが有効である》(同前)。このような発想から、同事業では、「現代日本トピック10」「団塊世代のライフスタイル」というテキストが作成された。

それに対し、本事業で作成する「日本の年中行事」は、日本語学校が日々の教育現場で抱える問題意識から着想を得たものである。すなわち、外国人が対人サービスの実務に臨む際、第一声である挨拶の後にいかなる話題を続ければ、その後の具体的な内容にスムーズに入ってゆけるか――そのようなことが日本語教育の課題でもある。したがって、この副読本は、実践的な日本語会話の導入としての日本文化知識を学ぶための教材であり、単なる日本文化紹介のための一般的なテキストでなく、要介護高齢者とのコミュニケーションを促進する介護実務日本語運用力を向上させるために最適化されたものである。特にその内容は介護福祉施設等の実務や職員の声に即したもので、このような教材は類例がない。例えば、介護福祉施設では、利用者のために職員が自ら、季節や年中行事に応じたレクリエーション・寸劇等（節分の豆撒き行事や七夕の天の川逢瀬の寸劇等）を行う。また、要介護高齢者は自分の子供時代の思い出話（正月遊びや運動会の思い出等）を好む。さらに、要介護高齢者との会話において、今日が何の日で、今がどのような季節で、近々いかなる行事が待っているかという話題は、日々の認知能力の活性化を支援するために極めて重要である。かくして、「日本の年中行事」は、このような観点から、外国人介護就業志望者の日本文化知識の習得を促進する教材として企画された。

以下に、この「介護職日本文化 要介護高齢者対応テーマ副読本「日本の年中行事」」の内容を、次の展開で提示する。

1）テーマ構成

2）テキスト本文【第01講】～【第20講】

1）テーマ構成

講	メインテーマ	サブテーマ		
01	正　　月	年 賀 状	雑　　煮	鏡 開 き
02	成人の日	小 正 月	成 人 式	紋付袴・振袖
03	節　　分	数 え 年	鬼	柊　　鰯
04	建国記念日	国民の祝日	古事記・日本書紀	神武天皇
05	雛 祭 り	節　　句	大垂髪	ちらし寿司
06	春分の日	桜	花　　見	卒 業 式
07	昭和の日	元　　号	昭和天皇	昭和元禄
08	憲法記念日	日本国憲法	大日本帝国憲法	黄金週間・大型連休
09	こどもの日	十 二 支	菖蒲=尚武	チャンバラ
20	七　　夕	短　　冊	笹	東北三大祭り
21	お　　盆	盆 踊 り	五山送り火	お盆休み
22	終戦記念日	原子爆弾投下	戦　　後	靖国神社
23	月　　見	薄	お月見泥棒	竹取物語
24	敬老の日	還　　暦	定　　年	超高齢社会
25	秋分の日	秋 彼 岸	お は ぎ	虫のこえ（唱歌）
26	体育の日	東京オリンピック	運 動 会	学級対抗リレー
27	文化の日	文化勲章	文化庁芸術祭賞	文化祭・学芸会
28	七 五 三	千 歳 飴	鶴　　亀	松 竹 梅
29	天皇誕生日	一般参賀	陛下（敬称）	香淳皇后
30	大 晦 日	晦日・つごもり	大 掃 除	紅白歌合戦

上記テーマ群は、日本の暦・祝日等に基づいた上で、日本の伝統･風習に深く根差したエピソードを持つ象徴的な行事や、要介護高齢者のそれまでの人生に強く印象づけられているような記念日等を選定した20のイベントで構成されている。

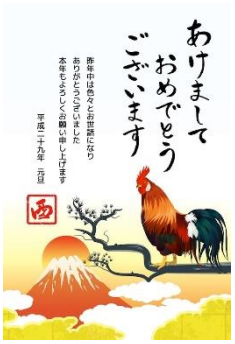
2）テキスト本文

【第01講】正月

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

正月（1月）は、新しい年の始まりを祝う月です。そして、この月の最初の日である1月1日を**元日**と言い、元日は**国民の祝日**です。この元日から1月3日までの間、多くの人が神社や寺に行き、神仏に感謝したり幸運を祈願したりします。これを**初詣**と言います。また、子供は、親や祖父母等から**お年玉**を貰うことを楽しみにし、**凧揚げ・羽根突き・独楽回し**等の**正月遊び**に興じたりします。この1～3日を**三が日**と言い、多くの家庭では、めでたいとされる食材を使った**御節料理**を食べたり仕事を休んで家でのんびりと過したりします。1月7日には7種の野菜を採り入れた**七草粥**を食べる慣習があり、それが疲れた胃腸を整えると考えられています。そして、この1月7日から15日までの間に正月祝いの**松飾り**を外し、正月気分から抜け出すための**けじめ**をつけます。

◇ 年賀状



年賀状は、新年の祝いを書いて各所に送る葉書です。現代では、それが相手に元日に届くよう、12月下旬に投函するのが一般的です。年賀状は本来、1月2日の**書き初め**の際に筆で認めるものでしたが、現在は印刷されたものに万年筆やペンで添え書きして送ることが多くなりました。

◇ 雑煮

雑煮は、正月の三が日に食べる御節料理の一種です。**漆器**等の**椀**の中に、**醤油**や**味噌**で作った**つゆ**と、**餅**・鶏肉・青味（小松菜・菠薐草等）・色気（人参・蒲鉾・海老等）・香り（柚子・三ツ葉等）等の様々な具が入っています。つゆや具の内容は各地域によって個性があるため、生れ育った土地を離れて他の地域で生活する人にとって「故郷の味」です。

◇ 鏡開き

鏡開きは、正月に神仏に供えるために飾った**鏡餅**を下げ、それを割って食べる1月中旬の行事です。鏡餅は、その平らな円形状が昔の鏡に似ているためそのように呼ばれますが、二段重ねで飾るのが通例です。この行事自体をそのまま表現すれば「鏡割り」ですが、「割る」という言葉が**縁起が悪い**と考えられたため「開く」が用いられるようになりました。

【第02講】成人の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

成人の日は、少年少女が成人になったことを祝い励ます国民の祝日で、１月第２月曜日です。昭和23年（1948年）制定当時は１月15日でしたが、平成12年（2000年）から現行日に変りました。この日には、全国各地で多彩な**成人式**が行われます。このような行事を**通過儀礼**と言い、生れてから死ぬまでの間の節目になる日を記念しています（高齢者の長寿祝い等も通過儀礼です)。また、成年（20歳）に達すると、飲酒・喫煙・選挙権等が認められます。ただし、選挙権は平成28年（2016年）７月以降、18歳に引き下げられました。

◇ 小正月

小正月は、１月15日前後に行われる正月行事です。かつて１月１日を大正月と言ったことに対する名称で、各地域で多彩な催しを行います。比較的共通しているのは正月飾りを燃やす**どんど焼き**です。この火で焼いた餅を食べると健康になるという信仰があります。

◇ 成人式

成人式は、20歳になった男女に対して、大人になったことを認める儀式です。成年式とも言います。長い人生のなかで最も重要な節目であり、大人としての権利と義務が発生します。儀式の式典は一般に市町村等の地方公共団体が主催し、毎年多くの新成人が参加します。

◇ 紋付袴・振袖

紋付の**羽織**と**袴**は男性の正装、**振袖**は未婚女性の正装です。紋は先祖から受継いでいる家紋で、黒い羽織に白地で表します。振袖は袖の長い着物で、成人式、結婚式等のほか、正月の晴れ着としても着用します。いずれも江戸時代の武家から続く日本の伝統です。

【第03講】節分

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

節分は暦(こよみ)上、冬の終りを示す節目の日で、その翌日（**立春**）から、春が始ります。「節分」という言葉は「季節を分ける」という意味ですから、節分は古来、四季に対応して１年に４回ありました。しかし、今日には、立春の前日だけが節分として受け継がれています。平成28年（2016年）は、立春が２月４日であったため、節分は２月３日でした。

季節の変り目には病気になり易いこと等から、節分では邪気を払う行事が行われます。その代表的なものが、寺社や家庭で行う**豆撒(まき)き**です。人々はそこで、**鬼**を邪気の象徴と見なし、「鬼は外、福は内」と叫びながら家の外と内へ大豆(だいず)を撒きます。豆を撒いた後、自分の年齢と同じ数の煎(い)り豆を食べ、**無病息災(そくさい)**を祈願します。豆は、蛋白(たんぱく)質を多く含んで栄養価も高いことから、健康によい食品と考えられています。

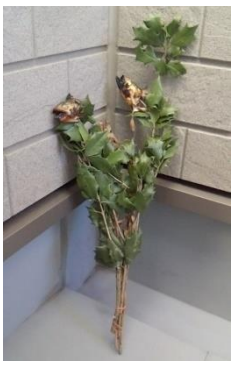
◇ 数え年

数え年は、生れた時点が１歳で、その翌年の元日（１月１日）に２歳になるとする年齢の数え方です。これは、まだ「０」の概念がなかった時代の名残(なごり)です。したがって、古来の伝統行事で年齢を示す際、今日でも数え年で示す場合が多くあります。ただし、通常の社会生活では、生れた時点が０歳、翌年の誕生日に１歳になるとする**満年齢**の数え方が一般的です。

◇ 鬼

鬼は、日本の**妖怪**（想像上の存在）で、荒々しく恐ろしいイメージを帯びる怪物です。一般に、頭角があり、虎皮の腰布を纏(まと)い、金棒を持った大男の姿で表現されます。荒ぶる神を「鬼神」、残酷な人を「鬼畜」と言うように、「悪」のイメージを伴うことが多い鬼ですが、極めて優れた才能を「鬼才」と称し、誉め言葉として用いられることもあります。

◇ 柊鰯(ひいらぎいわし)



柊鰯は、焼いた鰯の頭を柊の枝に刺して門口(かどぐち)に飾る、邪気を払う**門守(かどもり)**です。この場合の邪気は鬼です。柊の葉の棘(とげ)が鬼の目を刺すため鬼が門口から入れない、また、塩鰯を焼く臭気と煙で鬼が近寄れない（あるいは、鰯を焼く匂いで鬼を誘い、柊の葉の棘で鬼の目を刺す）ことで、鬼を追い払うという信仰に基づきます。現代の都会ではあまり見掛けられなくなりましたが、全国的にはまだ多くの地域で、これを節分の日に玄関や門口に掲げ、悪い鬼を追い払う習俗が残っています。

【第04講】建国記念日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

建国記念日は、初代**神武天皇**(じんむ)が即位して日本の基盤となった国を築いたと伝えられる日で、２月11日です。日本の正史である『**日本書紀**』の記述を根拠として制定されました。明治時代には**紀元節**と称し、太平洋戦争の敗戦をへて昭和23年（1948年）に廃止されますが、昭和42年（1967年）から現在の名称で復活し、国民の祝日となりました。日常的には用いませんが、建国から数える日本独自の暦を**皇紀**といい、平成28年（2016年）は皇紀2676年です。

実際に天皇という称号を用いるようになったのは建国より後のことですが、それでも千数百年の伝統をもっており、世界の王室では最も長い歴史を誇ります。なお、日本では王室ではなく、皇室と言います。

◇ 国民の祝日

国民の祝日は、日本国民全体が祝う記念日です。１月１日の「元日」から12月23日の「天皇誕生日」まで、一年に16日が法律で定められています。特別な事情がない限り、会社は休みです。公共機関は国旗を掲揚し、かつては多くの一般家庭でも玄関に国旗を掲げました。

◇『古事記』『日本書紀』

『**古事記**』は現存する日本最古の歴史書で、『**日本書紀**』は国が正式に編纂した正史です。７世紀に第40代天武天皇が制作を命じ、両書とも８世紀初頭に完成しました。伊勢神宮に祀られている天照大神（天照大御神）が天皇の祖神である等、神話も記述してあります。

◇ 神武天皇

神武天皇は初代天皇です。古事記および日本書紀によれば九州の日向を出発して東へ進み、紀元前７世紀に現在の奈良県にある大和で政権を樹立し、天皇に即位しました。127歳まで生きたと伝えられているため、実在していなかったと主張する歴史家もいます。

【第05講】雛祭り

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

雛祭りは、３月３日に女児の成長と無事を祈る祭りです。室内に雛人形を飾り、甘い白酒の他、菱形の餅や雛あられ等の雛菓子を供えます。雛人形とは男女の貴族を左右に並べたもので、豪華になると下段に宮仕えの女性が並ぶなど段数が増えていきます。先祖から伝わる人形を飾る家がある一方で、毎年捨てられるよう質素にすませる家もあります。また、雛祭りの別名を桃の節句と言い、この時期に咲く桃の花も飾ります。

起源は平安時代の貴族による清めの儀式とされ、地域によっては紙で作った人形（ひとがた）に災いを移し、その人形を川に流す古い行事が今に伝わっています。

◇ 節句

節句は、年間の節目となる年中行事です。中世以前に数多くあったものを、江戸時代に整理したのが人日の節句（１月７日)、上巳の節句（３月３日)、端午の節句（５月５日)、七夕の節句（７月７日)、重陽の節句（９月９日）で、総称して五節句と言います。季節の花にちなみ、上巳の節句は桃の節句、重陽の節句は菊の節句とも言います。

◇ 大垂髪

大垂髪は、古代から近世まで続いた、上流の女性が正装するときの髪型です。前方をふっくらと仕上げ、後ろ側は長く垂れ下がっています。現代でも皇室の女性が和装の正装として用います。また、雛人形の最上段に位置する女雛もこの髪型です。

◇ ちらし寿司

ちらし寿司は、酢飯の上に魚、玉子、かんぴょう、椎茸、野菜、海苔などをのせた食べ物です。具が数多く入っていることから五目寿司とも呼ばれます。日常の食事でも供しますが、雛祭りでは定番料理です。その場合は海老、豆、蓮根など縁起の良い食材を用います。

【第06講】春分の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

春分の日は、日の出から日の入りまでを指す昼の長さと、夜の長さがほぼ同じになる日です。「自然をたたえ、生物をいつくしむ」国民の祝日で、平成28年（2016年）は３月20日でした。太陽と地球の運行によって決まるため、１日前後する年があります。この日をさかいに昼が夜よりも長くなってゆきます。

「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句があり、暦の上では春の真ん中にあたり、気候が暖かくなってきます。本州では桜が開花し、春が実感できる時期です。関西から関東の水田稲作では種まきの準備が始まり、農作業が本格的になる頃です。

また、春分の日を中心に、前後３日間を春の彼岸といい、この７日の間に先祖の墓参りをする習慣があります。

◇ 桜

桜は、春に咲く花で、菊と共に日本を代表する事実上の国花です。桜は何種類も日本に自生しており、山の桜を都市の周辺に移植するなど古くから栽培も行われ、奈良時代の歌を集めた『万葉集』にも桜を詠んだ歌が数多く掲載されています。都市部で最も一般的な桜は染井吉野という栽培種です。

◇ 花見

花見は、満開になった桜を観賞する行事です。日本中に花見の名所がたくさんあり、春になると多くの人々が集まって楽しむと共に、地面にシートを敷いて酒宴を催すこともあります。古くは農耕が本格化する前の儀式で、江戸時代の頃から娯楽としても広まりました。

◇ 卒業式

卒業式は、学習課程修了が認められた学生を送り出す行事です。幼稚園から大学まで、ほとんどの学校が３月に卒業式を迎え、学生たちは制服やスーツなどで正装して出席します。専門学校や大学を卒業する女性のなかには、伝統の正装である袴を着用する人も多くいます。

【第07講】昭和の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

昭和の日は、元は４月29日の**昭和天皇**の誕生日で、激動の日々を経て復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたすための記念日です。

昭和は大規模な世界恐慌で始まり、20年後には太平洋戦争の敗戦で日本中が焼け野原となりました。その後、奇跡の復興と呼ばれる高度成長をなしとげ、昭和43年（1968年）にはGNPが世界第２位の経済大国となった時代です。

こうした波乱の時を国民と共に歩んだ昭和天皇は、昭和64年（1989年）に崩御しました。崩御と同時に今上天皇が即位しますので、記念日としての「天皇誕生日」は12月23日になりました。このような経緯で昭和天皇の誕生日は「昭和の日」という国民の祝日となりました。

◇ 元号

元号は、皇紀と共に日本独自の年号であり、昭和、平成など変化するのが特徴です。記録に残っている最も古い元号は大化元年（645年）で、江戸時代までは天皇崩御の他、災害が続いたり良い事があったりした時などに改元しました。明治時代以降は天皇崩御の時だけ改元します。

◇ 昭和天皇

昭和天皇は第124代天皇です。名は裕仁で、苗字はありません。明治34年（1901年）４月29日に誕生し、昭和64年（1989年）１月７日に崩御しました。天皇に即位したのは昭和元年（1926年）12月25日、天皇在位64年は日本史上最長とされます。一般の葬儀にあたる大喪の礼には世界164箇国およびECの代表が参列しました。

◇ 昭和元禄

昭和元禄は、昭和40年前後、高度成長が続く華やかで活気のあった時期を指します。毎年給料が上がり、中間層が豊かになった頃で、衣類、電気製品、家具、自動車などが飛ぶように売れました。特にカー、クーラー、カラーテレビの3Cを買いそろえるのが庶民の目標でした。

【第08講】憲法記念日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

憲法記念日は、**日本国憲法**の効力が発生した日です。国民の祝日で、５月３日です。太平洋戦争後、国内に進駐していた連合国軍総司令部が原案を作成し、日本政府の意見も取り入れて昭和21年（1946年）11月３日に発表、翌年５月３日に施行されました。これにより、明治時代から続く大日本帝国憲法は廃止となり、新時代が始まりました。

日本国憲法の特徴は国民主権、象徴天皇、戦争放棄です。全ての国民が一定年齢に達すると選挙権をもち、憲法改正も最終的には国民投票で決まります。天皇は権力をもたず、権威としての地位を明確にしました。また、国際紛争に武力を使わず、話し合いで解決する努力を続けてきました。この結果、戦後70年にわたって平和な日本を築くことができました。

◇ 日本国憲法

日本国憲法は、日本の最高法規です。前文で「主権が国民に存する」ことを宣言、第一条で「天皇は、日本国の象徴」であり、その「地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」とし、第九条で「武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」としています。

◇ 大日本帝国憲法（明治憲法）

大日本帝国憲法（明治憲法）は、明治22年（1889年）２月11日公布、翌年11月29日に施行された憲法です。天皇を元首と明記し、軍隊を統率して指揮する権力が認められていました。ただし、法律の制定は議会の協賛を必要とするなど、天皇の権限には制約もありました。

◇ ゴールデンウィーク（黄金週間・大型連休）

ゴールデンウィーク（黄金週間・大型連休）は、４月末から５月初旬にかけて、休日が多い期間です。国民の祝日として、昭和の日（４月29日)、憲法記念日（５月３日)、みどりの日（５月４日)、こどもの日（５月５日）が続き、多くの人が故郷へ帰るほか、海外旅行等へ行きます。「ゴールデンウィーク」という名称は、golden「黄金の」とweek「週」を合成した和製英語です。

【第09講】こどもの日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

こどもの日は、男児の成長を祝う**端午の節句**にあたり、５月５日です。多くの家庭では５月に入ると屋外に鯉のぼりを立て、当日は柏餅や粽を食べるほか、菖蒲の葉を入れた風呂に入る風習もあります。菖蒲は薬草としての効能があり、邪気を払い疫病を防ぐ力があるという信仰が、古くからありました。

３月３日の桃の節句が女児の行事であるのに対し、男児の行事であるため、勇ましい印象があります。江戸時代の武家の習わしも受継いでおり、室内に武者人形や甲冑を飾るのは、その一例です。また、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」趣旨で、国民の祝日となっています。

◇ 十二支

十二支は、現代では年を表す表現です。子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥という12の用語を動物にあてはめ、12年単位で繰り返します。平成28年（2016年）は申年で、翌年は酉年となり、これを自分の生れ年とします。古くは時刻や方位も表しました。また、60年周期の暦法にも用います。

◇ 菖蒲＝尚武

菖蒲は、根が漢方の健胃薬に使われるサトイモ科の植物です。「尚武」という武道を重んじる用語と音が同じであることから元気な印象があり、端午の節句では菖蒲湯に入ります。古くは邪鬼を払う植物と信じられ、貴族や武士の年中行事であったものが現代まで受け継がれてきました。

◇ チャンバラ

チャンバラは、刀で切り合う様子を擬音語で表した俗語です。高齢者の世代は武士が派手に切り合うシーンの多い映画をチャンバラ映画と呼んでいました。これを真似た日常的な子供の遊びがチャンバラごっこで、こどもの日には紙で作った兜をかぶって行うことがあります。

【第10講】七夕

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

七夕は、７月７日の夜、織姫が１年に１度だけ**天の川**を渡って夏彦に会いに行くという伝説に基づく行事です。その際、織姫星（織女星）は琴座のベガ、彦星（牽牛星）は鷲座のアルタイルで、これが星の逢引であることから、七夕には「星合」という別名もあります。そして、この日に願い事を**短冊**に書いて**笹竹**に結び付けると、その願いが叶うという風習があります。日本では、この男女が１年に１度しか会えないというロマンチックな悲恋物語が好まれ、現代では華やかな祭りになりました。旧暦と新暦（現代の暦）に約１箇月のすれがあるため、伝統的な風習を踏まえ、**七夕祭り**を８月初旬に行う地域もあります。例えば、その規模の大きさで有名な宮城県仙台市の仙台七夕まつりは、江戸時代から続いていますが、その開催は８月６～８日です。また、七夕は、**五節句**（人日・上巳・端午・七夕・重陽）の一つでもあり、この場合、「たなばた」でなく「しちせき」と読みます。

◇ 短冊

短冊は、細長い形状の紙片で、元来そこに**和歌**や**俳句**を書くものですが、七夕では願い事を記すのに用いられます。大きさは多様ですが、片手で持てる程度に収めます。古代、紙は高価であったため木片（**木簡**）が用いられましたが、中世の頃から紙も併用されるようになりました。

◇ 笹

笹は一般に、やや細く小振りの**竹**を言います。笹と竹は、植物学上は一応の区別がありますが、日常では「笹竹」と言ったりして区別しません。工芸品の素材になる他、七夕では短冊を結び付けるものとして用いられます。また、特に竹は、成長が早く、真っ直ぐに伸びることから、繁栄や強さの象徴で、**縁起がよい**物と考えられています。

◇ 東北三大祭り

東北三大祭りは、東北地方で開催される有名な三つの**夏祭り**の総称で、北から順に、**青森ねぶた祭**（青森県）、**秋田竿燈まつり**（秋田県）、**仙台七夕まつり**（宮城県）を指すのが通例です。いずれも、開催時期は８月初旬で、七夕や盆の行事に関連した祭りです。これらが終ると秋風が吹くと言われ、季節の変り目の象徴になっています。

【第11講】お盆

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

お盆は、**祖先**の**霊**を**祀り供養する**一連の行事で、日本古来の祖霊信仰と**仏教**が融合した行事です。時期は地域によって異なり、７月中旬または８月中旬です。初日を「迎え盆」と言い、**迎え火**を焚いて祖霊を喚び、供養します。最終日を「送り盆」と言い、**送り火**を焚いたり、**供え物**を川や海に流す**灯籠流し**を行ったりして祖霊を送り出します。その一方で、近年、お盆を簡単に済ませたいとする考え方もあり、**墓参り**だけをしてお盆の行事にする人もいます。

しかし、お盆は元来、「盆と正月が一緒に来たよう」（「非常に忙しいこと」「慶事が重なること」の喩え）という慣用句があるほど、忙しく重要な行事でした。特に地方から出てきた人は、**お盆休み**（８月15日周辺の３～７日間程度）に入ると故郷に帰り、行事に参加しました。お盆休みの在り方は以前よりかなり多様になりましたが、今日も見られる日本の夏の**風物詩**です。

◇ 盆踊り

盆踊りは、お盆の翌晩に地域の人が地元の寺社や公園等に集まって踊る行事です。広場の中央に**櫓**を組み、そこから楽器を鳴らしたり謡ったりし、人々はその周囲で踊ります。楽器は**笛**や**太鼓**が用いられ、子供から大人まで何日も練習して演奏します。

◇ 五山送り火

五山送り火は、８月中旬のお盆の時期に催される京都の行事です。祖霊への迎え火や送り火が観光行事になったもので、５箇所で行われます。このうち最も有名なものは大文字山（如意ヶ嶽）の「**大文字送り火**」で、毎年８月16日の夜に「大」の字の形に火が灯されます。

◇ お盆休み

お盆休みは、お盆の時期（８月15日周辺の３～７日程度）に取る休暇です。この時期、全国で多くの人が仕事を休みます。レジャー客や**帰省**者（故郷に帰る人）が一斉に移動するため、新幹線や飛行機が満員になり幹線道路が渋滞する**ラッシュ**が、毎年恒例の現象になっています。

【第12講】終戦記念日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

終戦記念日は、昭和20年（1945年）の夏、天皇が国民に対して太平洋戦争の終結を伝えた日で、８月15日の正午です。ラジオ放送によるものでした。天皇の声を玉音ということから、**玉音放送**ともよばれます。日本国内が悲しみに包まれた日です。その後、９月２日に米国戦艦ミズーリ号で降伏文書に調印し、これで日本の敗戦が決定しました。日本を代表して調印したのは重光葵（しげみつあおい）外務大臣です。ただし、戦地の前線で戦っている兵士たちに直接伝える方法がなく、みなが終戦を知るのはしばらく後のことでした。

８月15日を戦争に関連した記念日とする正式名称は「戦没者を追悼し平和を祈念する日」です。現在でも、８月15日正午には多くの人々が黙祷をささげます。

◇ 原子爆弾投下

原子爆弾は、太平洋戦争で初めて日本に対して使用され、昭和20年（1945年）８月６日に広島県、同年８月９日に長崎県に**投下**されました。広島では10万人以上、長崎でも７万人以上が年末までに死亡し、それ以上の人々が後遺症で苦しんでいます。あまりにも残酷な兵器なので、これ以降は使用されていません。

◇ 戦後

太平洋戦争の日本本土空襲により、ほとんどの大都市は焼け野原となり、多くの民間人が死亡しました。日本の戦後はこうした廃墟から始まりましたが、国民が力を合わせて努力し、昭和31年（1956年）の経済白書で「もはや戦後ではない」と記述するまでに復興しました。

◇ 靖国神社

靖国神社は、明治維新以降の戦争で、国を守るために命を捧げた人々の霊を祀る神社です。明治２年（1869年）の創設以来、246万6000余柱の霊が「靖国の大神」として祀られています。毎年７月13日～16日には盆の行事として「みたま祭り」を開催し、多くの参拝者が集まります。

【第13講】月見

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

月見は、月見団子や野菜などの供え物をして、月を眺め楽しむ行事です。月の満ち欠けを基準にした旧暦で８月、ほぼ満月になる15日の夜に行います。この日の夜を十五夜、この夜の月を中秋の名月と言い特別なあつかいをしてきました。

旧暦８月15日は新暦の太陽暦にあてはめると９月か10月初旬で、平成28年（2016年）は９月15日に相当しました。ただし、太陽暦を基準にした新暦は月の運行と無関係であるため、15日が満月とは限りません。同年は９月17日が満月でした。したがって、満月の2日前に中秋の名月を祝うのですが、肉眼では区別できないため問題はありません。

月見は平安時代から続く伝統行事で、古くは里芋を供えることもありました。

◇ 薄（すすき）

薄は、秋を象徴する草花の一つです。奈良時代の詩歌にも詠まれるほど、古くから日本人が親しんできたイネ科植物です。現代では月見の飾りとして知られますが、古くは屋根、草履、箒などの材料にも用いました。細い茎をもちながら、高さ１～２ｍまで成長し、北海道から沖縄まで日本全国で生育します。

◇ お月見泥棒

お月見泥棒は、月見の日に、子供たちが楽しむ遊びです。泥棒は犯罪であり古くから禁じられてきた行為ですが、この日だけは団子などの供え物を盗んでも叱られません。都会よりも、農村地帯に残っている風習で、持っていきやすいよう縁側などに置いておきます。

◇ 竹取物語

『**竹取物語**』は、平安時代に創作された文学作品です。竹から生まれた美しい姫が、貴族たちから求婚されても断り、中秋の名月がでる夜に月に帰っていく物語です。千年以上も昔の作品だけに、複数の物語にわかれて語り継がれてきました。『かぐや姫』『竹取の翁』なども同じようなストーリーです。

【第14講】敬老の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

敬老の日は、多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う国民の祝日で、９月の第３月曜日です。かつては９月15日でしたが、平成15年（2003年）から現在の日に変わりました。一方、祝日ではありませんが、老人福祉法により９月15日は老人の日、それから一週間が老人週間と定められています。老人の福祉について、広く国民の間に関心と理解を深めることが目的です。

日本には人の成長に伴う時々の行事があります。七五三が幼児、端午の節句と桃の節句が少年少女、成人の日が青年、勤労感謝の日が青年や大人、敬老の日が高齢者です。どの年代にあっても、互いに感謝し、祝福し合う精神を大切にしいます。

◇ 還暦

還暦は、60歳になったことを祝福する行事です。家族から赤い頭巾、ちゃんちゃんこ、座布団などが贈られます。60年で人生が一巡すると考えられており、再び赤子に戻るという意味で、贈物に赤い色を選びます。かつては隠居する年齢であったことから盛大でしたが、長寿になった現代では簡素になりました。

◇ 定年

定年は、会社勤めの人が契約を満了して退職する年齢です。会社ごとに定めがあり、一様ではありませんが、高度成長期は55歳、安定成長期は60歳、近年は65歳が一般的です。健康で長生きする人が多くなったことにより、年齢の引上げが可能となりました。無事に定年を迎えた人は周囲から祝福されます。

◇ 超高齢社会

超高齢社会は、総人口に占める高齢者の割合が高くなることです。65歳以上の高齢者が占める割合を高齢化率といい、平成26年（2014年）に26％となりました。公的機関の予測では平成37年（2025年）が30％、平成72年（2060年）が40％です。このままでは若い世代の費用負担が重くなりすぎるため、高齢者が働ける環境整備が進められています。

【第15講】秋分の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

秋分の日は、祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ国民の祝日です。この日は立秋から始まる秋の真ん中にあたり、平成28年（2016年）は９月22日でした。天体の運行を基準にして日を決めるため、年によって１～２日ずれることがあります。日の出から日の入りまでを指す昼の長さと、夜の長さがほぼ同じになり、この日をさかいに夜が昼よりも長くなってゆきます。気候が良く、空気が澄んで夜空が美しくなり、中秋の名月に供え物をして月見をするのもこの頃です。

昭和23年（1948年）までは秋分の日を秋季皇霊祭と呼んで祝っており、宮中では現在でもその名称で先祖祭の行事を行っています。

◇ 秋彼岸

秋彼岸は、秋分の日を中心にした７日間の行事です。毎年この期間に墓参りをする習慣があり、仏壇や墓をきれいに清掃し、花や故人の好物などを供え、線香をあげて先祖に感謝します。なお、彼岸は１年に２回あり、春分の日を中心にした７日間は「春の彼岸」と呼びます。

◇ おはぎ

おはぎは、甘い餅菓子の一種です。餅米などを半づきにし、小豆餡でくるんだり、きな粉や擦り胡麻をまぶしたりしたものが一般的です。一年を通して食べますが、秋の彼岸に供えるときは「お萩」、春の彼岸に供えるときは「ぼた餅」と呼ぶことがあります。

◇『虫のこえ』（唱歌）

『虫のこえ』は、虫の鳴き声を題材にした、小学校で習う歌（唱歌）の題名です。夕方から夜にかけて虫の鳴き声が聞こえてくると、秋の到来を感じることから、自然の変化で季節を実感する日本人が好む歌です。明治43年（1910年）に発表されて以来、100年以上も歌い継がれてきました。

【第16講】体育の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

体育の日は、昭和39年（1964年）開催の東京オリンピックを記念した日で、当初は開会日の10月10日でしたが、連休を増やす目的で、平成12年（2000年）から10月の第２月曜日に変りました。「スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう」国民の祝日となっています。10月の前半は晴天になりやすい時期で、気温は夏の暑さから解放されて過ごしやすくなり、心身が活発になります。そのため多くの小学校、中学校、高等学校で運動会や体育祭が行われます。

また秋という季節全体では、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋とされるほか、夏バテで弱った胃腸が回復することから食欲の秋、おいしい食べ物がたくさん出回ることから味覚の秋とも言います。

◇ 東京オリンピック

東京オリンピックは、日本が戦後の焼け跡から立ち上がり、高度成長をつき進むなかで開催した第18回夏季オリンピック競技大会です。アジア初であり、国全体が高揚感で包まれました。現在は2020年の第32回夏季オリンピック大会が再び東京に決まり、その準備を進めています。

◇ 運動会

運動会は、学校などが主催するスポーツ大会です。勝敗や順位を競いますが、主な目的はフェアプレイの精神を教育すること、あるいは親睦を深めることです。騎馬戦のように危険をともなう競技でも、相手に怪我をさせることなく正々堂々と競います。

◇ 学級対抗リレー

学級対抗リレーは、クラスごとに代表を選出して競うリレー競技です。チームワークが重要となるため、協調性を大切にする日本人にとって得意種目の一つです。世界共通のリレー種目は短距離か中距離ですが、日本には長距離もあり「駅伝」と呼びます。古代から続く輸送方法を元にした伝統競技です。

【第17講】文化の日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

文化の日は、日本国憲法の成立が広く国民に知らされた日で、11月３日です。皇居宮殿松の間で文化勲章親授式があり、天皇が受賞者に勲章を授与します。この時期には文化庁主催の芸術祭が開催されるほか、芸術関係の展覧会も多く開かれます。なお、文化の日は「自由と平和を愛し、文化をすすめる」趣旨で、国民の祝日です。昭和23年（1948年）の制定ですが、それ以前は明治節という祝日で、明治天皇の誕生日を祝う日でした。

また、法令を広く国民に知らせることを正式には「公布」、法令が実際に効力を発することを「施行」と称し、日本国憲法の公布日が文化の日で、施行日が５月３日の憲法記念日です。

◇ 文化勲章

文化勲章は、日本文化の発展に著しい功績があった人に与えられる勲章で、昭和12年（1937年）に制定されました。式典では天皇が受賞者に文化勲章を授与し、内閣総理大臣が受章者に勲記を伝達します。勲記とは叙勲に関する証書のことです。叙勲の対象は文化功労者で、そのなかから選びます。

◇ 文化庁芸術祭賞

文化庁芸術祭賞は、文化庁が主催する、芸術の発展を目的とした祭典の賞です。芸術祭への参加公演と参加作品を選定し、そのなかから成果に応じて芸術祭大賞、芸術祭優秀賞、芸術祭新人賞を贈ります。参加公演には演劇、音楽、舞踊、大衆芸能、参加作品にはテレビ・ドラマ、テレビ・ドキュメンタリー、ラジオ、レコードの各4部があります。

◇ 文化祭・学芸会

10月～11月ころになると、学校では**文化祭**や**学芸会**を開催します。私立も国公立も含め、幼稚園から大学までが多彩な催しを行い、園児、生徒、学生たちの成果を家族や友人たちが観に行きます。「芸術の秋」という慣用句があるほど盛んな時期です。

【第18講】七五三

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

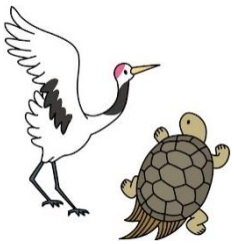
七五三は、子供の成長を祝い、神社等に参詣してそれを報告・感謝・祈願する行事です。通例、男子は主に**数え年**５歳、女子は３歳と７歳の11月15日に、**晴れ着**で臨んで神社を参拝します。対象年齢や参詣日は地域によって異なりましたが、近代になって徐々に統一されてきました。また、７・５・３として**奇数**で揃えるのは、奇数は**縁起がよい**と捉える**陰陽五行思想**の影響です（例えば、〈五節句〉も１月７日（人日）・３月３日（上巳）・５月５日（端午）・７月７日（七夕）・９月９日（重陽）で、全て奇数です）。

七五三は江戸時代に始まる神事で、当時、幼児は３歳で髪を伸し始め（髪置）、５歳で男児が**袴**を着け（袴着）、７歳で女児が**帯**を締め始めました（帯解）。このように、人の成長過程における節目を祝う行事を**通過儀礼**と言い、七五三・成人式・還暦祝い等がそれに該当します。

◇ 千歳飴

千歳飴は、親が子の健康長寿を祈願して子に与える**祝い菓子**です。千歳飴袋には、**鶴亀・松竹梅**等の**縁起がよい**図が描かれています。神社で授与する他、市販されてもいます。伝統・格式を重んずる菓子屋には、自店の千歳飴を神社に奉納して**お祓い**を受けてから店頭に並べる店もあります。子供が**正装**して千歳飴袋を手に提げて歩く姿が11月中旬の風物詩になっています。

◇ 鶴亀



鶴亀は、長寿を象徴する**縁起物**として尊ばれる生物です。鶴は「千歳鳥」とも言われ、日本で見る鳥類では長生きです。亀も比較的長生きする爬虫類で、古来「鶴は千年、亀は万年」と言って大事にされました。ただし、「千年」「万年」は長寿の比喩であり、実際の**寿命**ではありません。

◇ 松竹梅

松竹梅は、慶事・**吉祥**を象徴する縁起物として尊ばれる植物です。松と竹は冬でも枯れずに勢いを保ち、梅は寒い時季に花を咲かせます。そこで、日本では、祝事の席で謡われたり、**引出物**等の意匠に使われたりします。また、この「松」「竹」「梅」を等級名として使うこともあり、多くの場合、松が最上級、次いで竹・梅と続きます。

【第19講】天皇誕生日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

天皇誕生日は、今上天皇の生誕を祝う国民の祝日で、12月23日です。皇居で一般参賀を行います。この祝日を天皇誕生日と呼ぶようになったのは戦後のことで、戦前は天長節という名称でした。起源は８世紀まで遡りますが、しばらく中断して明治時代に復活しました。

なお、天皇誕生日は、天皇の代が替わると祝日も変わります。昭和天皇の誕生日は４月29日で、存命中はこの日が天皇誕生を祝う日でした。現在は「昭和の日」として国民の祝日になっています。なお、明治天皇や昭和天皇という表現は「おくりな」と言い、崩御した後の呼び名です。在位中の天皇は「今上天皇」と表現します。崩御とは高貴な人が亡くなったことを示す特別な用語です。

◇ 一般参賀

一般参賀は、新年１月２日と天皇誕生日の行事です。一般の人々が皇居内の宮殿前に集まって祝賀の気持を表し、天皇皇后両陛下を始め皇族が宮殿のベランダに姿を見せ、手を振ってこたえます。厳粛な行事を乱さないかぎり、誰でも自由に参加することができます。

◇ 陛下（敬称）

陛下は、日本で用いる最上級の敬称です。対象は天皇、皇后、皇太后、太皇太后に限ります。皇后は天皇の妃、皇太后は先代天皇の皇后で天皇の母、太皇太后は先々代天皇の皇后です。皇太子や皇太子妃などの皇族は「殿下」という敬称を用います。

◇ 香淳皇后

香淳皇后は、昭和天皇の正妃で、今上天皇の実母です。日本画、書道、歌道など多彩な趣味に親しみ、画集や歌集を刊行しています。昭和64年（1989年）１月の昭和天皇崩御に伴い皇太后となりました。明治36年（1903）に東京で生れ、平成12年（2000年）に97歳で崩御、香淳皇后と追号されました。

【第20講】大晦日

◆ 次の文章を声に出して読んでみましょう。

大晦日は一年の最終日です。日本ではこの日、多くの人が家の**大掃除**をしたり**御節料理**の支度をしたりし、夜に**年越し蕎麦**を食べて健康と長寿を願いながら、新年を迎える心構えを持ちます。大晦日から元日にかけての真夜中には、日本各地の寺で打たれる**除夜の鐘**の音を聞きます。これは、人間は108の煩悩を持ち、大晦日に除夜の鐘を108回撞くことで、その煩悩から解放するという仏教の考えに基づきます。

尚、近世以前の日本では、深夜０時に日が変るという考え方がなく、**日の出**と共に一日が始って**日暮れ**と共に一日が終るという認識が一般的であったため、夜の時間が当日に属するか翌日に属するかが不明確でした。このような背景から、大晦日の夜に正月の御節料理を食べる地域が今日もあります。

◇ 晦日（つごもり）

晦日（つごもり）は、**陰暦**で毎月の最終日です。月の運行を基準にした陰暦では、１日に新月が出て15日に満月になり、月末に月が隠れます。この月が隠れることを「月隠り」と言い、それが訛って「つごもり」になりました。そして、12月末は年の終りであるため、これを特別に「**大つごもり**」（**大晦日**）と呼びます。

◇ 大掃除

大掃除は、日々の生活の節目として年末に行う大掛りな掃除です。この慣習の由来は、**穢れ**を祓う宗教行事として６月末と12月末に行われる**大祓**です。その際、６月末のものを「夏越しの祓」、12月末のものを「年越しの祓」とも言いますが、その12月末の行事が一般に広まり、年末の大掃除になりました。

◇ 紅白歌合戦

紅白歌合戦は、12月31日夜に放送される歌番組です。女性が**紅**組、男性が**白**組になって勝敗を競います。紅（赤）と白の二色は、日本では祝い事の際に伝統的に使われる色の組み合せです。紅白歌合戦は、昭和26年（1951年）から正月のラジオ放送として始り、昭和28年（1953年）からテレビとラジオで同時放送になって放送日が大晦日になりました。視聴率が約40％もある国民的番組です。

2　外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム

A　シラバス（学習計画）

外国人留学生に対する介護教育の課題は、平成27年度事業の調査等から明らかであるように、彼らの日本語運用力の習熟度に加え、日本文化・慣習等に関する理解や就業そのものに関する目的意識の持続等にある。したがって、彼らに対する介護教育では、専門教育に先立ち、介護実務日本語運用力の養成と共に、日本で就業するのに必要な日本事情・介護事情に関する研修や介護分野の職業キャリア教育が求められる。しかし、それは、多くの日本語学校の教育現場において、時間や教員・教材・ノウハウ等の教育リソースの不足から、実現が困難であるのも実情である。

そこで、本事業では、そのような教育実践を支援する環境整備や教育プログラム開発の需要を踏まえ、「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」を開発した。そして、本教育プログラムは、次の３要素で構成されている。

A　シラバス（学習計画）
B　テキスト（講義用教材）
C　確認テスト（復習用教材）

A シラバスは、本教育プログラムの学習計画を示すものである。本教育プログラムは、全30時間で、集合学習15時間＋個人学習15時間という二部構成である。そして、その集合学習15時間は1.5時間×10回から成り、この回数に基づいてシラバスも構成され、定型書式によって10個のコマシラバスに展開されている。１個のコマシラバスは、学習のテーマ・目標、展開、教材、関連事項等から成る。

B テキストは、本教育プログラムの集合学習用主教材で、５章10節から成る。内容は、外国人留学生に対する介護教育において日本文化・慣習等に関する理解や就業に関する目的意識の持続等を促進するもので、日本事情一般・日本介護事情・介護職業意識等を扱っている。

C 確認テストは、本教育プログラムの個人学習（復習）用教材で、20問×10回から成る。内容はシラバス・テキストの各回に準拠し、１回0.5時間で取り組むコンテンツとして想定されている。

以下に、この「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」シラバスの内容を、次の展開で提示する。

１）教育プログラム全体構成
２）教育プログラム各回構成

1）教育プログラム全体構成

テーマ		集合学習（15時間）	個人学習（15時間）
1 留学生と日本	1.1　日本への留学・就職 ――日本を知り、日本で学び働く意義を考える	各回1.5 h 講義1.0 h ＋ 討議0.5 h	各回1.5 h 予習1.0 h ＋ 復習0.5 h
	1.2　留学生の学びと職業キャリア ――日本での学習・就業で大切なことを知る		
2 職業理解	2.1　介護職とは何か ――介護職の役割・意義と職種を知る		
	2.2　介護業界の最新動向 ――社会の動きと介護業界の動向を知る		
3 職業意識	3.1　介護人材の職業意識① ――組織・社会の一員としての介護人材の心構えを学ぶ		
	3.2　介護人材の職業意識② ――個人としての介護人材の心構えを学ぶ		
4 職業人 コンピテンシー	4.1　介護人材に必要な能力① ――チームワークで働く介護人材が習得するべき能力を考える		
	4.2　介護人材に必要な能力② ――専門職業人として日々の研鑽が必要な介護人材が習得するべき能力を考える		
5 職業キャリア形成	5.1　介護人材のキャリア形成① ――様々な介護職のキャリアパスを知る		
	5.2　介護人材のキャリア形成② ――介護人材としての自分のキャリアを考える		

2）教育プログラム各回構成

▼ 第1回

<table>
<tr><td>回　次</td><td>第1回</td></tr>
<tr><td>分　野</td><td>1　留学生と日本</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td>1.1　日本への留学・就職</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>日本を知り、日本で学び働く意義を考える。それにより、日本留学・就職の前提になる認識と知識を獲得し、日本で学ぶ自身の目的意識を確認する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 日本に関する基本的な知識
（概要・地理・都市・政治・経済・教育・科学技術・高齢社会・介護）
○ 日本で学び働くことの意義</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト1.1講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト1.1用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト1.1内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「日本で学び働くことの意義」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（1.1）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト1.1講読
復習(30分)：　確認テスト①実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第２回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第２回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>１　留学生と日本</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>1.2　留学生の学びと職業キャリア</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>日本での学習・就業で大切なことを知る。特に日本人の働き方・職業観等を知り、日本での学びや就業経験を自身の職業キャリアにどう活かすかを考える。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 日本での学習で大切なこと
○ 日本での就業で大切なこと</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト1.2講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト1.2用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト1.2内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>５分</td><td>○ 提題「日本人の働き方・職業観から学べること」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>５分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（1.2）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト1.2講読
復習(30分)：　確認テスト②実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第3回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第3回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>2　職業理解</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>2.1　介護職とは何か</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>介護職の役割・意義と職種を知る。それにより、介護分野への就業の前提になる認識と知識を獲得し、日本で介護を学ぶ自身の目的意識を確認する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 介護の社会化
○ 介護に関わる職種
○ 介護職の役割・仕事・職場</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト2.1講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト2.1用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト2.1内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「日本における介護職の重要性」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（2.1）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト2.1講読
復習(30分)：　確認テスト③実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第4回

<table>
<tr><td>回　次</td><td>第4回</td></tr>
<tr><td>分　野</td><td>2　職業理解</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td>2.2　介護業界の最新動向</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>社会の動きと介護業界の動向を知る。そのような介護分野への就業の前提になる認識と知識を獲得することで、自身が日本で介護を学ぶ意義を確認する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 介護を巡る社会の動き
○ 介護業界の動向</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト2.2講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト2.2用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト2.2内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「日本における介護業界・介護職の課題」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（2.2）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト2.2講読
復習(30分)：　確認テスト④実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第5回

<table>
<tr><td>回　次</td><td>第5回</td></tr>
<tr><td>分　野</td><td>3　職業意識</td></tr>
<tr><td>テーマ</td><td>3.1　介護人材の職業意識①</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>組織・社会の一員としての介護人材の心構えを学ぶ。それにより、介護職の職業意識で大切なことを認識し、日本で介護を学ぶ自身の目的意識を確認する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 社会的責任を担う介護職の心構え
○ チームケアにおける介護職の心構え</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト3.1講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト3.1用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト3.1内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「職業人の責務 そして/あるいは 介護職の責務」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（3.1）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト3.1講読
復習(30分)：　確認テスト⑤実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第6回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第6回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>3　職業意識</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>3.2　介護人材の職業意識②</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>個人としての介護人材の心構えを学ぶ。特に対人サービス専門職である介護職の職業意識で大切なことを認識し、自身が日本で介護を学ぶ意義を確認する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 専門職としての介護職の心構え
○ 対人サービス業としての介護職の心構え
○ 利用者本位の介護サービス提供における介護職の心構え
○ 介護職の自己管理に関する心構え</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト3.2講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト3.2用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト3.2内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「専門職業人の職業意識と介護職」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（3.2）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト3.2講読
復習(30分)：　確認テスト⑥実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第7回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第7回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>4　職業人コンピテンシー</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>4.1　介護人材に必要な能力</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>チームワークで働く介護人材が習得するべき能力を考える。それにより、介護人材に必要な能力と共に、介護の仕事の重要な側面に関する理解を促進する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 介護職のコミュニケーション能力
○ チームワークを強化する人間対応力</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト4.1講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト4.1用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト4.1内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「チームワークの成立要件と介護職」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（4.1）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト4.1講読
復習(30分)：　確認テスト⑦実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第８回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第８回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>４　職業人コンピテンシー</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>4.2　介護人材に必要な能力②</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>専門職業人として日々の研鑽が必要な介護人材が習得するべき能力を考える。
それにより、専門職である介護職における重要な視点に関する理解を促進する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 専門職としての介護職の視点
利用者-介護者の対等な関係、利用者本位の支援、利用者の生活の理解、
チームケア(多職種連携)、信頼関係の構築、科学的根拠に基づく介護の実践、
予防介護の実践</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト4.2講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト4.2用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト4.2内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>５分</td><td>○ 提題「専門職業人の自己研鑽の方法」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>５分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（4.2）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト4.2講読
復習(30分)：　確認テスト⑧実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第9回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第9回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>5　職業キャリア形成</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>5.1　介護人材のキャリア形成①</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>様々な介護職のキャリアパスを知る。それにより、介護分野への就業の前提になる認識と知識を獲得し、自身が日本で介護を学ぶ目的意識を確認する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 介護職に就くまでのキャリアパス
○ 介護職に就いてからのキャリアパス</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト5.1講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト5.1用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト5.1内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>5分</td><td>○ 提題「介護職キャリアパスの例示（3例程度)」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>5分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（5.1）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト5.1講読
復習(30分)：　確認テスト⑨実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

▼ 第10回

<table>
<tr><td>回　　次</td><td>第10回</td></tr>
<tr><td>分　　野</td><td>５　職業キャリア形成</td></tr>
<tr><td>テ ー マ</td><td>5.2　介護人材のキャリア形成②</td></tr>
<tr><td>学習目標</td><td>介護人材としての自分の職業キャリアを考える。それにより、自身の人生における日本留学や介護分野への就業の意義を確認し、具体的な計画を検討する。</td></tr>
<tr><td>学習内容</td><td>○ 介護人材のキャリアプラン
○ 介護人材のキャリアビジョン</td></tr>
<tr><td>集合学習
展　　開</td><td>
<table>
<tr><td>導入</td><td>10分</td><td>テーマと学習目標の確認</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義</td><td>15分</td><td>テキスト5.2講読</td></tr>
<tr><td>10分</td><td>テキスト5.2用語・表現解説</td></tr>
<tr><td>15分</td><td>テキスト5.2内容解説</td></tr>
<tr><td rowspan="3">討議</td><td>５分</td><td>○ 提題「介護職になる自身のキャリアビジョン」
○ 自己解答作成</td></tr>
<tr><td>20分</td><td>グループ討議</td></tr>
<tr><td>５分</td><td>討議内容整理</td></tr>
<tr><td>総括</td><td>10分</td><td>ポイント整理</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>使用教材</td><td>留学生用 介護分野 職業キャリア教育 テキスト（5.2）</td></tr>
<tr><td>個人学習</td><td>予習(60分)：　テキスト5.2講読
復習(30分)：　確認テスト⑩実施</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td>授業および個人学習(確認テスト）への取組状況を見て総合的に評価する。</td></tr>
</table>

2　外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム

B　テキスト（講義用教材）

本教育プログラムのテキストは、集合学習用主教材で、５章10節から成る。内容は、外国人留学生に対する介護教育において日本文化・慣習等に関する理解や就業に関する目的意識の持続等を促進するもので、日本事情一般・日本介護事情・介護職業意識等を扱っている。本テキストの構成は次の通りである。

1　留学生と日本

1.1　日本への留学・就職――日本を知り、日本で学び働く意義を考える

1.2　留学生の学びと職業キャリア――日本での学習・就業で大切なことを知る

2　職業理解

2.1　介護職とは何か――介護職の役割・意義と職種を知る

2.2　介護業界の最新動向――社会の動きと介護業界の動向を知る

3　職業意識

3.1　介護人材の職業意識①――組織・社会の一員としての介護人材の心構えを学ぶ

3.2　介護人材の職業意識②――個人としての介護人材の心構えを学ぶ

4　職業人コンピテンシー

4.1　介護人材に必要な能力①――チームワークで働く介護人材が習得するべき能力を考える

4.2　介護人材に必要な能力②――専門職業人として日々の研鑽が必要な介護人材が習得するべき能力を考える

5　職業キャリア形成

5.1　介護人材のキャリア形成①―様々な介護職のキャリアパスを知る

5.2　介護人材のキャリア形成②―介護人材としての自分のキャリアを考える

以下に、この「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」テキストの原稿を提示する。

1　留学生と日本

1.1　日本への留学・就職――日本を知り、日本で学び働く意義を考える

▼ 日本に関する基本的な知識

日本は古来「日出づる処」と言われ、それが国号の由来になっています。領土は全て島から成る**島国**で、6800以上の島があります。主要な島は、北から**北海道・本州・四国・九州**で、日本全土の97％を占めます。気候は基本的に**温暖**ですが、国土が経線で約3000㎞に亘って広がるため、北海道から九州までの南北間で気候が大きく異なります。人口は**１億2700万人**以上、首都は**東京都**（人口約1360万人）で、**GDP世界第３位**の経済大国です。

地　理

日本の国土は全体的に弓形状で、領土面積は約37.8万㎢（世界第62位）です。国土の約70％が**山岳**地帯で、約67％の森林率です。人口密度が高く（約340人/㎢）、**大都市**のあるのが特徴で、その殆どは**海岸**に位置しています。また、日本は**火山**活動が活発である（100以上の活火山がある）ことから火山性土壌が多く、そのため日本列島の自然が豊かになりました。日本に**温泉**が多いことも、そのような火山の恵みと言えます。

都　市

日本には、100万人規模以上の人口を有する大都市が各地方に点在し、国民の多くは、これらの大都市やその周辺部で生活しています（沿岸の平野部に都市部が集中し、国土の１割に人口の９割が居住しています)。特に東京を中心とする南**関東**地方の人口は日本全体の30％近くを占め、世界最大の都市圏を構成します。東京に次ぐ主要都市には、**横浜**市（神奈川県）・**大阪**市（大阪府）・**名古屋**市（愛知県）・**札幌**市（北海道）等があります。

政　治

日本は、《日本国の**象徴**であり日本国民統合の象徴》（日本国憲法第１条）として世襲君主である〈**天皇**〉を置き、憲法が定める体制に基づく**立憲君主国家**です。日本国憲法は、**国民主権**を規定した上で、政治権力を**立法権・行政権・司法権**の三権に分け、それらを各々〈**国会**〉〈**内閣**〉〈**裁判所**〉に配する**権力分立**の体制を定めています。そして、国会を《国権の最高機関であって、国の唯一の立法機関》（同第41条）とする**議会制民主主義**（**間接民主制・代議制**）に基づき、国会と内閣の協働による**議院内閣制**が採られています。さらに、日本は、行政と司法が憲法や国会の定める

法律や明文化された法令等に基づいて執行される**法治国家**です。

経　済

日本は、資本主義・市場経済を採用する工業国で、**国内総生産（GDP）世界第３位**の経済大国です。日本の通貨〈**円**〉（¥・yen・JPY）は、高い信認のある国際通貨の一つです。**経済協力開発機構（OECD）**には昭和39年（1964年）に加盟し、**主要国首脳会議（サミット、当時のG5・現在のG8）**にも昭和50年（1975年）の第１回から参加しています。また、TOYOTA・HONDA・NISSAN・MITSUBISHI・HITACHI・TOSHIBA・Canon・Softbank等の日本企業は、世界有力企業上位にランクインしています。

教育・研究・科学技術

日本は、特に**高等教育機関**の効率的かつ競争活発な教育制度により、**科学技術**を始めとする多くの分野で、世界に大きく貢献しています。例えば、日本はアジアで唯一、**国際宇宙ステーション計画**参加国です。また、その他の高水準技術も有し、**国際特許出願数**および**特許収入額**は世界第２位です。特に、環境・エネルギー、情報技術、原材料・ナノテクノロジー、先端計測技術、ライフサイエンス（生命科学）等の分野では、世界のトップレベルに位置しています。

高齢社会・介護

日本は、OECD諸国の中で最も**少子高齢化**が進んだ国で、《世界のどの国も経験したことのない**高齢社会**を迎えている》（内閣府『高齢社会白書』平成25年）と言われています。平成62年（2050年）には、65歳以上の高齢者が人口の約４割を占め、高齢者１人を1.3人で支える**超高齢社会**になると推計されてもいます。日本は、経済の繁栄や**医学・医療**の向上により、**平均寿命・平均健康寿命**が世界で最も高い国になりましたが、それと共に、**要介護高齢者**人口も増大しました。介護のための時間・人手の不足や仕事-家庭の両立の困難、**核家族**化による祖父母世代との別居や高齢者のみ世帯の増加、地域社会における**相互扶助**の希薄化等の要因が複合的に絡み合い、伝統的に**家族**が行ってきた高齢者の介護が困難になりました。そのため、日本は、平成12年（2000年）に**介護保険**を創設し、家族・行政・地域社会の協力による介護という政策への転換を図りました。

▼ 日本で学び働くことの意義

日本は近年、留学生の間でますます人気が高まり、魅力ある国になっています。日本にいる留学生の数は平成27年度、20万人を超えました。日本政府は、その数を平成32年（2020年）までに30万人に増やしたいと考えています。そして、日本に留学する理由として、次のような利点が挙げられています。

日本には、素晴らしい**教育制度**があります。日本の教育機関で知識や理論を学習したり技術を習得したりすることは、将来の**職業選択**において大きな長所になります。**日本語**を学び、日本の先進的な知識・技術を身に付けることで、高い学位を取得できたり有用な人材として承認されたりします。日本語学校を修了し、**高等教育機関**に進学して卒業すれば、日本の企業でも高い職種に就ける可能性が広がります。日本は現在、世界第３位の経済水準で、**就職**市場も充実しています。日本で就職すれば、自国より高い収入を得ることも期待できます。仮に日本での留学・就業後に自国に戻ったり他国に移ったりしても、日本で経験したことや習得した知識・技術は、その国の将来性ある企業や業界で高く評価されるはずです。その点でも、日本語や日本での経験は、多くの扉を開いてくれます。そして、日本政府は、留学生が増えることを強く望んでいます。今がまさに、日本で学ぶべき時です。

留学・就職によって日本で生活すれば、日本の魅力ある豊かな**文化**に多く触れられます。産業技術面でも日本は先進的かつ創造的で、それは、日本語を学ぶことで、より深く理解できるようになります。

日本は世界で最も**治安**がよい国の一つと言われ、実際に住民の殆どが安全な生活を営んでいます。人気のない深夜でも普通に通りを歩く人や、店に財布を忘れても取り戻せる場合が少なくありません。その他にも、充実した**医療機関**や**交通システム**、新鮮で健康的な食材や**料理**、**清潔**な施設や居住空間、品揃え豊富な店等、様々な環境が整っています。

このような日本で就職すれば、まず、仕事を通して日本の先進的な技術や洗練された製品・サービス等に触れることができ、それがその人の**職業人**としての成長を促します。そして、それ以上に有意義なことは、仕事を通して**日本人の仕事の仕方や職業意識**を学べることです。これについて、日本で留学・就業した後に母国に戻って起業したベトナム人若手社長が象徴的に次のように言っています――「〈個〉では、日本人よりベトナム人の方が優れている。しかし、〈**チーム**〉になると、日本人はベトナム人の〈個〉を圧倒的に凌ぐ。日本人から〈**“和”の心**〉〈**団結**〉〈**仕事への姿勢**〉等を学ぶことは、ベトナム人にとって大きな成長に繋がる」と。自信と誇りに溢れる彼がそこで伝えたかったことは、日本の文化や意識・姿勢から学べたことに日本留学・就職の意義があったということです。そして、近年、彼のように意欲的に日本で学ぼうとするベトナム人が増えています。

1.2　留学生の学びと職業キャリア――日本での学習・就業で大切なことを知る

▼ 日本での学習で大切なこと

日本での学習から得られるもの

日本で学ぶことの重要な要素に異文化体験があります。アメリカの政治学者サミュエル・ハンチントンが『文明の衝突』で記したように、日本は長い歴史のなかで独自の文明を築いてきました。古代には中国の影響を受けながら、東南アジアの文化も吸収しました。中世になると西洋の文化を少しずつ受け入れ、近代に入ってからはヨーロッパ文化、現代にはアメリカ文化の影響を強く受けました。

こうして異国の文化を取り入れながらも、やがては和風にアレンジして日本文化にしてきたのです。

また、世界の先進文化を学びつつ、伝統文化を大切に活かし続けるのも日本の特徴です。例えば超高層ビル建築を進歩させる一方で、古くからある神社建築を残しています。この高床建築は南方から伝わったとされる様式で、縄文時代から続いていますが、現代でも宮大工とよばれる職人たちが古代の様式を再現することができます。衣食住に限らず、祭り、芸術等、幅広い分野にわたって貫いている日本文化の特徴です。その上で、日本人の礼儀、秩序、親切、思いやり、おもてなし等に接し、異文化体験をして自身の成長につなげることができます。

日本の専門教育はこうした文化を背景にして成り立っています。専門知識や技術を学ぶ際に意識するだけでも奥行きの深い理解が可能となります。

日本の専門教育・職業教育の優位性

日本で専門教育を行う専修学校が学校教育法により制度化されたのは昭和50年（1975年）のことです。公的な専修学校となってから、すでに40年を超える歴史があり、多くの有用な人材を社会に送り出してきました。平成26年（2014年）の高等学校卒業者のうち、専修学校専門課程へ進学した学生の比率は13.4%となっており、就職者の10.2%を上回っています。学校教育法による基準を満たしていることから、職業教育の専門機関として社会的に高い評価を受けており、企業による修了者の採用実績が進学率に現れているということができます。

また、グローバル社会の発展に寄与するため、留学生の受け入れを積極的に行っており、経験と改善を積み上げてきました。こうした経緯から、留学生への教育経験をもった教員も多数配置されており、その一人ひとりが日本で技術を学んで欲しいという熱意をもっています。アジア地域を中心に多くの留学生が日本の専修学校専門課程で学び、卒業後は日本だけではなく出身国に帰って就職しています。

日本語を学ぶことの必要性・難しさ・楽しさ

日本で教育を受けるためには日本語を習得する必要があります。教科書が日本語で書かれてお

り、授業も日本語で行うからです。そのため、留学生を送り出す各国には日本語で専門教育を受けるための準備としての教育機関があります。同時に日本でも専門教育をうける前段階としての日本語教育に力を入れており、数多くの日本語教育機関が存在します。ただし、介護をはじめとして専門分野ごとに必要な日本語があるため、日常会話だけでは不十分との認識から、専門性を重視した日本語教育のプログラム開発を進めています。

また、日本語は日常会話においても「端」「箸」「橋」など同音異義語が多くあり、漢字に音読みと訓読みがあるほか、敬語の使用法が複雑で習得が難しいとされます。漢字文化圏ではない国の人は漢字を覚える困難が加わります。

一方、日本では古くから詩的な表現を好む傾向があます。古代に『万葉集』がまとめられて以降、天皇の命による勅撰和歌集が数多く編纂されました。天皇をはじめとする貴族から武士や庶民まで、詩歌に親しんできたのです。現代でも和歌、俳句、川柳などとして受継がれています。このような表現形式に用いられる叙情的な表現が豊富にありますので、これらを学ぶことによって論理だけでは説明しきれない、日本人の心を感じ取ることができます。

▼ 日本での就業で大切なこと

日本での就業から得られるもの

現代の日本では大きな産業のくくりで、それぞれに特徴があります。一次産業の農業では高品質、高付加価値を目指した商品作物の栽培が盛んです。研究熱心な農民を篤農家と称しますが、米をはじめとして林檎やメロン等の果物でも研究を重ねて高級品をつくり、海外へ輸出できるまでになりました。低価格の農作物は広大な平野をもつ国と競争しても勝てませんので、高価格の農作物に狙いをしぼって成功した農家が数多くあります。

二次産業の工業では「細部へのこだわり」を強みとして高性能を追求するほか、「自分たちにしかできない技術」をあみだして国際競争力を獲得しています。特に部品産業では独自技術を持つ中小零細企業が活躍しており、国際的な巨大企業だけに依存しない産業構造をもっています。

三次産業の商業では「おもてなし」の伝統を活かし、顧客満足度の向上を目指しています。近年ではコンビニやスーパーなどが国内で激烈な競争をくりひろげており、サービスや効率がよくなっています。コンビニは海外へも進出しており「日本式サービス」のよさが認められるようになりました。

このように、それぞれの産業で状況は異なりますが、共通しているのは「あきらめない」企業が勝ち残っていることです。業績の悪さを外部環境のせいにする企業は淘汰され、あきらめずに改善やイノベーションを続けた企業が成長しています。日本の企業に就職して得られる財産は多

様ですが、あきらめず困難に立ち向かう姿勢が最も重要なことの一つです。

日本人の職業観と働き方

日本の産業に大きな影響を与えているのが、日本人の職業観です。そのなかで象徴的な例をあげるとすれば「勤労を尊ぶ精神」があります。日本には働くことが神から与えられた罰という観念はありません。皇室の祖霊神である天照大神は自ら養蚕を行う等しており、働く神様です。今上天皇も憲法で定める国事行為だけではなく、皇居の水田で田植や刈り取りを行います。

こうした背景もあって、多くの日本人は勤勉であり、定年後も働く意欲を失いません。男性では60歳代前半では70%、60歳代後半で47%の人が仕事に就いています。定年後も極端に生活レベルを落としたくないという経済的な動機も含め、働く機会を求めます。

また、日本人の働き方についても特徴があります。世界的によく知られており、どのような職業にも共通するのは「整理、整頓、清潔」を重んじることです。整理は無駄な物を処分して整えること、整頓は散らばっている物を正しい位置に戻して整えること、清潔は床に油等がこぼれていたら気づいた者が拭き取って奇麗にすることです。安全と効率を追求するための基本姿勢であり、仕事場を乱雑にすると注意されます。

もう一つ、際立った特徴として協調性をあげることができます。日本人はチームワークを重視しますので、協調性のない人間は嫌われる傾向があります。古代から「和」を重んじる伝統があり、集団による協力と秩序が大切な水田稲作では特に重視されました。水田稲作は千年以上にわたって日本の基幹産業だったのです。近世の人口のうち85%が農民とされ、近代に労働者となった人々の大半は農民出身者ですから、日本人のチームワークに対する思い入れは強固です。入社試験でも協調性の無い人はとても不利です。高度な専門能力は社内研修で教育できますが、自分勝手な人を協調性のある人に教育するのは困難と考えているからです。これは日本で就職活動に取り組む際のポイントでもあります。

日本で学んだことを職業に活かす

日本の職業観や働き方等、一般的な企業風土に合わない人は例外となる企業を探すか、故国に帰って就職することになります。実際、日本に留学して学び、自分が生まれ育った国で就職した人は数多くいます。その場合でも日本で学んだ知識や技術は役に立ちます。世界でも先進的なレベルに達していますので、異文化体験も含めて祖国の発展に寄与できるはずです。

その場合に大切なのは社会環境の違いを認識し、日本で学んだことの全てを絶対視しないことです。たとえば、人権に対する社会常識は国によって異なりますので、日本のような人権を重んじる介護技術がどの国にでもあてはまるわけではありません。そうした違いを客観的に把握した

上で、活用できる知識や技術と、そうではないものの違いを判断する必要があります。

また、自国の方法と日本の方法のよいところを取り入れ、自分流の方法をあみ出せる人は自ら起業し独立する方法もあります。この場合には、まず日本で就職して実践的な技能を身につけ、その後に起業すると効果的です。学校で習ったことと、実際の現場は必ずしも一致しませんので、最低でも３～５年は実務経験が必要です。その上で起業する国を選べばいいのです。

自国で就職する場合でも日本で実務経験を積んでいた方が有利に働くと考えられます。文化の多様性を身を以て学べるからです。このように留学して学ぶことは将来の職業について、選択肢を増やすことにつながります。

2　介護分野 職業理解

2.1　介護職とは何か――介護職の役割･意義と職種を知る

▼ 介護の社会化

日本は現在、**超高齢社会**を迎えています。昭和45年（1970年）に7.1％であった65歳以上の**高齢者**人口が平成25年（2013年）に25.1％を超え（４人に１人が高齢者になり）、平成62年（2050年）に38.8％になると予測されています。これは、世界に類を見ない**高齢化**率です。そのような状況の下、高齢者は、出来る限り健康な状態で生活を送り続けられるよう、積極的な社会参加を図って活動性を高めることが大切です。また、介護が必要になった場合も、公的サービス等を適切に組み合せることで、個人の**尊厳**を保持しながら、**自立**した生活を送れることが理想です。そのため、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組として、平成12年（2000年）から**介護保険制度**が開始されました。この制度は、**要介護**・要支援高齢者がその能力に応じて自立した生活を営めるよう、必要な保健医療・**介護サービス**等を提供することが目的です。特に介護サービスには、居宅で生活する高齢者のための**居宅サービス**の他、居宅生活が困難な高齢者のための**施設サービス**があります。

▼ 介護職の仕事

介護福祉士養成課程を修了し、介護保険制度に基づく介護サービスに従事する場合、その各種サービスの提供の基本的な目的は、高齢者の**自立支援**です。その際、要介護・要支援状態の改善または重度化予防および遅延化を目指す介護予防が重要です。また、介護サービスを利用する高齢者の多くが医療サービスも必要とするため、**介護職**には医療等の他職種との**連携**が不可欠です。

以上を踏まえた上で、介護職は、介護サービス利用者の尊厳を守り、その人らしい生活の営みを支援する**専門職**です。そして、**人に関わる職業**であるため、介護の知識・技術だけでなく、利用者の心身状態に伴う様々な要望等への対応が求められる職業でもあります。しかし、要求があれば何にも対応する“便利屋”ではありません。利用者がサービスを適切に利用できるよう、**公平・中立**かつ**公正**な立場で必要な情報を提供し、相互の**信頼**と**約束**の上で**専門性**を持ってサービスを提供するのが介護職です。したがって、介護職として社会から信用され、専門職として利用者から信頼されるためには、**プロフェッショナル**としての高い**誇り**と**倫理観**を持って日々の介護現場に臨まねばなりません。

▼ 介護職の職場

介護保険制度に基づく介護サービスには、様々な種類があります。ただし、養成課程修了者がまず勤める先は、殆どの場合、〈居宅サービス〉〈施設サービス〉〈**地域密着型サービス**〉のいずれかです。

まず、居宅サービスは、**訪問介護**（所謂「**ホームヘルプサービス**」）等に代表されます。訪問介護は、介護職が利用者の居宅を訪問し、そこで**入浴・排泄・食事**の**介助**等の**身体介護**や、**生活援助**による日常生活の介助を行うサービスです。

次に、施設サービスは、**介護老人福祉施設・介護老人保健施設**等で行うサービスです。介護老人福祉施設は所謂「**特別養護老人ホーム**」で、そこでは、居宅での介護が困難な利用者に、介護を含む食事・入浴等の日常サービスを提供します。介護老人保健施設は高齢者の自立を支援する施設で、そこでは、医師の管理の下、看護・介護の**ケア**や食事・入浴等の日常サービスだけでなく、在宅復帰を目指すため**リハビリテーション**等の医療サービスも提供します。

そして、地域密着型サービスは、**認知症対応型共同生活介護**（所謂「**グループホーム**」）や**小規模多機能型居宅介護**等に代表されます。グループホームは、家庭的な雰囲気の下、要介護の**認知症**患者に必要な介護・**機能訓練**や日常生活の介助等を行う施設です。小規模多機能型居宅介護は、「通い」を基本にした上で、利用者の希望に応じて随時「訪問」「泊り」等を組み合せて利用できるサービスです。

▼ 介護に関わる職種

利用者における多種多様な課題を解決するためには、彼らの生活全体を把握せねばなりません。そのため、多職種が**協働**し、各職が専門的視点から情報収集や課題分析を行った上で、介護・支援の目標や方針を**共有**し、各々の特性を活かして補い合いながら、総合的な援助を行います。つまり、利用者に効果的なサービスを提供するためには、**多職種連携**が不可欠です。

多職種が連携・協働して利用者の生活を支援するためには、各職が他の職種の専門性を理解しておくことが前提です。誰が何を行えるかを知らねば、誰と連携すればよいか、誰にどのような助言を求めればよいかを判断できません。したがって、多職種連携において介護に関わる主な職種とその役割を知っておく必要があります。具体的には、次の18の職種が介護に関わると言えます（これらについて、自分で調べてみましょう）。

介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士	保健師
看護師	医師	理学療法士	作業療法士
言語聴覚士	歯科医師・歯科衛生士	管理栄養士・栄養士	薬剤師
医療ソーシャルワーカー	介護支援専門員	サービス提供責任者	民生委員

▼ 介護職の役割

介護職は、利用者の最も近くにいて、その心身状態を熟知する立場にあります。したがって、介護サービス提供の他、多職種連携では、その情報等を他職種に伝達することが介護職の大きな役割の一つです。それに基づき、各職が専門的視点から意見交換等を行い、利用者の課題や目標を明確にします。

特に居宅サービスの提供では、**介護支援専門員**（**ケアマネジャー**）が中心になります。介護支援専門員は、利用者や家族の意向を聴取し、**居宅サービス計画**（**ケアプラン**）の原案を作成します。そして、そこに示された**サービス提供責任者**を招集し、利用者・家族と共にサービス担当者会議を設定します。この会議で計画原案が修正され、計画が決定されます。決定したケアプランに示された訪問（入浴）介護は、利用者の生活目標の達成に向け、サービス提供事業所単位で、訪問（入浴）介護計画を作成します。訪問介護事業所では、サービス提供責任者が計画を作成し、これに基づいて訪問介護員がサービス提供を行います。

例えば、ある日の訪問入浴介護サービス提供時、職員が利用者の身体に**褥瘡**（じょくそう）になるかもしれない**発赤**（ほっせき）を確認しました。訪問介護員は、それを即座に介護支援専門員に報告します。これを受けた介護支援専門員は、訪問看護事業所の責任者に連絡し、状況の把握を依頼します。訪問看護師が状況を確認し次第、サービス担当者会議を設定し、褥瘡予防に向けた取組について、各専門職の意見を求めます。医師の意見が必要な場合、利用者の主治医にも意見を求めます。栄養の見地から食事の内容や分量、除圧の見地からベッドに寝ている時間やマットレスの硬さ等、利用者の生活状況を多角的に把握し、多職種連携で事態改善を目指します。

このように、介護を巡る連携には、同事業者内での連携と他事業者との連携、そして同職種連携と多職種連携があります。さらに重要なことは、上記の例の場合、訪問入浴介護担当者が発赤を確認して即座に介護支援専門員に報告したことです。つまり、多職種連携で最も重要なことは、各職種が独自の判断で勝手に動かない、また、利用者に関する新たな発見を自分の範囲内だけに囲い込まないということです。すなわち、多職種で情報を共有することこそ、総合的予防的介護の実践を可能にするのです。

繰り返して言えば、介護職は、利用者の最も近くにいてその心身状態を熟知する立場にありま

す。そして、利用者の変化など気づいた点等があれば、それを他職種に発信して多職種連携の起点になるのも介護職です。このことを常に意識しておくことが、介護職にとって大切です。

2.2　介護業界の最新動向――社会の動きと介護業界の動向を知る

▼ 介護を巡る社会の動き

日本における社会の高齢化――経緯と現状

2.1で見たように、現在の日本は高齢化社会を迎えています。昭和25年（1950年）に4.9%であった65歳以上の高齢者人口が、平成25年（2013年）に25%を超えました。63年間で５倍も増加し、日本人の4人に1人が高齢者となったのです。この傾向は今後も続き、平成47年（2035年）には33.4%になると予測されています。日本人の３人に１人が高齢者となるのです。

こうした状況の主要な要因としては平均寿命の伸びと、出生率の低下があげられます。

平均寿命は昭和25年に男性58歳、女性61.5歳でしたが、平成26年（2014年）には男性80.5歳、女性86.8歳となりました。男性が22.5歳、女性が25.3歳も長生きにするようになっています。いずれも世界トップレベルで、医療制度の充実、生活環境の改善、食生活の質的向上などが要因とされます。

一方、高齢者が増えるなか、子供の人口は減少しています。昭和22～24年（1947～1949年）に4.3を超えていた出生率が、平成25年に1.43まで下がりました。昭和50年（1975年）に2.0を下回って以降、一度も2.0を超えていません。これは１人の女性が生涯に生む子供の数を意味しており、2.0を下回ると子供の人口は減少し続けます。

この結果、少子高齢化社会となり、その状況は今後も続くと予測されています。

現代日本における高齢者・要介護者の実情

人は老化することによって心身が衰え、病気にかかりやすくなります。そのため、高齢者の増加により、介護が必要になる人も増加します。「要介護者又は要支援者」と認定された人数は平成13年（2001年）に287.7万人であったのが、平成24年（2012年）には545.7万人となりました。２倍近く増加しています。

また、こうした高齢者の介護を主に行っているのは６割以上が同居している家族で、内訳は配偶者が26.2%、子が21.8%、子の配偶者が11.2%です。性別では男性が31.3%、女性が68.7%であり女性が圧倒的に多数です。これは年老いた夫を、年老いた妻が介護していることをも意味しており、「老老介護」として社会問題になっています。

息子の嫁が介護を行う場合は仕事に支障をきたすことが多く、離職や転職を余儀なくされます。平成23年（2011年）10月から平成24年９月までの1年間で10万1100人が家族の介護や看護を理由として離職または転職しており、そのうち80.3%が女性です。

女性の社会進出が求められる中、介護はそれを阻害する要因となっているのが実情です。

▼ 介護業界の動向

多様な要介護者への対応

介護の負担を家族が担うことになる要因の一つとして、要介護者による「自宅で介護してほしい」という要望があります。「どこで介護を受けたいか」という質問に対し、男性の42.2%、女性の30.2%が「自宅」と答えており、最も多い割合になっています。続いて、「介護老人福祉施設」（男性18.3%・女性19.1%）、「病院などの医療機関」（男性16.7%・女性23.1%）、「介護老人保健施設」（男性11.3%・女性11.2%）の順になっています。

本人の希望を叶えてやりたいと思うのは家族の愛情ですが、要介護認定のレベルが高い場合は家族に大きな負担がかかります。要介護レベル５になると自力で食事や排泄ができず、認知症による徘徊なども加わると24時間つきっきりの介護になってしまいます。

一方、要支援レベルの軽い状況であっても、心身機能の悪化を予防する取り組みは欠かせません。訓練やリハビリによって、自立した生活を行えるようになることもあります。

こうした背景から、介護を家族の問題として限定するのではなく、社会全体で対応する必要性が理解されるようになりました。その結果、高齢者個々の事情を勘案し、多様なニーズに応えられる施設の設置を進めています。

各種介護施設ニーズ

高齢者に対する介護サービスは大きく３つに分けることができます。

一つは介護保険を利用した居宅サービスです。もっともニーズの高い自宅での介護を実現するため、複数のタイプがあります。介護職が必要に応じて自宅を訪れる訪問サービス、自宅から日帰りで施設へ通う通所サービス、自宅での生活を基本としながら数日から30日以内だけ施設に宿泊する短期入所サービス等があります。

二つ目は介護保険を利用した施設サービスです。要介護状態になった高齢者が自宅を離れて施設に入所し、支援や介護等を受けながら日々の生活を過ごします。介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等が代表的です。入所者の在宅復帰を目標にサービスを行う施設のほか、一生涯を過ごすことが前提の施設もあります。

三つ目は介護保険を利用しないサービスです。全額を自己負担し、自分が求める支援を可能な限り自由に選択するもので、主要には保険適用外のサービスを受けます。サービスの範囲はとても広く、代行業務としてはペットの散歩、自動車の洗車、寝具乾燥、ハウスクリーニング、庭の手入れ、墓の掃除、日曜大工、役所への申請、各種修理など多様です。ほかに、健康カウンセリング、旅行付き添い、コンシェルジュ業務などもあります。

地域包括ケアシステム

介護問題には団塊の世代による動向と、地域差もあります。日本の人口構成で最も人数の多い団塊の世代が、平成37年（2025年）から75歳以上となります。およそ800万人を数えますので、介護の需要が一層増加すると想定されています。また、大都市部では総人口が横ばいで75歳以上の人口が急激に増加する特徴があり、地方の町村部では総人口が減少するなかで75歳以上の人口が緩やかに増加するなど、高齢化の現象は地域ごとに特徴があり同一ではありません。

このため厚生労働省では高齢者の尊厳保持と自立生活支援をめざし、地域包括ケアシステムを推進しています。その内容は長年住み慣れた地域で、自分らしい暮しを続けられるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制を構築することです。中学校区くらいの範囲を設定し、そのなかで「介護、医療、予防」という専門的なサービスと個々人の事情に対応した生活支援などを結びつけ、家族に過度な負担がかからないようにしながら、在宅生活を可能とするのが目標です。

介護人材の需給事情

以上のように高齢者の介護問題への対応は進んでいますが、それを実現するには介護職等の人材育成が欠かせません。平成27年（2015年）に厚生労働省が発表した介護人材の需給推計によれば、平成37年に必要となる介護人材は253万人なのに対して、現状の推移による供給見込みは215.2万人となっており、およそ38万人の不足が指摘されています。

平成12年（2000年）に55万人であった介護職員数は平成17年（2005年）に100万人を超え、平成25年には171万人に達しているのですから、急激な伸びを示しているのですが、それでも不足するとの予測です。

外国人介護人材のニーズと活用

このような予測から介護人材の新たなる確保が緊急の課題となっています。その解決策の一つが外国人の活用で、受け入れのための環境整備が勧められています。平成28年（2016年）公布の「技能実習制度適正化法案」では技能実習の適正な実施と技能実習生の保護を図るため、監理団体を許可制とし、技能実習生に対する人権侵害行為などへの禁止規定を設け、違反には罰則が規定されました。

また同年に「出入国管理及び難民認定法」（入管法）を改正し、在留資格が得られる高度専門職に「介護」を加えました。これまでは経済連携協定（EPA）による受け入れなど狭い範囲に限られていましたが、法改正によって窓口が拡大します。

EPAによる実績でも平成27年までに累積2106名の受け入れが実現しており、介護福祉士候補者の合格率は平成23年（2011年）の37.9%から、平成26年の44.8%へと上昇しています。今後は環境整備の成果をいかし、さらなる有資格者の増員が期待されています。

3　介護分野 職業意識

3.1　介護人材の職業意識①――組織・社会の一員としての介護人材の心構えを学ぶ

▼ 社会的責任を担う介護職の心構え

社会における専門職の倫理と規範

人類が生きるための手段は狩猟採集から始まって、農林漁業等の一次産業、工業中心の二次産業、商業や金融等の三次産業へと拡大してきました。互いに協力し合って役割を果たし、生産性を高めるために社会的分業が進んだ結果です。それぞれに属する職業も分業が進み、専門性を高めてきました。近年は情報産業の発達により、あらゆる業務が情報化し、働く人々にはより複雑で高い専門性が求められるようになっています。

そのため、「読み書き算盤」等の基礎能力を学べばよい時代は終わり、高度な専門教育を長期間受けてから社会人となる時代になりました。現代の日本では国家資格だけで約300種類あり、多くの職業人が専門職となっています。

こうして誕生した専門職は一般の人が知らない知識や実行できない技術をもっているほか、特別な権限も与えられています。例えば、警察官であれば法律の知識があり、格闘術を身につけているほか、容疑者を逮捕する権限が与えられています。悪用すれば罪のない人を逮捕して留置することが不可能ではありません。そのため「警察職員の職務倫理及び服務に関する規則」を定めており、〈誇りと使命感を持って国家と国民に奉仕する〉〈人権を尊重し公正かつ親切に職務を執行する〉等が明記されています。

介護職に規定されている倫理

介護職はどうでしょうか。介護人材が専門職として成立したのは比較的近年のことです。「社会福祉士及び介護福祉士法」の制定が昭和62年（1987年）ですから、まだ30年くらいしか経っていません。それ以前の介護は主に家族が行っており、病気が重くなったときは病院に入院しました。高度成長期の日本は夫婦と親が別居する核家族化が進んでいたものの、まだ三世代家族が少なからず残っており、専業主婦も多かったため深刻な社会問題にはなりませんでした。「老いては子に従え」ということわざが示すように、一般家庭の高齢者はあまり自己主張をしなかったことも幸いしました。

しかし、核家族化がさらに進み、女性の社会進出が奨励されるにいたって、介護による家族の負担が重くなってゆきます。加えて、「世間並み」を重視する社会から、「個性」を重視する社会

に変わったこともあり、高齢者の個性を尊重することが求められるようになりました。自分らしく生きることの尊厳が大切になったのです。

こうなると介護の役割は複雑で高度になります。心身が老いた状態でも自分らしく生きられ、屈辱を感じずに生活するための支援や介護は簡単ではありません。高齢者の人権を尊重する倫理観が求められるようになりました。

日本介護福祉士会倫理綱領

介護福祉士の倫理をまとめた文書に「日本介護福祉士会倫理綱領」(1995年11月17日宣言）があります。その前文では「私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、住み慣れた地域において安心して老いることができ、そして暮らし続けていくことのできる社会の実現を願っています」とし、続けて介護福祉の専門職として最善の介護福祉サービスの提供に努めることを宣言しています。

綱領の内容には以下の項目があります。

1　利用者本位、自立支援
2　専門的サービスの提供
3　プライバシーの保護
4　総合的サービスの提供と積極的な連携、協力
5　利用者ニーズの代弁
6　地域福祉の推進
7　後継者の育成

そして、これらの項目の言外には、次のような意味が込められています。

○ 利用者の人としての尊厳を大切にする
○ 利用者が自己決定できるように支援する
○ 利用者が望む福祉サービスを把握する
○ 介護の質の向上に努める

▼ チームケアにおける介護職の心構え

チームケアである介護サービスと、チームケアにおける介護職と他職種の関係

高齢者介護も他の職業と同じように分業が進んでおり、さまざまな専門職が協力してチームケアを行うようになりました。介護職の他に、介護保険法に基づいて支援や介護の計画を立てる介護支援専門員（ケアマネジャー)、医療に関わる医師や看護師、リハビリテーションの専門職、社会

福祉に関する相談援助を行う社会福祉士（ソーシャルワーカー）等が協力します。

例えば、ケアマネジャーの計画にそって在宅の介護サービスが行われるなか、介護職が要介護者（利用者）の体調の変化に気づいたとします。介護職は変化の内容を具体的に看護師に伝え、看護師は医師に報告して指示を仰ぎます。その結果、必要に応じた医療を行い、自宅で療養する場合は介護職が生活の支援や介護を行います。こうしたプロセスで福祉サービスに関連する助言や指導を行うのがソーシャルワーカーです。他にも栄養士等さまざまな専門職が協力しあって支援・介護は成り立っています。

以上のようなチームケアのなかで、介護職は要介護者の一番身近にいる専門職です。注意深く観察し、関係者との情報共有や連携を重視するとともに、要介護者の個性や人としての尊厳を尊重して生活支援や介護を行う心構えが求められます。

チームケアにおける介護職間の関係と意識ポイント

介護職はさまざまな専門職と連携すると同時に、同じ介護職同士がチームを組むことがあります。毎日24時間、一年365日の介護が必要な場合は一人で担当することができません。複数の介護職が連携して業務を行うことになりますが、要介護者の一番身近にいる専門職だけに課題がたくさん生じます。

そのため、基本的な知識や技術はチーム全員が共通して身につけていなければなりません。あまりにも未熟な人がチームメンバーにいると、担当する者によって支援や介護のレベルが違い過ぎて要介護者の不満につながります。たとえば要介護者の要望や意見を聞くという基本ができているチームのなかに、聞く耳をもたず自分の考えを押し付けるメンバーがいたのでは現場が混乱します。

また同レベルの知識や技術をもっていても、情報共有や連携ができていないと、支援や介護内容が一貫せず要介護者に多大なストレスをかけてしまいます。したがって、チームケアでは介護職同士のチームワークがとても重要になります。

チームワークやチームアプローチで大切なこと

良好なチームワークを保つためには、いくつかのポイントがあります。そのなかで最も重要なのは目的をチーム内で共有することです。何のために行い、何を達成するのかについて明確にし、互いに理解できるまで話し合う必要があります。次に各メンバーの業務範囲と責任を定めます。ここでは各メンバーの専門性に敬意をはらわなければなりません。専門外のことに介入するとトラブルが起きやすくなります。

また、チームであるかぎり共通のルールは必要ですが、あまり細かく決めると覚えられずに形

骸化する恐れがあります。大切なことを最小限にとどめると効果的です。

この他、コミュニケーションのシステムを決めておくことも重要です。長年続いているチームであれば経験により解決できますが、新たにチームを組む場合は明確にしない限りコミュニケーションがスムーズにいきません。根本的なことを話し合う機会、引き継ぎ等情報共有を行う機会、メンバー間のトラブル処理を行う機会など、話し合う機会を定めて円滑なコミュニケーションを実現する必要があります。とくに、方針や方法などに変更がでた場合は素早く正確な情報共有が求められますので、コミュニケーションの環境整備は欠くことができません。

チームアプローチや多職種連携の長所と短所

分業が発達している現代社会では役割が細分化し、高度に専門化しています。そのため、支援や介護でも多くの専門家がかかわって対応にあたります。前述のような専門職が個々の役割をはたして目的を達成します。

ただし、これらの専門家がバラバラに活動すると効率が悪く、期待する結果も得ることができません。情報が共有できず、連携も行われないからです。そこで、多職種が連携するチームアプローチが重視されるようになっています。情報共有をシステム化することで要介護者の情報を逐一収集する必要がなくなり、専門職同士での連携もスムーズになって効果が高まります。異なる専門職と密接に意思疎通を図ることで、視野が広がりサービスの質的向上も期待できます。

一方、前提である情報共有や連携が機能しないと、チームアプローチの意味がなくなり要介護者の生活向上につながりません。専門職同士が互いに信頼し合い、アドバイスや指示を尊重することが大切です。

3.2　介護人材の職業意識――個人としての介護人材の心構えを学ぶ

▼ 専門職としての介護職の心構え

専門職と言われる職業人は、一般人にない専門的な知識・技術を持ちます。そのため、それを悪用すれば、社会や人々に対するその影響は非常に大きなものになります。したがって、専門職業人は、その知識・技術を悪用せず、善用することが社会から求められます。

そして、介護職の場合も、その立場を利用して**虐待**（ぎゃくたい）等を行うことは当然、人の生命・生活を脅（おびや）かすことであり、それによって社会からの**信用**を失います。

介護職は、各サービス利用者のその人らしい生活の実現に向け、その生活課題と解決方法を利用者と共に見出し、彼らの生活を支援する専門職です。つまり、援助が必要な人に対し、その人

の人間としての尊厳を保持しながら、彼らが自立した生活を送れるように支援する立場にあるのです。

しかし、その介護職も時に、利用者に接する様々な局面において、難しい判断・行動を求められることがあります。そのような場合、介護職として守るべき**規定**や公平・公正・**正義**等に照らして**自律**的であること、すなわち自分の行動を律することが大切です。そのような行動を各介護職員が心掛けることで、介護職は、社会の期待に応えうる職業として、その地位や評価を確立できるようになります。いずれにせよ、介護職は、人の生命・生活に大きく関与し、利用者の人生に大きな影響力を持つ職業であることを自覚せねばなりません。

▼ 対人サービス業としての介護職の心構え

数ある専門職の中でも介護職の特徴の一つは、サービス利用者に直接的に関わる頻度と密度が非常に高いということです。それは、代表的な“士業”である弁護士・建築士等と比較すれば明らかであり、同じ医療・福祉系排泄等の介助局面において、利用者は、言葉にできないほどの恥ずかしい思いを抱いているかもしれません。そこで、介護者は、サービス提供の際、そのようなことを充分に想像した上で、配慮やケアを施す必要があります。介護職は、そういう**対人サービス業**です。

また、人を対象にするサービス業である介護職にある者は、利用者の悪口を絶対に言ってはなりません。これは、介護職の最も大切な心構えの一つです。人は誰にも長所と短所があります。したがって、介護者は、利用者の長所を積極的に評価する一方で、短所はその理由や原因を探って確認することを心掛けるべきです。いずれにせよ、介護職にある者は、高い密度で頻繁に接する利用者を心から「大切な人」と感じられるような関わり方や接し方が出来るよう、自分の行動を律する必要があります。つまり、援助を必要とする人の生活を支援する介護職の仕事は、その専門的な知識・技術は言うまでもなく、**人間としての高い倫理性**が求められる仕事と言えるのです。

▼ 利用者本位の介護サービス提供における介護職の心構え

介護サービスは今日、その利用者が選択を行う**利用者本位**の制度になりました。サービス利用者が新たな世代の高齢者に移行してきたことで、サービス利用に関する利用者の権利意識が強くなってきたからです。契約に拠(よ)るサービス利用では、**利用者保護**の観点も重要で、利用者が各サービスを適切に利用できるような**情報提供**、利用者の**権利擁護(ようご)**、サービスの第三者評価等が重視されるようになりました。特に情報提供では、介護職も情報提供者になりうるため、公平・中立の立場に立った上で、必要な情報を解り易く提供することが大切です。それと共に、介護職は、

施設・居宅を問わず、利用者や家族の情報を知りうる立場にあります。そこで最も重要なことは、**プライバシー保護**の観点で、介護者やサービス提供事業者は、業務内で知り得た情報や家族の事情等を口外してはならないということです。

介護サービスは、利用者や家族との信頼関係を構築しながら行われるものです。その過程で、介護職は、何をするべきか、どうあるべきか等の判断に基づいた行動が求められます。その判断基準になるのが公平・公正・正義等の**職業倫理**です。介護サービスは利用者や家族のために行われるものであり、サービス提供者はその責任を負わねばならない立場にあります。したがって、介護職にある者は常に、そのことを意識しておかねばなりません。

また、利用者本位の介護サービスを提供するためには、利用者の**自己決定を尊重**することが何より大切です。しかし、実際の介護サービス提供の場面では、介護者主導になることが多々あります。例えば、食事時間が終ったからといって本人の意思を確認せずにまだ食べ終えていない利用者の膳を下げたり、着替の際に本人に服を選択させずに利用者の好みでない服を着せたり等、介護者側の一方通行的なサービスも見受けられます。

施設であれ居宅であれ、生活の主体はあくまで利用者です。そして、各利用者の生活習慣や生活形態は様々です。したがって、介護者は、そのことを念頭に置いた上で、利用者の**ニーズ**に合った介護サービスを提供することが大切です。そのためにも、個々の**アセスメント**を充分に把握し、その**介護過程**を踏まえて介護することが重要です。いかなる生活を送りたいかを決めるのは利用者であり、介護者はあくまで、その利用者の生活を支援する立場です。したがって、日々の介護の様々な場面で、利用者の自己決定を待つことが肝要です。それが、**人権を尊重**した介護に繋がります。

▼ 介護職の自己管理に関する心構え

介護という仕事は**対人援助**が基本であるため、介護職自身の**健康状態**は、介護サービスの質の維持と向上にとって重要です。介護職が健康な心身状態にあれば、利用者に安心感を与え、質の高いサービスを提供できます。しかし、健康を害していれば、サービスの質は低下し、事故に繋がる危険性も生じます。したがって、介護職自身が健康な心身状態を維持することは、質の高い安心・安全なサービスを提供するために不可欠の条件です。

利用者には顔馴染(なじ)みの人の援助が望ましいのにも拘(かかわ)らず、介護者が頻繁に交替で対応するような事態は、クレームを招きかねません。それと同時に、事業所という組織でも、**健康管理**が不充分で仕事を休みがちな職員はあてにできず、周囲に迷惑を掛けることになります。また、利用者への**献身**的な介護の末、利用者の死に直面して無力感や脱力感に覆(おお)われ、**燃え尽き症候群**に陥(おちい)る

介護職員もいます。そこまで行かなくても、勤務時間外にも利用者の様子等が気に掛ってしまい、心が休まらないという介護職員は少なくありません。このように、介護職は、身体的疲労だけでなく、精神的疲労も蓄積し易い職業と言えます。

ある種の病には心因的なものもあることはよく知られます。例えば、ストレスが大きいと風邪(かぜ)等を引き易い、心臓病になり易い性格や行動があるなどとよく言われます。つまり、精神的に弱くなると肉体的にも状態が悪化し、肉体的な健康障碍があると精神的にも衰弱することがあるのです。したがって、介護職は普段から、心身の健康を維持・増進しておく必要があります。

自身の健康を自分で管理して職務に臨むことは、職業人としての最低限のマナーであり、職業倫理です。健康管理は、具体的に、まず、必要な**栄養・睡眠・休養**を充分に摂ることです。そして、定期的な**健康診断**を受け、自身の健康状態を把握しておくことです。そこで何か異常が発見された人は**治療**に専念し、治療まで行かなくても**経過観察**が必要な人は「自分は現在、健康な状態でない」と自覚することが大切です。

さらに、介護従事者は、**感染症**に関する理解も必要です。介護者は往々にして、介護対象者から、流行性結膜炎・流行性感冒等の思わぬ病を移されることがあります。逆に、自分が利用者に病を移してしまうことがあるかもしれません。したがって、介護職にある者は、感染症に関する理解を深め、知識を増やし、自身が媒介(ばいかい)者にならないようにするという心構えを持たねばなりません。

4　介護分野 職業人コンピテンシー

4.1　介護人材に必要な能力①

――チームワークで働く介護人材が習得するべき能力を考える

▼ 介護職のコミュニケーション能力

多職種連携に必要なコミュニケーション能力

複数の専門職が連携して行動する場合、最も重要な要素の一つにコミュニケーションがあります。人と人による双方向の情報伝達です。

長年にわたって指揮命令系統が機能している会社組織等とは異なり、チームケアは案件ごとに組織を編成するプロジェクトです。そのため、安定したコミュニケーション・システムができ上がっていません。個人のコミュニケーション能力へ依存する割合が高いといえますので、積極的に学習する必要があります。

例えば組織行動をする場合のコミュニケーション能力に「報(ホウ)・連(レン)・相(ソウ)」があります。報告・連絡・相談を怠らずに実行するもので、チームケアでも必要です。

報告：　実行したことのプロセス、結果、自分の判断等を必要な相手に伝えること
連絡：　事実関係を必要な相手に対して正確に伝えること
相談：　自分で判断できないこと等を適切な相手に話して指示やアドバイスを受けること

いずれも相手が理解できるような内容と手段で伝えることが重要です。

報告手段としての介護記録・申し送り等の文書作成力

チームケアでは重要な連絡や報告を文書で行ったり、文書記録として保存します。医療機関のカルテと同様に必ず実行しなければなりません。当事者がいない時でも、何を行ったのかについて他の人も知ることが出来るからです。それによって、チームの連携、サービスの向上、リスク防止に役立つだけではなく、新人の教育訓練、介護研究、社会福祉向上などに貢献することができます。

様式があるものとしては、要介護者の氏名、年齢、性別、家族構成、健康状態、病歴などの基礎情報をまとめるフェイスシート、基礎情報に加え生活の現状、問題点、評価などを記述したアセスメントシート等があります。

一方、様式化し難い文書に、日々の経過を整理する介護記録があります。要介護者の状態、変

化、介護内容等を記述するもので、新人の頃に苦労する介護職も少なくありません。「いつ、どこで、誰が、何を、どうした、いかに」の5W1Hを踏まえ、事実を正確に記述することが大切です。

また、申し送りは一般に口頭で行う引き継ぎを指しますが、漏れや忘れを防ぐためノート等に記述することも少なくありません。夜に咳き込んでいたことを伝えずに、勤務シフトした介護職が寒い朝に散歩へ連れ出してしまい、風邪が悪化するということもあり得ます。わずかな兆候でも重要なことは見逃さないように観察して記録します。

▼ チームワークを強化する人間対応力

人間分析力

チームケアの実際で、よりチームワークを強化するには緊密なコミュニケーションが必要になります。そのため、自分自身をよく知ることと同時に相手をよく知ることが求められます。具体的には性格、考え方の傾向、長所、短所等を洞察し、どのようなタイプの人間なのかを知ることが基本です。

例えば、楽観的な人と心配性の人では物事の受け止め方が同じではありません。楽観的な人は少しくらいのトラブルであれば落ち込むこと無く前進する反面、小さなリスクを見逃してしまう可能性が高いと言えます。一方、心配性の人はトラブルが起きると立ち止まってしまう傾向がある反面、細かいことに気づきリスクを発見できる可能性が高いと言えます。したがって、楽観的な人が落ち込んでいる時は大きな問題を抱えている可能性がありますから、コミュニケーションを慎重にします。また、心配性の人がリスクを主張しているときは取るに足らない問題であると思っても、耳を傾けてあげるとコミュニケーションが円滑になります。

このように、人の言動には個性がありますので、表現された結果だけで判断するのではなく、何故そうしているかを考えて対応すると効果的です。

相手の希望・意向を即座に察知する力

チームケアの現場では忙しい専門職同士がコミュニケーションを行います。だらだらと長話をする余裕はありません。なるべく短時間で連絡や報告を行うことが求められますので、相手が何を望んでいるのか、どうしようとしているかを素早く理解できる能力が必要です。

この能力を身につけるには、言語の正しい認識力と共に、相手に対する共感力も大切です。人の意見を聞くとき、その相手に反感をもっていると否定的な反応が最初にでてしまいます。意見に間違いがないか、何らかの落ち度はないかと探してしまうのです。相手の話を途中でさえぎることさえあります。一方、相手に共感する心構えがあれば、最初にでてくるのは肯定的な反応で

す。意見の正しい部分を探し、真意はどこにあるのか、何を言おうとしているのかについて理解しようとします。何か問題点を指摘するにしても、肯定的な態度が前提にあれば相手も受け入れやすくなります。

このような共感の態度は心構えであるため、表面的にとりつくろっても上手にできません。目つき、顔の表情、声のトーン、身体の動きなど、さまざまなところに本心が出てしまいます。コミュニケーションにおいて、言葉の内容で伝わるのは10%未満とされており、大半は前述のような非言語コミュニケーションによって伝わります。たとえば「わかりました」という言葉を発しても、怒った表情で言った場合と、清々しい表情で言った場合では相手の受け止め方が全く異なります。したがって、心から共感すると同時に、非言語コミュニケーションに注意を払うことが大切です。

場の空気を読んで行動する力

チームワークをより強くするためには協調性も不可欠です。自分の利害や好みだけで我を張ってしまうと、連携が崩れ、サービスの品質を落としかねません。メンバーが感情を害してチームの空気を悪くすることもあります。自己主張をしているときにメンバーの表情が険しくなったときなどは、一呼吸おいて空気を読とチームワークがスムーズにいきます。

ただし、協調性とは相手の言うことに何でも従って、ひたすら迎合することではありません。自分と相手の意見が異なった場合は、最適な方法を見つけるために調整することがチームワークにおける協調性の重要な要素です。自分の正義を強引に押し通すのではなく、相手の間違いを頭ごなしに否定するのでもなく、チームとしての最適解を求めて調整することが原則です。

また、チームケアをプロジェクトと考えた場合、「時間、品質、費用」のバランスを考慮しなければなりません。この3要素は互いに影響し合っており、一般論としては時間を余分に使うと費用が上がり、時間を無理に短縮すると品質が下がるというような結果が生じます。最適解を探る時は検討課題として重要です。

4.2　介護人材に必要な能力

――専門職業人として日々の研鑽が必要な介護人材が習得するべき能力を考える

▼ 専門職としての介護職の視点

介護は、身体的・精神的な**機能低下**や**疾病**等によって**障碍**を抱える人の必要に応じ、入浴・排泄・食事・**移動**等の日常生活に欠かせない行為を援助することです。そして、人間が生きるために不可欠のそのような行為の支援を担うのが介護の専門職です。したがって、介護職は、施設介

護・居宅介護を問わず、まず介護に共通の専門性について充分に理解し、それに基づく介護専門職としての視点を持つ必要があります。

利用者-介護者の対等な関係

介護保険法・障害者自立支援法等に基づく介護サービスの利用は利用者の権利です。介護職は、そのような法制度に基づき、介護サービスを提供します。

利用者は、それまで当然であった日常生活の諸行為が自分で出来ずに援助を受けることになって自信を失い、苦痛を感じていることも少なくありません。このような利用者の立場や思いを無視し、介護者が指導的になったり、提供するサービスが一方的になったりすることがあってはなりません。また、利用者を介護する家族に対し、専門的知識に基づく効果的な援助の方法や介護技術を指導・助言することも介護職の仕事ですが、それも指示的になったり一方的になったりしないように注意する必要があります。

介護は、それを必要とする人と介護者の関わり合いから始まる対人援助です。**人格**を持つ人間を対象にする職業ですから、そこでは、利用者を人間として尊重せねばなりません。

利用者本位の支援

人は各々、人生観・生活感等、人間としての**価値観**が異なります。それは、介護を必要とする人も同様で、その価値観は多様です。彼らは各々、これまで自分の人生を歩み、これからも自分の価値観を持って生活を送ります。つまり、各々が各々の人生の主役です。

介護職は、利用者がその人らしく自立して生きるための支援を行います。利用者の価値観を否定したり、自立を阻碍するような援助であったりしてはなりません。したがって、個別介護計画は、各利用者の状況に適合したものでなければならず、介護者が介護し易いことを目的にするようなものであってはなりません。つまり、利用者自身が望む生活の在り方をよく聴取し、介護計画を立案する必要があるのです。

利用者の生活の理解

介護職は、提供する介護サービスを通し、利用者が持つ能力を活かして自立した生活を送れるよう、**生活の質**（QOL: Quality Of Life）を高められるような援助を行います。そして、QOLを高めるためには、利用者の身体面だけでなく、生活全体を把握する必要があります。実際、利用者は、心身の機能低下により、自分の生活が見えなくなっていたり、新たな生活課題を言い出すことを躊躇（ちゅうちょ）したり、生活の変化を好まなかったりします。その結果、QOLが低下することもあります。

介護者は、食事・排泄等の直接的な介護サービスを提供するだけでなく、利用者の生活を豊かにすることが目標であることを自覚し、地域での生活（社会参加等）を含む利用者の生活全体を理解

することが求められます。そして、利用者保護の観点を充分に踏まえながら、利用者の情報を収集します。

チームケア（多職種連携）

職員集団が明確である施設介護では、その中での業務分担は当然あるものの、基本的に、介護支援専門員（ケアマネジャー）を中心とする**チーム**で連携しながら、利用者を支援します。その一方で、居宅介護、特に訪問介護の場合、利用者の居宅で１対１の介護サービスを提供することが多いため、介護職が自分一人で利用者を支援していると錯覚しがちになります。しかし、介護職が介護サービスを提供する時間は、利用者にとり、生活の一部でしかありません。それ以外の部分では、他の多くの人と関わっているはずです。複数のサービスを利用する利用者もいます。したがって、利用者の生活を支援する多職種が情報を交換・共有することで、その利用者の新たな生活課題や解決方法の発見に繋がり、総合的な個別援助が可能になるのです。

信頼関係の構築

介護関係は人と人の関係であり、そこでは心理的・精神的な関わり合いが非常に重要です。そして、介護は利用者の身体に接触する業務ですが、介護者は利用者との信頼関係を構築せずに彼の身体に触れられません。したがって、介護職は、その専門的知識・技術も含め、利用者から信頼される人間である必要があります。それと同時に、介護職は、法制度に基づく専門職であるため、社会からの信用を得る必要もあります。そのため、利用者の秘密の保持は言うまでもなく、言葉遣い・立ち振る舞い・態度等の援助専門職としての基本的姿勢や専門的知識・技術を習得し、信頼関係の構築に努めることが求められます。

科学的根拠に基づく介護の実践

介護は、経験や慣習で行うものでなく、観念的な視点や思考を理解しただけで成立するものでもありません。介護は、科学的根拠に基づく実践活動です。

介護活動では、利用者の生活課題を発見し、その課題の原因等を探るための情報を収集し、問題の根拠を想定します。それによって問題を把握できれば、生活目標を設定します。そして、目標達成（生活課題の解決）に向けた個別介護計画を立て、それを実践します。実践の結果、課題は解決されたか、解決されていなければそれはなぜか、問題の根拠を充分に把握できていなかったのでないか等の評価を行い、問題の根拠を改めて確認します。こうして、介護の過程に思考の整理が加わって初めて、**科学的根拠に基づく介護**になります。

例えば「トイレに間に合わない」という問題があり、そこで「トイレに間に合うように誘導する」という介護計画を立てた場合、これは表層的な対応に過ぎず、それだけでは問題の解決に繋

がりません。トイレに間に合わないのはなぜかという、問題の根拠の把握が不充分だからです。

つまり、介護においても、科学的根拠に基づくサービスを提供してこそ専門職と言えるのです。

予防的介護の実践

効果的の介護の実践には、**予測**が不可欠です。この介護技術を用いるとどのような結果になるかに関する予測です。この予測は、単なる推論でなく、科学的根拠に基づく予測です。その認識がないと、**予防**に繋がる介護サービスを提供できません。

介護予防には、要介護状態をそれ以上に悪化させないことと、要介護状態にさせないことの２つの側面があります。そのため、介護職は、**要介護状態の重度化の防止**と、現在の心身状態を出来る限り維持する**要介護状態の遅延化**に寄与する**予防的介護**の実践が求められます。したがって、サービス利用者が「介護職に何でもしてもらった方が楽だ」「自分がすると時間が掛かるため介護職がした方が効率がよい」等と考えるのは、この方針に反します。また、「福祉用具を使った方が便利だ」と考えて用具に依存してしまうと、利用者の生活機能が低下し、重度化の防止や遅延化に繋がりません。そして、身体面では、転倒防止を心掛けながら、出来る限りベッドから離れて活動するように働き掛けます、精神面では、自立意欲を高めるような働き掛けを行い、身体活動に繋がるように支援します。

QOLの向上を目指し、利用者が自分の能力を発揮できるために、介護者はどう関わり働き掛けるべきか――それを考えることが介護職における重要な視点です。

5　介護分野 職業キャリア形成

5.1　介護人材のキャリア形成①――様々な介護職のキャリアパスを知る

▼ 介護職に就くまでキャリアパス

近年の日本では高齢化の進展に伴って要介護者等が増加し、介護期間が長期化しています。しかも、核家族化、単身化が進行したため老老介護等が社会問題化して、家族の負担軽減が求められるようになりました。同時に社会的な価値観の多様化と平行して介護ニーズも多様化し、サービス産業の高度化は介護サービスの高度化を促しました。大きな社会変化が、介護にも影響を与えたのです。

このような背景から平成９年（1997年）に介護保険法が制定されたほか、介護職の資質向上やキャリアパスの明確化を目的に介護関連の資格整備が進んでいます。

平成25年（2013年）にはキャリアパスの入り口となる資格が新設されました。介護職員初任者研修です。ホームヘルパー２級を吸収し、さまざまな介護職になるための汎用的な入門として位置づけられました。介護の知識や技術の基礎を幅広く学ぶため、修了試験合格者は介護関連施設への就職等に役立ちます。専門学校へ入学するほか、スクーリングのある各種講座でも学ぶことができます。

▼ 介護職に就いてからのキャリアパス

介護分野の代表的な職種

介護職が働く職場は極めて多岐にわたりますが、主要には居宅サービスを行う訪問介護事業所、高齢者に居宅を提供する一般的な老人ホームなどの施設、入所して計画的な介護を行う介護老人施設などがあります。

こうした職場で介護を行う主な職種には、居宅を訪問して介護する訪問介護員（ホームヘルパー）、施設内で介護を行う介護職員、介護の計画・管理・調整を行う介護支援専門員（ケアマネジャー）などがあります。その他、介護事務員、介護予防運動指導員、移動介護従事者（ガイドヘルパー）、レクリエーション介護士、難病患者等ホームヘルパー、重度訪問介護従業者などが介護職に含まれます。

介護に関連する福祉職としては生活相談員、福祉用具専門相談員、医療関連職としては看護師、機能訓練指導員などがあります。また、食事を担当する栄養士、調理師も介護施設で欠かせない

職種です。

以上のなかで介護職の一般的なキャリアパスは、まず訪問介護員や施設の介護職に就き、経験を積んで管理者としての介護支援専門員を目指します。一方、より専門性を高めるキャリアパスとしては難病患者等ホームヘルパー、重度訪問介護従業者、介護予防運動指導員などがあります。

医療や食事に関する職種は介護で重要な役割をはたしますが、介護職のキャリアパスとは異なる方向です。

介護職に必要なプロセス・資格・スキル等

介護職員初任者研修の資格を取得して介護関連の職業に就いた後は、キャリアアップのために実務者研修修了を目指します。実務者研修は旧来の介護職員基礎研修とホームヘルパー１級を吸収して平成25年からスタートしました。職務の質的な向上が目的です。介護職員初任者研修修了者は320時間、無資格者は450時間受講します。

次に目指す資格は介護福祉士国家試験です。「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき、一定レベルの知識と技術を有する者として認める制度で、受験資格は実務経験３年以上および実務者研修修了者、あるいは介護福祉士養成施設卒業者です。この資格を取得していない介護職は介護福祉士を名乗ることができません。

介護福祉士となった者が次に目指すキャリアとして、近年に整備されたのが認定介護福祉士です。チームケア等でグループリーダーになれる人材を認定する制度で、平成27年（2015年）に認定機関として「一般社団法人認定介護福祉士認証・認定機構」が設立されました。各種教育機関が研修内容や体制等を整備して同機構へ申請し、基準を満たした場合に認定介護福祉士養成研修機関として認められます。その認定機関で研修を受けて修了した者が同機関に認定申請を行うことで「認定介護福祉士 認定証」の発行を受けることができます。

一方、介護職として実務経験を積んだ者が管理業務を目指す場合は「介護保険法」に基づく介護支援専門員の資格を取得します。通称ケアマネジャーとも呼ばれ、要介護者等から相談を受け、ケアプラン作成、サービス事業者との連絡・調整といった業務を行います。資格取得の条件は少し高度になります。介護福祉士、医師、看護師、社会福祉士等、保健医療福祉分野での実務経験5年以上の者が介護支援専門員実務研修受講試験に合格し、介護支援専門員実務研修課程を修了する必要があります。その上で介護支援専門員証の交付を受け、介護支援専門員となることができます。

その他の資格としては、介護施設等での事務処理を学ぶ介護事務管理士、介護施設等で行うレクリエーションの企画等を立案するレクリエーション介護士、障害が重い者を訪問介護する重度訪問介護従業者、要介護者にならないよう健康を維持するためのプログラムを組んで指導する介

護予防運動指導員などがあります。

また近年は自立支援という観点からリハビリテーションが重要な役割を担っており、基本動作の改善を目指す理学療法士、入浴や食事といった具体的な作業能力を改善する作業療法士、会話能力などの障害を改善する言語聴覚士といった資格もキャリアアップに役立ちます。

介護職のやり甲斐や達成感・使命感

公益財団法人 介護労働安定センターが平成27年に発表した調査によれば、介護職に就いている人が現在の仕事を選んだ理由のトップは「働きがいののある仕事だと思ったから」（52.6%）でした。２番目以下は「資格・技能が活かせるから」(36.2%)、「今後もニーズが高まる仕事だから」（35.3%)、「人や社会の役に立ちたいから」(32.0%）と続きます。「生きがい・社会参加のため」も15%の人が選んでおり、仕事のやりがい、使命感などが上位を占めています。

介護職は決して楽な仕事ではありませんが、サービスをした相手の笑顔を見ると達成感が得られる仕事でもあります。

生活援助として行う室内の掃除、洗濯、配膳、買い物等は本人の自立を目的にしていますから、できない部分だけを支援します。要介護者等が自分だけではできないことでも、介護職に全てやってもらうのではなく、手伝ってもらいながら行うことで要介護者等は達成感を得ることができ、満足した笑顔になります。介護職も満足してもらえたことで、嬉しい気持になります。介護職の努力で要介護者等に笑顔が生まれ、それを見た介護職にも笑顔が生まれるという好循環が期待できる仕事です。

しかも専門的な教育を受けた介護職が支援することで、自分ではできなかったことが、自分だけで行えるようになることもあります。支援や介護を受けずに自立できるようになれば、幸福感も両者で得ることができます。このように介護職は人間同士の心が通い合う仕事であると言うこともできます。

5.2　介護人材のキャリア形成②――介護人材としての自分のキャリアを考える

▼介護人材のキャリアプラン

キャリアプラン（職業生活設計）とは仕事の目標を定め、目標達成に必要なプロセスを明確化することです。厚生労働省が就職やキャリアアップに役立つ仕組として推進するジョブ・カード制度でも、キャリアプランの作成を推奨しています。

一般に学生のキャリアプラン作成は職種選びからスタートするのですが、ここでは介護職に決

めたことを前提とし、自分の適性を客観的に理解することから始めます。具体的には幼いころから現在までの自分を振り返り、行動パターン、強みと弱み等を自らに問いかけます。内容は自由に設定してかまいませんが、介護職に関連する項目を参考として列挙します。

○ 知らない人に親切をしたことがあるか
○ 相手の立場で物事を考えられるか
○ いかなる時も暴力を否定できるか
○ 人の誇りや信念を尊重できるか
○ チームワークが得意か
○ チームメンバーの意見を尊重できるか
○ 社会やチームのルールを尊重できるか
○ チームワークで連絡や報告を億劫がらずに実践できるか
○ 困った時に誰かに相談できるか
○ 友人の家族と仲良くできるか
○ 人間が自立して生きることに価値を認められるか
○ 健康について自己管理が出来ているか
○ 常にスキルアップを目指す向上心があるか
○ 現在保持している資格は何か
○ 現在取得を目指している資格は何か
○ ボランティア活動の経験があるか、そこで感じた自分の強み・弱みは何か
○ 身近な病人の世話したことがあるか、そこで感じた自分の強み・弱みは何か

以上のような問いかけをし、介護職としての適性をチェックします。多くの項目でプラス評価ができれば適性があると判断できます。マイナス評価が多い場合は補うための努力が必要です。

次に自分の将来像について目標を定めます。これをキャリアビジョンと言いますが、具体的な考え方は後述します。目標が定まったら、目標を達成するためのプロセスを具体化します。そのための情報として前述のキャリアパス等を整理すると次のようになります。

◇ 主な就職先：　訪問介護事業所・通所介護施設・短期入所施設・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・地域包括支援センター・グループホーム・障害者施設・病院、等
◇ 主な介護職：　訪問介護員・介護職員・介護支援専門員、等
◇ 主な介護資格：　介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修・介護福祉士・認定介護福祉士・介護支援専門員、等

◇ その他介護資格：　介護事務員・レクリエーション介護士・難病患者等ホームヘルパー・重度訪問介護従業者・介護予防運動指導員・移動介護従事者、等

上記の情報を参考にして自分のキャリアプランを作成します。最初は思いつくステップを記述し、何度か見直しをして精度を高めてゆきます。次に簡単な参考例を示します。

【キャリアビジョン】35歳までに介護支援専門員の資格を取得する

【キャリアビジョン達成プロセス】

20～22歳までに介護福祉関連専門学校を修了する

修了と同時に介護老人福祉施設へ就職する

資格：　介護福祉士、レクリエーション・インストラクター資格を取得する

26歳までに介護の基本的な実務全般を経験できるよう努める

資格：　介護事務管理士資格を取得する

29歳までに介護実務、取組姿勢、チームケア等を後輩に指導できるレベルを目指す

資格：　介護予防運動指導員資格を取得する

32歳までに介護制度全体が理解できる知識を身につける

資格：　介護福祉士の上位資格を取得する（認定介護福祉士等）

35歳までにキャリアビジョンを達成する

以上のようなキャリアプランを立て、必要に応じて内容を深めます。資格であれば取得のメリット、取得の合理的な方法等の検討が必要です。こうしてキャリアプランをしっかりと設定します。ただし、現代は社会が急速に変化しており、業界のルール、資格、法律等の変更もありえます。介護士のレベルアップや地位向上も社会的な課題となっているため情報収集は継続して行います。

そのため、キャリアプランは定期的に見直しが必要です。特に規則はありませんが、各ステップは毎年１回くらいのペースが適切です。例えば元日に時間をかけて見直しを行い、業界のルール、資格、法律等の変化があれば随時変更が必要ないか検討します。キャリアビジョンは目標ですから頻繁に変えてはいけません。3年か5年に1回くらいの見直しが適切です。

▼介護人材のキャリアビジョン

キャリアビジョンとはキャリアアップするための目標です。ビジョン（vision）は「見えること」という意味ですから、具体的にイメージできることが必要です。

このキャリアビジョン設定の手法は諸説ありますが、「自分は何のために働くのか」という根本

的な目的を掘り下げると目標の基盤がしっかりします。具体的には「経済性、社会性、個人性」という「職業の３要素」を検討します。

経済性：　働くことを収入獲得手段と捉える価値観
社会性：　働くことで社会貢献したいという価値観
個人性：　働くことで自己実現したいという価値観

この３要素を自らに問いかけることで、自分が重視している働くことの目的が見えてきます。例えば経済性が最も大切だとすれば、高収入が期待できるキャリアビジョンを設定すると本音と建前の葛藤を軽減することができます。同様に社会性であれば社会福祉に貢献すること、個人性であれば難病患者の介護などが選択肢の一つになりえます。

こうして抽象的な目的から具体的な目標にたどり着くことができます。ただし、人生は仕事だけではありません。結婚、出産、育児、子どもの教育、親の介護など多様な出来事がありえます。したがって人生全体のライフキャリアも検討が必要です。

人生は計画どおりにいきませんが、計画を立てておくと関連する情報の収集能力が向上し、キャリアアップのチャンスをものにする可能性が上昇します。ライフキャリアを検討してキャリアビジョンを設定し、キャリアパスに基づいてキャリアプランを作成しておくことは、幸福な人生を送るために役立ちます。

2　外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム

C　確認テスト（復習用教材）

本教育プログラムの確認テストは、個人学習用（復習用）教材で、20問×10回から成る。内容はシラバス・テキストの各回に準拠し、１回0.5時間で取り組むコンテンツとして想定されている。本テストの仕様は次の通りである。

【問 題 数】１回（１テーマ）20問×10回＝計200問

【設問形式】① 語義選択（10問）
② 文章空欄補充（５問）
③ 正誤判定･誤文指摘（５問）

【解答形式】全問４肢択一式

【解答時間】１回30分想定

【特記事項】○ 設問内容は全てテキストに準拠（解説不要）
○ 設問形式は全回統一
○ 文章空欄補充問題における課題文はテキスト本文から一部を抜粋

以下に、この「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」確認テスト（全10回）の問題を提示する。

1　留学生と日本

1.1　日本への留学・就職

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）日本の国号の由来と言われる表現は次のうちどれか。

① 日出づる処　② 日没する処　③ 万物の大本　④ 大小2本の刀を差す武士の国

2）日本の人口の30%近くを占め、世界最大の都市圏を構成する日本の地域はどこか。

① 東北　② 南関東　③ 関西　④ 東海

3）日本の都市のうち、東京に次ぐ主要都市として挙げられる市は次のうちどれか。

① 仙台市　② 横浜市　③ 広島市　④ 那覇市

4）日本国憲法が「日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」と定める日本国の世襲君主は何か。

① 内閣総理大臣　② 大統領　③ 天皇　④ 法王

5）日本の国政体制において〈行政権〉を担当する機関は何か。

① 内閣　② 国会　③ 衆議院　④ 裁判所

6）経済大国である日本の国内総生産（GDP）は世界第何位か。

① 第1位　② 第3位　③ 第5位　④ 第7位

7）日本企業でないものは次のうちどれか。

① HONDA　② MITSUBISHI　③ TOSHIBA　④ HYUNDAI

8）科学技術等の多くの分野で世界に貢献する日本がアジアで唯一、参加している計画は次のうちどれか。

① 国際熱核融合実験炉計画　② 国際リニアコライダー計画
③ 国際陸上科学掘削計画　④ 国際宇宙ステーション計画

9）日本は現在、世界のどの国も経験したことのない何を迎えていると言われますか。

① 経済成長　② 高齢社会　③ 異常気象　④ 人口過密

10）日本は、経済の繁栄や医学・医療の向上により、何が世界で最も高い国になったか。

① 平均寿命　② 人口増加率　③ 国民医療費　④ 人口比医師数

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

このような日本で就職すれば、まず、仕事を通して日本の先進的な技術や洗練された製品・サービス等に触れることができ、それがその人の（　**1**　）としての成長を促します。そして、それ以上に有意義なことは、仕事を通して日本人の仕事の仕方や（　**2**　）を学べることです。これについて、日本で留学・就業した後に母国に戻って起業したベトナム人若手社長が象徴的に次のように言っています――「〈個〉では、日本人よりベトナム人の方が優れている。しかし、〈(　**3**　)〉になると、日本人はベトナム人の〈個〉を圧倒的に凌ぐ。日本人から〈(　**4**　)〉〈団結〉〈仕事への姿勢〉等を学ぶことは、ベトナム人にとって大きな成長に繋がる」と。自信と誇りに溢れる彼がそこで伝えたかったことは、日本の（　**5**　）文化や意識・姿勢から学べたことに日本留学・就職の意義があったということです。そして、近年、彼のように意欲的に日本で学ぼうとするベトナム人が増えています。

① 文化	② “和”の心	③ 職業人	④ 職業意識	⑤ チーム

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）日本の人口は2億2700万人以上で、国民の多くが大都市やその周辺部で生活している。

2）日本の国土は全体的に弓形状で、国土の約30％が山岳地帯である。

3）日本は、主要国首脳会議（サミット）に昭和50年（1975年）の第1回から参加している。

4）日本で知識や理論を学習したり技術を習得したりすることは、将来の職業選択において長所になりうる。

5）日本語や日本経験は大きな可能性を広げるが、日本政府は現在、留学生が増えることを望んでいない。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

1　留学生と日本

1.2　留学生の学びと職業キャリア

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）日本文化の異称として適切な用語は次のうちどれか。
① 大陸文化　② 異国文化　③ 洋風文化　④ 和風文化

2）日本文化の代表例として不適切なのは次のうちどれか。
① 礼儀　② 混乱　③ 秩序　④ 親切

3）専門教育を行う専修学校について制度を定めている法律は何か。
① 日本国憲法　② 学校教育法　③ 教育基本法　④ 民法

4）「端／箸／橋」のように読みが同じで意味が違う言葉を何と言うか。
① 音読み　② 訓読み　③ 同音異義語　④ 同義語

5）日本人の心を表現した古代から続く芸術分野は次のうちどれか。
① 詩歌　② 映画　③ 演歌　④ 劇画

6）サービス業などの三次産業で受継がれている日本文化は次のうちどれか。
① 職人気質　② いぶし銀　③ おもてなし　④ もったいない

7）日本の職場で嫌われる働き方の性質は次のうちどれか。
① 整理する　② 整頓する　③ 清潔にする　④ 乱雑にする

8）日本人の一般的な職業観として適切なのは次のうちどれか。
① 勤労を尊ぶ　② 勤労は神が与えた罰　③ 遊ぶために働く　④ 楽して儲ける

9）チームワークで重視される精神のあり方は次のうちどれか。
① 面従腹背　② 下心　③ 二心　④ 協調性

10）60歳代前半の日本人男性で仕事に就いている人は約何％か。
① 100%　② 70%　③ 50%　④ 20%

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

留学生のなかには日本の職業観や働き方等、一般的な（　**1**　）に合わない人もいます。そうした人は例外となる企業を探すか、故国に帰って就職することになります。実際、日本に留学し

て学び、自分が生まれ育った国で（　**2**　）した人は数多くいます。その場合でも日本で学んだ知識や（　**3**　）は役に立ちます。世界でも先進的なレベルに達していますので、異文化体験も含めて祖国の発展に寄与できるはずです。注意点は社会環境の違いを認識し、日本で学んだことの全てを（　**4**　）しないことです。たとえば、人権に対する社会常識は国によって異なりますので、日本のような人権を重んじる介護技術がどの国にでもあてはまるわけではありません。文化の違いを（　**5**　）に把握した上で、活用できる知識や技術と、そうではないものの違いを判断する必要があります。

① 技術	② 絶対視	③ 企業風土	④ 客観的	⑤ 就職

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）東南アジアの文化も日本に伝わっている。

2）日本は先進文化を重視し、伝統文化は捨てる。

3）日本の専修学校は40年以上の歴史がある。

4）近年では「日本式サービス」が海外で認められている。

5）一般的な日本人は働くことを好まない。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

2　介護分野 職業理解

2.1　介護職とは何か

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）日本において65歳以上の高齢者人口は総人口の約何％か（平成25年）。
① 5％　② 15％　③ 25％　④ 35％

2）日本が介護保険制度を開始したのは何年か。
① 昭和60年　② 平成元年　③ 平成12年　④ 平成24年

3）介護保険制度に基づく各種サービス提供の基本的な目的は次のうちどれか。
① 高齢者の依存体質増進　② 高齢者の自立支援　③ 高齢者の安楽死　④ 高齢者の若返り

4）ホームヘルプサービス等を行う居宅サービスの介護に関する名称は次のうちどれか。
① 通所介護　② 入所介護　③ 短期入所生活介護　④ 訪問介護

5）家庭的な環境で要介護の認知症患者に介護サービス等を行う施設の通称名は何か。
① グループホーム　② 軽費老人ホーム　③ アットホーム　④ デイサービスセンター

6）一般的な介護に関係しない専門職は次のうちどれか。
① 介護福祉士　② 理学療法士　③ 管理栄養士　④ 大型特殊自動車運転手

7）さまざまな専門職と協力して介護等を行うことの名称で適切なのは次のうちどれか。
① 多職種競合　② 多職種対抗　③ 多職種連携　④ 多職種縄張り

8）介護職が熟知すべきなのは要介護者に関するどのような情報か。
① 心身状態　② 家計　③ 人間関係　④ 社会的地位

9）介護支援専門員が行う介護サービスの計画原案名は次のうちどれか。
① 行政計画　② 人生計画　③ 地域医療計画　④ 居宅サービス計画

10）介護支援専門員の通称名は次のうちどれか。
① ホームヘルパー　② ケアマネジャー　③ ソーシャルワーカー　④ ドクター

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

介護職は介護サービス利用者の（　**1**　）を守り、その人らしい生活の営みを支援する専門職です。そして、人に関わる職業であるため、介護の知識・技術だけでなく、利用者の心身状態に

伴う様々な要望等への対応が求められる職業でもあります。しかし、要求があれば何にも対応する“便利屋”ではありません。利用者がサービスを適切に利用できるよう、公平・中立かつ（　**2**　）な立場で必要な情報を提供し、相互の信頼と約束の上で専門性を持ってサービスを提供するのが介護職です。こうして社会から信用され、（　**3**　）として利用者から信頼されるためには、プロフェッショナルとしての高い誇りと（　**4**　）を持って日々の介護現場に臨まねばなりません。また、介護職は、利用者の最も近くにいて、その心身状態を熟知する立場にあります。したがって、（　**5**　）提供の他、多職種連携では、その情報等を他職種に伝達することが介護職の大きな役割の一つです。

① 介護サービス　② 倫理観　　③ 尊厳　　④ 専門職　　⑤ 公正

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）平成62年（2050年）の高齢者人口は38.8%になると予測されている。

2）介護職の役割として重度化予防も重要である。

3）養成課程修了者がまず勤める先は大病院が多い。

4）介護老人保健施設では入浴サービスが禁止されている。

5）サービス担当者会議では各専門職が意見を述べる。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

2　介護分野 職業理解

2.2　介護業界の最新動向

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）出生率が減少し、高齢者が増える社会を何と言うか。
① 貧困社会　② 少子高齢化社会　③ 一億総中流社会　④ 格差社会

2）年老いた夫を年老いた妻が介護している状態を何と言うか。
① 自宅介護　② 訪問介護　③ 通所介護　④ 老老介護

3）家族の介護等を理由に離職や転職をした人のうち女性は約何％か。
① 20%　② 40%　③ 80%　④ 100%

4）要介護者の男性で「自宅で介護してほしい」と希望する人は何％か。
① 30.2%　② 42.2%　③ 64.6%　④ 80.5%

5）「介護老人福祉施設」の別名は何か。
① 特別養護老人ホーム　② ショートステイ施設　③ 高齢者専用賃貸住宅　④ グループホーム

6）日本の人口構成で最も人数の多い世代を一般に何と呼ぶか。
① 団塊ジュニア世代　② 団塊の世代　③ ゆとり世代　④ 三世代

7）総人口が横ばいで75歳以上の人口が急激に増加している地域は次のうちどれか。
① 過疎地　② 農村　③ 漁村　④ 大都市

8）長年住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けられる取組みを何と言うか。
① 予防介護サービス　② ボランティア活動　③ 地域包括ケアシステム　④ いきいき百歳体操

9）厚生労働省が推計した平成37年（2025年）に不足する介護人材は約何人か。
① 18万　② 28万　③ 38万人　④ 48万

10）在留資格が得られる高度専門職に「介護」を加えた法律の略称は何か。
① 入管法　② 憲法　③ 民法　④ 刑法

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

介護負担を家族が担うことになる要因の一つとして、要介護者による「自宅で介護してほしい」という要望があります。本人の希望を叶えてあげたいと思うのは家族の（　**1**　）ですが、要介

護認定のレベルが高い場合は家族に大きな負担がかかります。（　**2**　）になると自力で食事や排泄ができず、認知症による（　**3**　）なども加わると24時間つきっきりの介護になってしまいます。一方、（　**4**　）レベルの軽い状況であっても、心身機能の悪化を予防する取り組みは欠かせません。訓練やリハビリによって、（　**5**　）した生活を行えるようになることもあります。こうした背景から、介護を家族の問題として限定するのではなく、社会全体で対応する必要性が理解されるようになりました。その結果、高齢者個々の事情を勘案し、多様なニーズに応えられる施設の設置を進めています。

① 徘徊	② 愛情	③ 自立	④ 要介護	⑤ 要支援

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）日本の平均寿命の長さは世界トップレベル。

2）「要介護者又は要支援者」の人数は平成13年から平成24年まで横ばいである。

3）介護保険を利用せず、全額を自己負担する介護サービスがある。

4）高齢者の尊厳よりも効率を重視した介護が理想。

5）介護人材不足を解決する方策の一つに外国人介護人材活用がある。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

3　介護分野 職業意識

3.1　介護人材の職業意識①

1　次の１）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）仕事の分業が進んだことで求められるようになった能力は次のうちどれか。
① 専門性　② 汎用性　③ 順応性　④ 攻撃性

2）「社会福祉士及び介護福祉士法」の制定は何年頃か。
① 明治40年代　② 大正10年代　③ 昭和20年代　④ 昭和60年代

3）夫婦と親が別居する家族形態を一般に何と言うか。
① 大家族　② 核家族　③ 三世代家族　④ 拡大家族

4）高度成長期の社会は「世間並み」を重視したが、近年重視しているのは次のうちどれか。
① 身分　② 階級　③ 個性　④ 格差

5）「日本介護福祉士会倫理綱領」の内容に含まれないのは次のうちどれか。
① プライバシーの保護　② 利用者ニーズの代弁　③ 企業利益の最大化　④ 地域福祉の推進

6）介護保険法に基づいて支援や介護の計画を立てる資格を何と言うか。
① 介護福祉士　② 社会福祉士　③ 介護支援専門員　④ 医師

7）介護職が要介護者の体調悪化に気づいたとき、連絡の対象となる専門職は次のうちどれか。
① 看護師　② 薬剤師　③ 作業療法士　④ 理学療法士

8）介護におけるチームケアで重要な心構えは次のうちどれか。
① 競争　② 連携　③ 独走　④ 自律

9）良好なチームワークを保つための要素として不適切なのはどれか。
① 唯我独尊　② コミュニケーション　③ 目的の共有　④ 共通のルール

10）チームアプローチでシステム化すべき重要事項は次のうちどれか。
① 信賞必罰　② 監視体制　③ 情報共有　④ 給与体系

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

介護職はさまざまな（　**1**　）と協力すると同時に、同じ介護職同士がチームを組むことがあります。毎日24時間、１年365日の（　**2**　）が必要な場合は一人で担当することができません。

複数の介護職が協力して業務を行うことになりますが、要介護者の一番身近にいる専門職には課題がたくさん生じます。そのため、基本的な知識や技術はチーム全員が共通して身につけていなければなりません。あまりにも（　**3**　）な人がチームメンバーにいると、担当する者によって支援や介護のレベルが違い過ぎて（　**4**　）の不満につながります。たとえば人の要望や意見を聞くという基本ができているチームのなかに、聞く耳をもたず自分の考えを押し付けるメンバーがいたのでは現場が混乱します。したがって、（　**5**　）では介護職同士のチームワークがとても重要になります。

① チームケア	② 要介護者	③ 専門職	④ 未熟	⑤ 介護

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）介護職は「読み書き算盤」ができれば十分務まる。

2）高齢者介護は家族監視のもとで実施される。

3）現代は自分らしく生きることの尊厳が大切になった。

4）介護職は要介護者（利用者）が自己決定できるように支援する。

5）チームアプローチのルールは細部まで数多く決めるとよい。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

3　介護分野 職業意識

3.2　介護人材の職業意識②

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）介護職が要介護者に行ってはならないことは次のうちどれか。
① 虐待　② 支援　③ 介助　④ 助言

2）介護職が排泄介助を行うとき、一般的な利用者が抱きやすい感情は次のうちどれか。
① 楽しい　② 怒り　③ 恥ずかしい　④ 哀愁

3）介護職は利用者からどのような存在と思われるよう努力すべきか。
① 嫌な人　② どうでもよい人　③ 大切な人　④ 下僕のような人

4）新たな高齢者世代が介護サービス利用について強く持つようになった意識は次のうちどれか。
① 義務　② 権利　③ 恩義　④ 人情

5）利用者や家族の個人情報を知りうる介護職が厳重に守るべきことは次のうちどれか。
① 私生活を見ない　② 身体に触れない　③ 財産の管理　④ プライバシーの保護

6）介護職が利用者や家族との信頼関係構築に必要な精神は次のうちどれか。
① 権利意識　② 駆け引き　③ 職業倫理　④ 上から目線

7）利用者本位の介護サービスを提供するために尊重すべきことは次のうちどれか。
① 利用者の自己決定　② 介護職の常識　③ 家族の心情　④ 世間体

8）実際の介護サービス提供に際して陥りがちな間違いは次のうちどれか。
① 法令遵守　② 介護者主導　③ チームケア　④ 専門職の連携

9）介護職自身の問題として見落としがちなことは次のうちどれか。
① 財産管理　② 健康管理　③ 勤怠管理　④ 労務管理

10）介護職自身と利用者共に最も気をつけるべき病気は次のうちどれか。
① 頭痛　② 老衰　③ 感染症　④ 歯痛

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

数ある専門職の中でも介護職の特徴の一つは、サービス（　**1**　）に直接的に関わる頻度と密度が非常に高いということです。そのため、介助局面において利用者は様々な思いを抱いている

かもしれません。（　**2**　）はこうしたことを充分に想定した上で、支援や介護を施す必要があります。その意味で介護職は（　**3**　）ということができます。また、介護職にある者は利用者の（　**4**　）を絶対に言ってはなりません。介護職の最も大切な心構えの一つです。人は誰にも長所と短所があります。したがって、介護者は、利用者の（　**5**　）を積極的に評価する一方で、短所はその理由や原因を探って確認することを心掛けるべきです。いずれにせよ、介護職にある者は高い密度で頻繁に接する利用者と良好な関係が築けるよう、自分の行動を律する必要があります。

① 対人サービス業　② 悪口　③ 利用者　④ 長所　⑤ 介護者

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）専門職は知識や技術を善用することが求められる。

2）介護職は利用者の人生に大きな影響力を持つ職業である。

3）利用者がルール違反をしたら介護者の判断で罰してよい。

4）介護者は風邪をひいたとしても健康をよそおって仕事をすべき。

5）心が休まらないのは根性が足りないせいである。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

4　介護分野 職業人コンピテンシー

4.1　介護人材に必要な能力①

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）コミュニケーションの日本語訳は次のうちどれか。
① 絶対命令　② 傾聴法　③ 一方向の情報伝達　④ 双方向の情報伝達

2）チームケアのコミュニケーション能力として不適切なのは次のうちどれか。
① 報告　② 油断　③ 連絡　④ 相談

3）要介護者の氏名、年齢、性別、家族構成、健康状態などの基礎情報記録を何と言うか。
① アセスメントシート　② フェイスシート　③ ファーストシート　④ レシート

4）介護記録を客観的かつ分かりやすく記述するための手法は次のうちどれか。
① 報連相　② ストーリー性　③ PDCA　④ 5W1H

5）人の性格、考え方の傾向、長所、短所などの洞察を何と言うか。
① 戦略　② 個人攻撃　③ 人間分析　④ 共同幻想

6）楽観的な人と正反対な性格の人を一般に何と言うか。
① 心配性　② 悠長　③ 気まま　④ のんき

7）非言語コミュニケーションに含まれないのは次のうちどれか。
① 身振り手振り　② 声の大小　③ 顔の表情　④ 言葉の概念

8）忙しい現場でのコミュニケーションとして不適切なのは次のうちどれか。
① 簡潔　② 長話　③ 忖度　④ 明瞭

9）チームワークで連携をスムーズにする取組姿勢は次のうちどれか。
① 疑心暗鬼　② 策略　③ 協調性　④ 権謀術数

10）異なる意見を一つにまとめる活動を何と言うか。
① 分裂　② 改正　③ 敵対　④ 調整

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

チームケアの現場では忙しい専門職同士が（　**1**　）を行います。なるべく短時間で連絡や（　**2**　）を行うことが求められますので、相手が何を望んでいるのか、どうしようとしている

かを素早く理解できる能力が必要です。この能力を身につけるには、言語の正しい認識力と共に、相手に対する共感力も大切です。人の意見を聞くとき、その相手に反感をもっていると（　**3**　）な反応が最初にでてしまいます。意見に間違いがないか、何らかの落ち度はないかと探してしまうのです。相手の話を途中でさえぎることさえあります。一方、相手に共感する心構えがあれば、最初にでてくるのは（　**4**　）な反応です。意見の正しい部分を探し、（　**5**　）はどこにあるのか、何を言おうとしているのかについて理解しようとします。何か問題点を指摘するにしても、肯定的な態度が前提にあれば相手も受け入れやすくなります。

① コミュニケーション　② 真意　　③ 肯定的　　④ 否定的　　⑤ 報告

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）チームケアは案件ごとに組織を編成するプロジェクト。

2）チームケアでは秘密を守るために記録はしない。

3）介護記録には要介護者の状態、変化、介護内容等を記述する。

4）介護職は自分自身を知ると同時に相手をよく知ることが大切。

5）連携とは相手の言うことに何でも迎合する意味ではない。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

4　介護分野 職業人コンピテンシー

4.2　介護人材に必要な能力②

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）介護職が利用者に対して行う基本的なサービス提供の対象は次のうちどれか。
① 商行為　② 弔事　③ 慶事　④ 日常生活

2）介護職が利用者にサービスをするときの態度として間違っているのは次のうちどれか。
① 命令する　② 支援する　③ 介助する　④ 助言する

3）個別介護計画の目的として適切な内容は次のうちどれか。
① 利用者の自立　② 介護の効率　③ 介護施設の利潤　④ 家族の都合

4）介護サービスを通して向上を目指す「QOL」という略称の日本語訳は次のうちどれか。
① 介護職の技術　② 施設の品位　③ 生活の質　④ 行政サービス

5）チームケアを行う場合に中心となるメンバーは次の誰か。
① 理学療法士　② 介護支援専門員　③ 看護師　④ 医師

6）チームケアで重要な行動は次のうちどれか。
① 競争優位の確立　② 間違い探し　③ 業務範囲の拡大　④ 情報の交換

7）介護者が利用者との間で成立させるべき関係は次のうちどれか。
① 上下関係　② 利害関係　③ 信頼関係　④ 師弟関係

8）介護福祉士の仕事で最も重要な行動基準は次のうちどれか。
① 社会常識　② 自己の信念　③ 利用者の要望　④ 社会福祉士及び介護福祉士法

9）介護の実践において重視すべき思考の基準は次のうちどれか
① 科学的根拠　② 過去の経験　③ 友人の助言　④ 利用者の知識

10）要介護状態をそれ以上に悪化させないための活動を特に何と言うか。
① 健康管理　② 身体検査　③ 介護予防　④ 入院

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

介護は、身体的・精神的な機能低下や（　**1**　）等によって障碍を抱える人の必要に応じ、入浴・排泄・食事・移動等の日常生活に欠かせない行為を援助することです。つまり、人間が生き

るために不可欠な行為の（　**2**　）を行うのが介護職の専門的な任務ということができます。したがって、介護職は施設介護、あるいは（　**3**　）を問わず、まず介護に共通の専門性について充分に理解し、それに基づく（　**4**　）としての視点を持つ必要があります。具体的テーマとしては、利用者と介護者の対等な関係、利用者本位の支援、利用者の生活を理解する、チームケアの重要性、利用者から信頼されるための言動、科学的根拠に基づく介護の実践、予防的介護の実践などをあげることができます。こうした（　**5**　）の向上を目指し、利用者が自分の能力を発揮できるために、介護者はどう関わり働き掛けるべきか―それを考えることが介護職における重要な課題です。

① 居宅介護	② 疾病	③ QOL	④ 支援	⑤ 介護専門職

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）介護関連法規に基づく介護サービス活用は利用者の権利である。

2）介護の専門的内容に関しては一方的な指示を行ってもよい。

3）介護職は利用者個々人の価値観まで知る必要はない。

4）居宅介護では介護職が自分一人で利用者を支援している。

5）現代は要介護状態にさせないための活動も重要となっている。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

5　介護分野 職業キャリア形成

5.1　様々な介護職のキャリアパスを知る

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）近年、介護期間の長期化と共に起こっている介護関連の変化は次のうちどれか。
① 高齢者の減少　② 介護費用の高騰　③ 介護ニーズの多様化　④ 平均寿命の劇的低下

2）平成25年（2013年）に新設された介護職の入門資格は何か。
① ホームヘルパー2級　② 介護職員基礎研修　③ 介護福祉士　④ 介護職員初任者研修

3）居宅サービスを主要に行う介護関連の組織を総称して何と言うか。
① 老人ホーム　② 訪問介護事業所　③ 介護老人施設　④ リハビリセンター

4）次の職種のうち、介護との関連性が最も少ないのはどれか。
① ケアマネジャー　② ガイドヘルパー　③ ライフセーバー　④ 送迎ドライバー

5）平成25年に新設された介護職のキャリアアップ資格は何か。
① 実務者研修　② ホームヘルパー1級　③ 診療放射線技師　④ 理学療法士

6）介護職のキャリアパスとなる資格は次のうちどれか。
① クリーニング師　② 難病患者等ホームヘルパー　③ 危険物取扱者　④ 養護学校教諭

7）チームケア等でグループリーダーになれる人材を認定する資格は何か。
① 移動介護従事者　② 介護予防運動指導員　③ 介護福祉士　④ 認定介護福祉士

8）介護支援専門員の資格を規定している法律は何か。
① 介護保険法　② 健康保険法　③ 社会福祉士及び介護福祉士法　④ 障害者基本法

9）介護支援専門員受験資格の一つ「保健医療福祉分野での実務経験」は何年以上か。
① 2年以上　② 3年以上　③ 4年以上　④ 5年以上

10）介護職の仕事を選んだ理由として最も多いのは次のうちどれか。
① 給料が高い　② 業務内容が簡単　③ 働きがいがある　④ 業務独占資格がある

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

介護職が働く職場は極めて多岐にわたりますが、主要には居宅サービスを行う組織、高齢者に居宅を提供する（　**1**　）などの施設、入所して計画的な介護を行う介護老人施設などがありま

す。こうした職場で介護を行う主な職種には、居宅へ行って介護する（　**2**　）、施設内で介護を行う介護職員、介護の（　**3**　）・管理・調整を行う介護支援専門員などがあります。その他、介護事務員、介護予防運動指導員、移動介護従事者、レクレーション介護士、難病患者等ホームヘルパー、（　**4**　）などが介護職に含まれます。介護に関連する福祉職としては（　**5**　）、福祉用具専門相談員、医療関連職としては看護師、機能訓練指導員などがあります。また、食事を担当する栄養士、調理師も介護施設では欠かせない職種です。

① 老人ホーム	② 生活相談員	③ 訪問介護員	④ 計画	⑤ 重度訪問介護従業者

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）現代の日本は社会的な価値観が多様化している。

2）栄養士や調理師も介護施設では欠かせない職種だ。

3）介護関連資格として介護事務管理士がある。

4）介護職に就いた者は介護福祉士を名乗ることができる。

5）リハビリテーションは介護の分野に含まれない。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

5　介護分野 職業キャリア形成

5.2　介護人材としての自分のキャリアを考える

1　次の1）～10）の問いに対する答えとして適切なものを選んでください。

1）「キャリアプラン」の適切な日本語訳は次のうちどれか。
① 職業生活設計　② 人生設計　③ 生活設計　④ 基本設計

2）厚生労働省が就職やキャリアアップに役立つ制度として推進しているのは次のうちどれか。
① ハローワーク　② ジョブ・カード　③ 公共職業安定所　④ 失業保険

3）キャリアアップを考える際に理解する必要がある業界の知識は次のうちどれか。
① キャリアダウン　② ノンキャリア　③ キャリアビジョン　④ キャリアパス

4）自分が働く目的を検討する際の「職業の三要素」に含まれないのは次のうちどれか。
① 弾力性　② 経済性　③ 社会性　④ 個人性

5）自分個人が仕事を続けていくための目標となる将来像を一般に何と言うか。
① 経営理念　② 行動指針　③ キャリアビジョン　④ ガイドライン

6）キャリアプラン見直しのペースとして、比較的適切なのは次のうちどれか。
① 毎日1回　② 毎月1回　③ 毎年1回　④ 10年に1回

7）キャリアプランの見直しで、考慮すべき重要項目に含まれるのは次のうちどれか。
① 業界ルールの変更　② 内閣の改造　③ 為替相場の変動　④ 地方選挙の実施

8）キャリアアップに大きく影響する要素は次のうちどれか。
① 定期昇給　② 資格取得　③ ボーナス　④ 景気変動

9）働くことで自分を成長させたいという価値観を「職業の三要素」では何と言うか。
① 野望　② 希望　③ 個人性　④ 功名心

10）取得したい資格の選定に際して考慮すべき重要事項は次のうちどれか。
① 知名度　② 合格率　③ デメリット　④ メリット

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）	（6）	（7）	（8）	（9）	(10)

2　次の文章中の空欄（1）～（5）に入る語句として適切なものを選んでください。

キャリアプランとは仕事の目標を定め、その（　**1**　）に必要なプロセスを明確化することです。最初は、自分の職業適性を客観的に理解することから始めます。具体的には幼いころから現

在までの自分を振り返り、行動パターン、（　**2**　）等を自らに問いかけます。こうして介護職としての適性チェックをし、多くの項目で（　**3**　）がでれば問題ありません。しかし、マイナス評価が多い場合は補うための努力が必要です。次に自分の（　**4**　）を目標として定め、キャリアパス等を参考にして達成するためのプロセスを具体化します。最初はプロセスとして思いつくステップを記述し、何度か見直しをして精度を高めてゆきます。現代は社会が急速に変化しており、ビジネス慣習の変更、資格の再編、法律改正などもありえます。介護士の（　**5**　）も社会的な課題となっているためキャリアプランの見直しは継続して行います。

① 将来像	② 目標達成	③ 地位向上	④ 強みと弱み	⑤ プラス評価

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

3　次の1）～5）の文の内容が正しければ「○」、誤っていれば「×」をつけてください。

1）キャリアビジョンは具体的な方がよい。

2）キャリアプランを変更してはならない。

3）介護職のレベルアップが社会的な課題となっている。

4）働くことを収入獲得の手段と見なす価値観は「経済性」と言う。

5）キャリアプラン設定に際し、ライフキャリアも検討する。

（1）	（2）	（3）	（4）	（5）

所　属	氏　名	得　点
		/100

実 証 報 告

本事業では、開発した教育プログラムの教育効果を測定・評価し、その後の改良と平成29年度事業における指導者用ガイド＆運用マニュアルの作成に資する検討材料を獲得する目的で、実証講座を実施した。その概要は次の通りである。

時　期	平成28年11月26日～12月17日
対　象	介護職への就業を志望する 東京都の日本語学習者９名（ベトナム人）
手　法	平成27年度に仕様設計した実証講座に平成28年度に開発した「外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育プログラム」を加え、その全体を実現可能な規模（50時間）に再構成した実証講座を実施する。 その際、この中に、調査「外国人介護就業志望者に対する教育プログラム効果測定」も組み込んで行う。
内　容	◇ 集合学習（20時間：　11/26・12/03・12/10・12/17の４日） ――職業キャリア教育①～④ ――日本の年中行事①～⑥ ――介護実務日本語CS①～④ ――調査（学習アチーブメント・自己アセスメント） ◇ 個人学習（30時間：　11/26～12/17） ――日常日本語Lv.2-3 ――専門一般日本語Lv.1-2 ――専門実務日本語Lv.1 ※スマホCBTで実施

これに基づき、以下に、本年度の実証内容を次の展開で報告する。

A　全体構成（日程＆内容）

B　使用教材（教育プログラムとの対応関係）

C　実施場面

D　効果測定（問題＆結果）

A　全体構成（日程＆内容）

週	集合学習（20時間）				個人学習（20時間）
	月日	時間	内　　容	担当	
1	11月19日	09:40～10:40	効果測定テスト〈事前調査〉	日下部	11/19～11/25 日常日本語 Lv.2-3 （200語）
		10:50～11:50	介護職キャリア教育①――日本への留学・就職		
		12:00～12:30	介護職実務日本語①A ――起床 着替までの支援		
		13:30～14:30	介護職実務日本語①B ――起床 着替までの支援	杉田	
		14:40～15:40	介護職日本文化①――正月		
		15:50～16:20	専門導入漢字・語彙①		
2	11月26日	09:40～10:40	介護職キャリア教育②――介護職とは何か	日下部	12/04～12/09 専門一般日本語 Lv.1-2 （200語）
		10:50～11:50	介護職日本文化②――節分		
		12:00～12:30	介護職実務日本語②A ――ベッドから車椅子への移乗		
		13:30～14:30	介護職実務日本語②B ――ベッドから車椅子への移乗	杉田	
		14:40～15:40	介護職日本文化③――七夕		
		15:50～16:20	専門導入漢字・語彙②		
3	12月10日	09:40～10:40	介護職キャリア教育③――介護人材の職業意識	日下部	12/10～12/16 専門実務日本語 Lv.1 （100語）
		10:50～11:50	介護職日本文化④――お盆		
		12:00～12:30	介護職実務日本語③A ――食事介助		
		13:30～14:30	介護職実務日本語③B ――食事介助	杉田	
		14:40～15:40	介護職日本文化⑤――七五三		
		15:50～16:20	専門導入漢字・語彙③		
4	12月17日	09:40～10:40	介護職キャリア教育④――介護人材に必要な能力	日下部	―
		10:50～11:50	介護職日本文化⑥――大晦日		
		12:00～12:30	介護職実務日本語④A ――VC時の看護師指示への対応		
		13:30～14:30	介護職実務日本語④B ――VC時の看護師指示への対応	杉田	
		14:40～15:10	専門導入漢字・語彙④		
		15:20～16:20	効果測定テスト〈事後調査〉		

※「介護職実務日本語」のAは会話ケーススタディ、Bは報告文作成演習

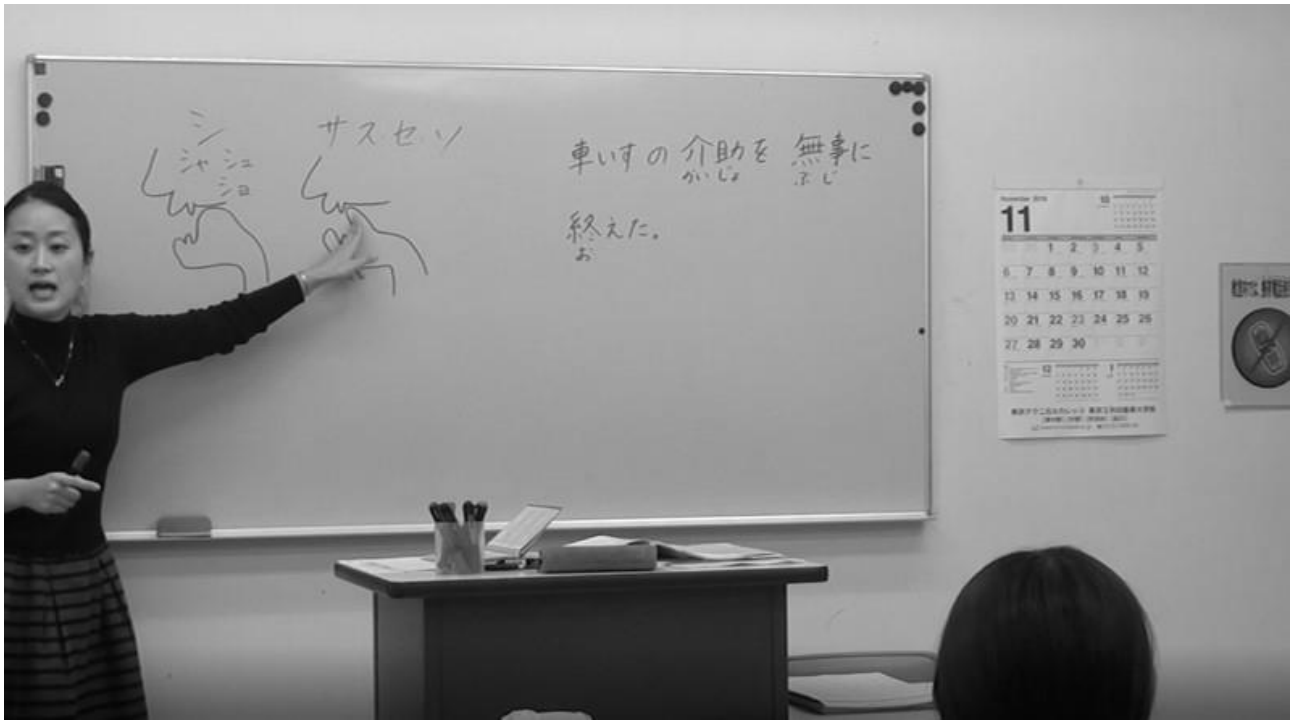
※ 個人学習は、スマートフォン・タブレット・パソコン等の端末を使用した語彙力強化コンテンツ

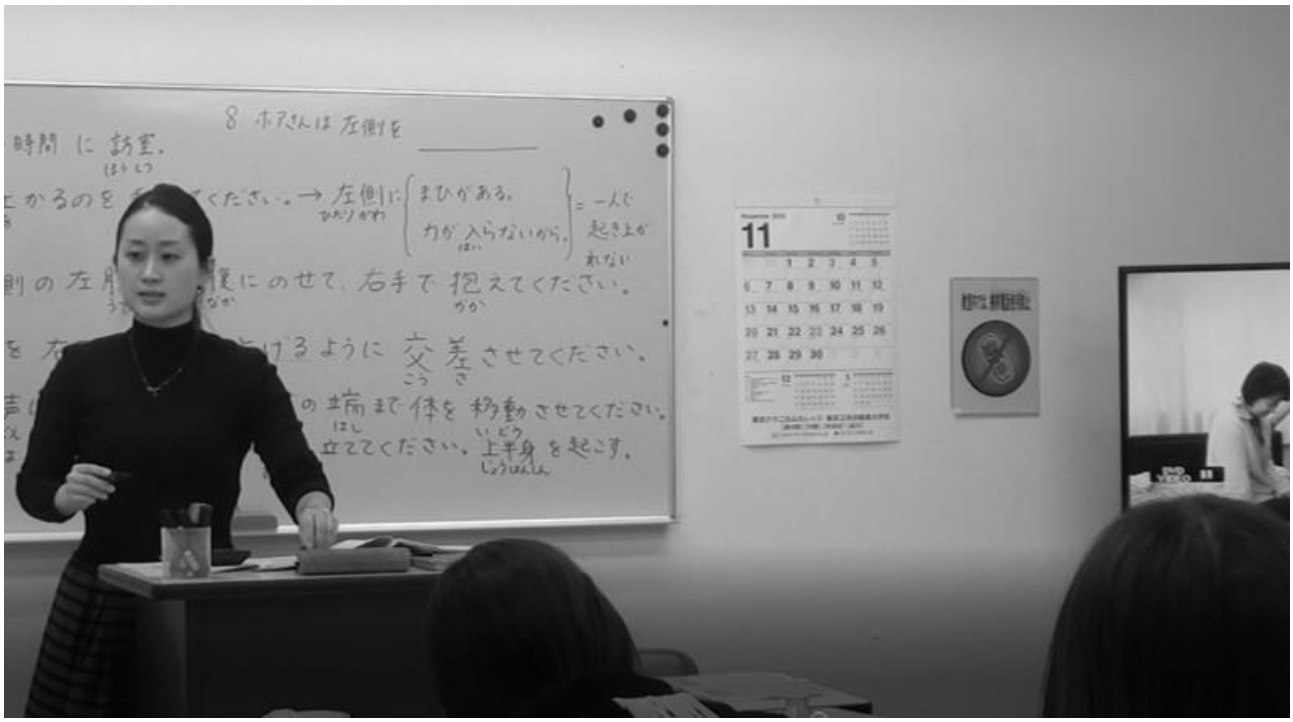
B　使用教材（教育プログラムとの対応関係）

実証講座	教育プログラム
介護職実務日本語①	介護現場日本語ケーススタディ【テーマ１】
介護職実務日本語②	介護現場日本語ケーススタディ【テーマ２】
介護職実務日本語③	介護現場日本語ケーススタディ【テーマ４】
介護職実務日本語④	介護現場日本語ケーススタディ【テーマ６】
介護職日本文化①	要介護高齢者対応テーマ副読本【第01講】
介護職日本文化②	要介護高齢者対応テーマ副読本【第03講】
介護職日本文化③	要介護高齢者対応テーマ副読本【第10講】
介護職日本文化④	要介護高齢者対応テーマ副読本【第11講】
介護職日本文化⑤	要介護高齢者対応テーマ副読本【第18講】
介護職日本文化⑥	要介護高齢者対応テーマ副読本【第20講】
介護職キャリア教育①	外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育【1.1】
介護職キャリア教育②	外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育【2.1】
介護職キャリア教育③	外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育【3.2】
介護職キャリア教育④	外国人介護就業志望者向け職業キャリア教育【4.2】
専門導入漢字・語彙①	介護職 実務日本語①Ｂ・日本文化① 担当オリジナル
専門導入漢字・語彙②	介護職 実務日本語②Ｂ・日本文化③ 担当オリジナル
専門導入漢字・語彙③	介護職 実務日本語③Ｂ・日本文化⑤ 担当オリジナル
専門導入漢字・語彙④	介護職 実務日本語④Ｂ・日本文化⑥ 担当オリジナル
日常日本語Lv.2-3（200語）	介護実務日本語運用力強化コンテンツ（平成27年度開発）
専門一般日本語Lv.1-2（200語）	
専門実務日本語Lv.1（100語）	

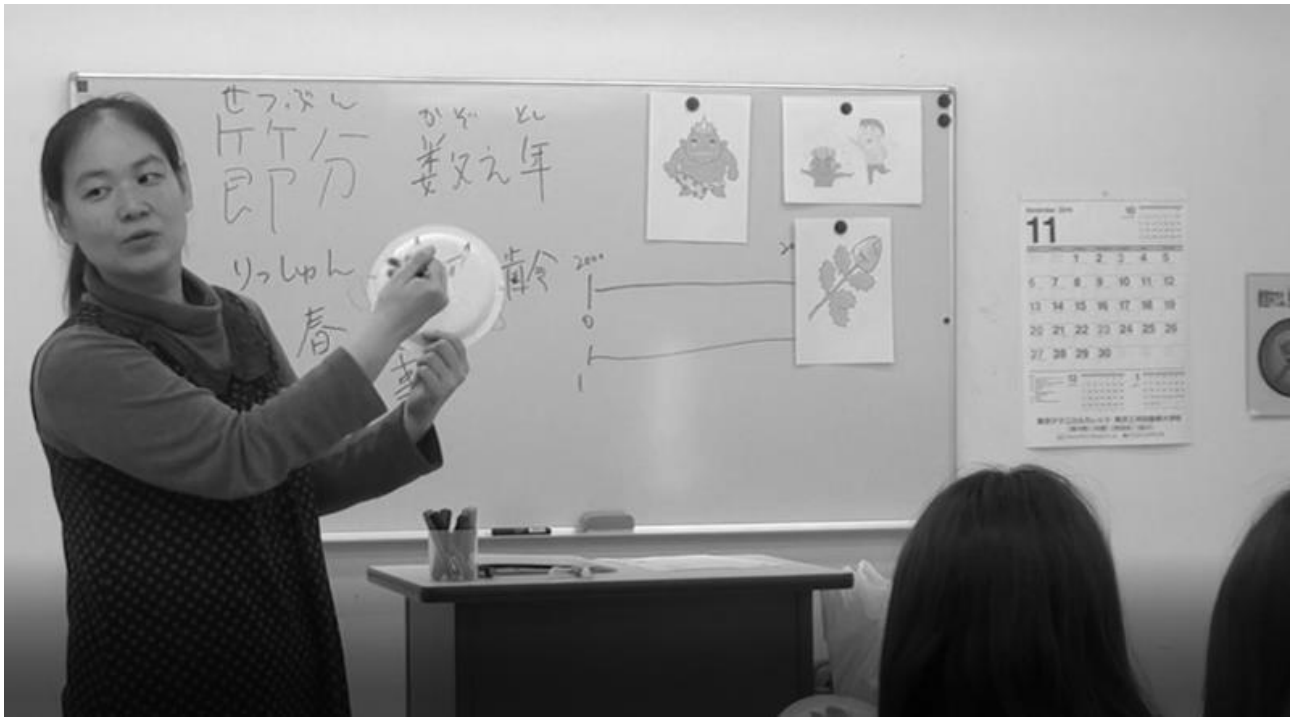
C　実施場面

介護職実務日本語Ａ（会話文ケーススタディ）



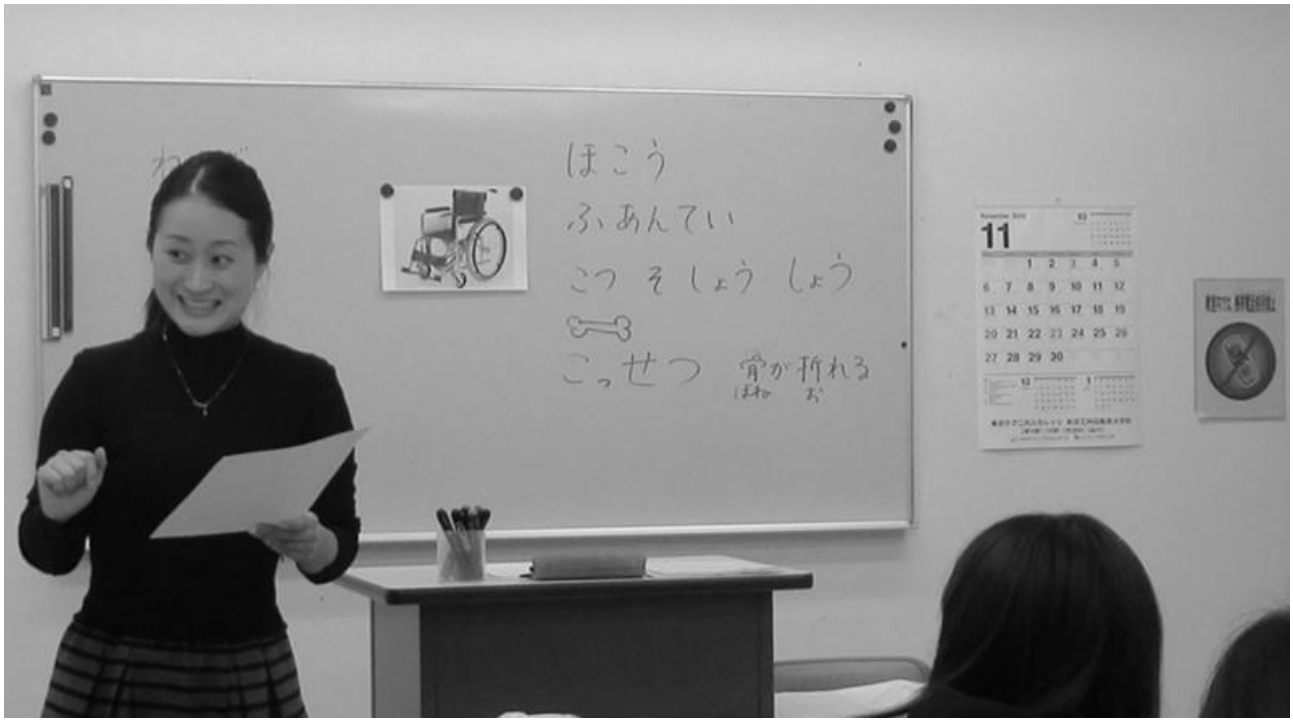


介護職実務日本語Ｂ（報告文作成演習）



介護職日本文化

介護職キャリア教育


ほこう
ふあんてい
こつ そしょう しょう
こっせつ 骨が折れる
ほね お
11

持 打 移る うつ
才 動く
手 握る にぎ
肩 かた
腕 肘
移動 いどう
握手 あくしゅ
腰 こし 腰痛 ようつう
端
骨 ほね、コツ
折 折れる 折る 骨折 こっせつ
11

専門導入漢字・語彙

D　効果測定（問題＆結果）

【問題】学習アチーブメントα（事前調査）

1　流された映像において、介護職員のホアと倉木は利用者の大沢にどのようなことをしていましたか。その様子を日本語で記述してください。〈10点〉

2　次の1）～5）の読み方として適切なものを①～③から選んでください。〈5点：1点×5〉

1）病人	① びょうにん	② びょうひと	③ やまいにん
2）腹痛	① ふっつう	② ふくつう	③ はらつう
3）血圧	① けつえき	② けつうつ	③ けつあつ
4）入院	① にういん	② にゅういん	③ にゅうえん
5）救急車	① きゅうきゅうしゃ	② きゅきゅうしゃ	③ きうきゅうしゃ

1）	2）	3）	4）	5）

3　次の1）～5）を漢字で書いてください。〈5点：1点×5〉

1）め　　**2**）あたま　　**3**）くるま　　**4**）にもつ　　**5**）もくようび

1）	2）	3）	4）	5）

4　次の１）～10）の日本文を完成させるのに適切な動詞を語群から選んでください。〈10点：１点×10〉

【例】花が（　さく　）。

1）席を（　　）。

2）道が（　　）。

3）雨が（　　）。

4）椅子に（　　）。

5）ビタミンＣを（　　）。

1）～5）の語群

~~さく~~　かける　やむ　はずす　ふくむ　こむ

1）	2）	3）	4）	5）

6）声が（　　）。

7）事故に（　　）。

8）態度を（　　）。

9）シャワーを（　　）。

10）嘘を（　　）。

6）～10）の語群

あう　あびる　つく　しめす　する

6）	7）	8）	9）	10）

5　次の１）２）の日本文化について知っていることを記述してください。〈10点：５点×２〉

日本文化	**1**）節分	**2**）お盆
何月ですか。〈１点〉	月	月
そこでは、どのようなことを行いますか。〈４点〉		

6　次の1）～5）の空欄に入る適切なものを①～③から選んでください。〈5点：1点×5〉

1）日本の国内総生産（GDP）は世界第（　　）位です。

① 1　　② 2　　③ 3

2）日本国憲法が定める日本国の世襲君主は（　　）です。

① 内閣総理大臣　　② 天皇　　③ 大統領

3）日本は経済の力や医学・医療の向上により、（　　）が世界で最も高い国になりました。

① 平均寿命　　② 人口増加率　　③ 人口比医師数

4）日本において、東京の次に人口が多い都市は（　　）です。

① 大阪　　② 横浜　　③ 仙台

5）「日本」という国号（国の名前）の意味は「(　　)」です。

① 刀を持った武士　　② 全ての始まり　　③ 太陽が出るところ

1）	2）	3）	4）	5）

7　次の文章の空欄1）～5）に入る適切なものを①～⑤から選んでください。〈5点：1点×5〉

介護施設の利用者の生活（　**1**　）は様々です。介護者は、そのことをよく考えた上で、利用者の（　**2**　）に合った介護（　**3**　）を提供することが大切です。そのためにも、個々のアセスメントを充分に（　**4**　）し、その介護（　**5**　）を踏まえて介護することが重要です。

① サービス　② 形態　③ 把握　④ 過程　⑤ ニーズ

1）	2）	3）	4）	5）

得点
/50

所属：　　氏名：

【問題】学習アチーブメントβ（事後調査）

1　流された映像において、介護職員のホアと利用者の大沢はどのようなことを話していましたか。その様子を日本語で記述してください。〈10点〉

2　次の1）～5）の読み方として適切なものを①～③から選んでください。〈5点：1点×5〉

1）医者	① いし	② いしや	③ いしゃ
2）健康	① けんこう	② げんこう	③ けんこ
3）禁煙	① きねん	② きんえん	③ ぎんえん
4）保険証	① ほっけんしょ	② ほけんしょう	③ ほうけんしょう
5）**上着**	① うえき	② じょうぎ	③ うわぎ

1）	2）	3）	4）	5）

3　次の1）～5）を漢字で書いてください。〈5点：1点×5〉

1）あし　　**2**）みみ　　**3**）は　　**4**）てんき　　**5**）でんわ

1）	2）	3）	4）	5）

4　次の１）～10）の日本文を完成させるのに適切な動詞を語群から選んでください。〈10点：１点×10〉

【例】役に（　たつ　）。

1）お腹が（　　）。
2）仕事に（　　）。
3）荷物が（　　）。
4）お湯を（　　）。
5）夢が（　　）。

1）～5）の語群
~~たつ~~　かなう　すく　かたづく　なれる　わかす

1）	2）	3）	4）	5）

6）お世話に（　　）。
7）学校に（　　）。
8）意見を（　　）。
9）電源を（　　）。
10）問題に（　　）。

6）～10）の語群
かよう　　なる　　とりくむ　　きる　　のべる

6）	7）	8）	9）	10）

5　次の１）２）の日本文化について知っていることを記述してください。〈10点：５点×２〉

日本文化	**1**）七夕	**2**）七五三
何月ですか。〈１点〉	月	月
そこでは、どのようなことを行いますか。〈４点〉		

6　次の1）～5）の空欄に入る適切なものを①～③から選んでください。〈5点：1点×5〉

1）日本は、65歳以上の高齢者人口が2013年に（　　）％を超えました。
　① 50　　② 10　　③ 25

2）TOYOTA・HONDA・（　　）等の日本企業は、世界有力企業上位にランクインしています。
　① HITACHI　　② IBM　　③ HYUNDAI

3）日本は、家族が行ってきた高齢者の介護ができなくなり、（　　）年に介護保険を創設しました。
　① 1950　　② 2000　　③ 2015

4）日本の主要な島は、北海道・（　　）・四国・九州です。
　① 本島　　② 本州　　③ 大島

5）介護サービスには、居宅サービスと（　　）があります。
　① 病院サービス　　② 身体サービス　　③ 施設サービス

1）	2）	3）	4）	5）

7　次の文章の空欄1）～5）に入る適切なものを①～⑤から選んでください。〈5点：1点×5〉

「ベトナム人は、（　**1**　）では強い。しかし、（　**2**　）になると、日本人は力を出す。日本で団結や（　**3**　）等の（　**4**　）を学び、（　**5**　）として成長できた」と、あるベトナム人の若手社長が言っていた。

① 和の心　　② チーム　　③ 職業人　　④ 文化　　⑤ 個

1）	2）	3）	4）	5）

得点

/50

所属：　　氏名：

【問題】自己アセスメント（事後調査）

1　次の20の言葉について、あなたに該当するものを①～③から１つ選んでください。

① 意味も知っており、内容も解っている　② 意味は知らないが、聞いたことはある
③ 意味も知らないし、聞いたこともない　④ 母語に翻訳されれば、意味は解る

日本文化理解キーワード			介護職キャリア教育キーワード		
01	正月		**11**	職業意識	
02	年賀状		**12**	就職活動	
03	節分		**13**	超高齢社会	
04	数え年		**14**	個人の尊厳	
05	七夕		**15**	自立支援	
06	お盆		**16**	訪問介護	
07	墓参り		**17**	多職種連携	
08	七五三		**18**	利用者本位	
09	松竹梅		**19**	自己決定の尊重	
10	大晦日		**20**	生活の質（QOL）	

2　次の20の資質について、あなたに該当するものを①～③から１つ選んでください。

① 充分に備わっている　② 備わっている　③ あまり備わっていない　④ 備わっていない
⑤ 言葉の意味が解らない

01	社会貢献意識		**11**	自己管理意識	
02	チーム意識・団結感		**12**	自立心	
03	協調性		**13**	主体性	
04	献身性		**14**	向上心・向学心	
05	品性・礼節		**15**	チャレンジ精神	
06	和の心		**16**	博愛心	
07	倫理観		**17**	科学的思考・合理的思考	
08	公平性・公正性		**18**	誇り	
09	責任感・使命感		**19**	意欲	
10	誠実・勤勉・真面目		**20**	感性	

所属：　　氏名：

【結果】学習アチーブメントα→β（事前調査・事後調査の比較）

テスト構成				事前調査 平均得点 （平均得点率）	事後調査 平均得点 （平均得点率）
出題内容	出題形式	出題数	配　点		
1　介護シーンの描出	記述式	1問	10点	6.0点 （60.0%）	**7.9点** **（78.8%）**
2　漢字の読み	択一式	5問	5点 ［各1点］	4.3点 （86.7%）	4.3点 （85.0%）
3　漢字の書き	択一式	5問	5点 ［各1点］	3.8点 （76.7%）	**4.8点** **（95.0%）**
4　日本語コロケーションの完成	択一式	10問	10点 ［各1点］	8.0点 （80.0%）	7.8点 （77.5%）
5　日本文化事象の説明	記述式	2問	10点 ［各5点］	0.8点 （8.3%）	3.8点 （37.5%）
6　日本事情知識の確認	択一式	5問	5点 ［各1点］	1.7点 （33.3%）	**3.1点** **（62.5%）**
7　職業キャリア教育の理解	文章空欄補充	5問	5点 ［各1点］	1.0点 （20.0%）	**2.5点** **（50.0%）**
		合　計	50点	25.7点 （51.3%）	**34.0点** **（68.0%）**

【所見】学習アチーブメントα→β（事前調査・事後調査の比較）

▼ 出題内容別

1　介護シーンの描出

介護シーンを描出する記述式問題では受講後、８割近い評価を得点できるようになり、教育効果を示した。

2　漢字の読み

漢熟語の読みの問題では、受講前後で特に得点の変化は見られなかった。

3　漢字の書き

漢字の書きの問題では受講後、９割以上の得点率を挙げ、教育効果を示した。

4　日本語コロケーションの完成

日本語コロケーション完成の問題では、受講前後で特に得点の変化は見られなかった。

5　日本文化事象の説明

日本文化事象を説明する記述式問題では受講後、評価の上昇が見られ、教育効果を示したと言えるが、まだ検討余地がある結果になった。

6　日本事情知識の確認

日本事情知識を確認する問題では受講後、６割以上の得点率を挙げ、教育効果を示した。

7　職業キャリア教育の理解

職業キャリア教育 テキスト教材の内容理解を確認する問題では受講後、得点率の上昇が見られ、教育効果を示したと言えるが、まだ検討余地がある結果になった。

▼ 全　体

全体として、事前調査の得点率５割程度が、事後調査では７割近くまで上昇し、教育効果を示したと言える。日本語学校でも普段から充分に訓練する漢字の読みや日本語コロケーションで変化は見られなかったが、特に本実証講座で扱った介護シーン描出や日本事情知識において、顕著な教育効果を得られた。

平成28年度　文部科学省　成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業

外国人日本語学習者の介護分野への就業を促進する教育プログラム開発事業

事 業 報 告 書

発行日
平成29年２月

発行者
学校法人新井学園 赤門会日本語学校
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里6-39-12
TEL: 03-3806-6102　　FAX: 03-3806-5559